

武蔵野美術大学 美術館・図書館

館報

Biennial Report of Musashino Art University
Museum & Library 2022-2023 no.32

no.32
2022-2023

MWUM&L

MUSEUM

MUSEUM

MUSEUM

LIBRARY

LIBRARY

LIBRARY

目次

Table of Contents

	目次
2	ご挨拶
<hr/>	
	2022年度
4	1 公開/発信
5	①美術館・民俗資料室展覧会記録
15	②図書館館内展示・イベント記録
20	③所蔵品の公開
23	2 活用/提供
24	①教育普及活動報告
25	②所蔵品の館外貸出
26	③授業対応実績
29	④収蔵資料閲覧実績
30	⑤団体見学等
31	3 収集
32	①資料受入実績
34	②若林奮作品の寄贈について
38	③安西水丸作品の寄贈について
39	4 組織/運営
40	①本学学務事務組織と美術館・図書館グループ業務分掌
41	②委員会記録
<hr/>	
	2023年度
43	1 公開/発信
44	①美術館・民俗資料室展覧会記録
54	②図書館館内展示・イベント記録
59	③所蔵品の公開
61	2 活用/提供
62	①教育普及活動報告
63	②所蔵品の館外貸出
66	③授業対応実績
70	④収蔵資料閲覧実績
71	⑤団体見学等
72	⑥武蔵野美術大学美術館企画 石巻市博物館巡回展
73	3 収集
74	①資料受入実績
76	4 組織/運営
77	①歴代館長・副館長について
78	②本学学務事務組織と美術館・図書館グループ業務分掌
79	③委員会記録
<hr/>	
80	資料
81	①統計
88	②1967年開館以降の全展覧会リスト

ご挨拶

Greetings

武蔵野美術大学美術館・図書館の2022年度から2023年度の活動を報告いたします。

未だコロナ禍中にあった2022年度は、美術館・図書館それぞれにおいて入場制限を設けるなど、感染防止対策を取りながらの運営でしたが、2023年度に入り新型コロナウイルス感染症が5類に移行されたことに伴い、段階的に防止対策を緩和しながら、最終的に感染症が蔓延する以前に近い状態で全館において活動を展開することができました。美術館・図書館それぞれの入館者数も2023年度は大幅に回復し、コロナ禍の影響が終焉しつつあることを実感する年となりました。

とりわけ2023年度は、それまで感染予防下ではなかなか難しかった活動を試みた年でもありました。石巻市博物館で開催された「民具のデザイン図鑑ーくらしの道具から読み解く造形の発想ー」展は、初めて当館企画を他館に巡回し、民俗資料室が所蔵する民具と石巻市博物館が所蔵する民具のコラボレーションが実現した展覧会となりました。

新たに受入れた資料では、本学で教鞭を執った若林奮の作品《所有・雰囲気・振動ー森のはずれ》を収蔵しました。約7tという大型作品を修復し「若林奮 森のはずれ」展にて、およそ30年振りに公開される機会となりました。さらに写真家・大辻清司の作品と資料が当館に寄贈され、整理、研究が開始されてから15年の節目を迎えるとともに、大辻の生誕100年を記念し大規模な展覧会を開催し、フォトアーカイブの特設ウェブサイトもリリースしました。

イメージライブラリーの上映会「イメラシネマ」も4年振りに開催され、学内限定ではありましたが、盛況のうちに幕を閉じることができました。

当館は本学の学生、教職員の教育・研究活動に寄与することはもとより、社会や地域に広く開かれた美術館・図書館として、その唯一無二な役割を十分に果たし、社会にとって有益な活動を展開できるよう今後も邁進してまいりたいと思います。

2024年11月
武蔵野美術大学 美術館・図書館

1 公開/発信

1 Release / Publication Activities

展覧会記録

2022 (令和4) 年度

Exhibitions

- ・展覧会の基本情報及び概要文に、展示風景の画像を添えて紹介した。
- ・本記録は各展覧会の担当者が作成した。
- ・担当者の所属先(美術館・図書館グループ 美術・図書チーム)については表記を割愛した。
- ・所属先、役職名等は展覧会開催当時のまま記載した。
- ・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、実際の開催にあたっては広報物に記載した内容から変更したことがある。

展覧会記録 美術館・民俗資料室ギャラリー 2022 (令和4) 年度 Exhibitions2022

4月4日-5月3日	令和3年度 武蔵野美術大学 卒業制作 優秀作品展
5月23日-6月12日	令和3年度 武蔵野美術大学 修了制作 優秀作品展
7月11日-8月14日、 9月5日-10月2日	みんなの椅子 ムサビのデザインⅦ
7月11日-8月14日、 9月5日-10月2日	原弘と造型：1920年代の新興美術運動から
10月24日-11月20日	黒川弘毅——彫刻/触覚の理路
10月24日-11月20日、 12月5日-12月24日	AGAIN-ST ルーツ/ツール 彫刻の虚材と教材
10月24日-11月20日、 12月5日-12月24日	民俗資料室ギャラリー展示30 民具のデザイン図鑑 —くらしの道具から読み解く造形の発想
12月5日-12月24日	助教・助手展2022 武蔵野美術大学 助教・助手研究発表

令和3年度 武蔵野美術大学 卒業制作 優秀作品展

Selected Works from Musashino Art University Degree Show in Reiwa 3rd year

会期：2022年4月4日(月)-5月3日(火・祝)

会場：美術館全館

主催：武蔵野美術大学 美術館・図書館

担当：上原彰子、小川宏和、田村仁、横井昌子

広報印刷物デザイン：三上悠里

概要：

令和3年度卒業制作において優秀賞を受賞した作品や研究成果を美術館全館に渡り展示し、本学で実践されている幅広い美術教育の成果を紹介した。今年度は卒業制作優秀展と大学院修了制作優秀展を、会期を分けて開催した。

入館者数：5,708名

関連イベント

アーティスト・トーク①

開催日：2022年4月23日(土)

会場：展示室

出演者：

14:00- 河島有理(建築学科)

14:30- 柳汐莉(芸術文化学科)

15:00- 高橋冴(油絵学科油絵専攻)

15:30- 藤田莉帆(空間演出デザイン学科)

アーティスト・トーク②

開催日：2022年4月24日(日)

会場：展示室

出演者：

14:00- 金指吉映(空間演出デザイン学科)

14:30- 水藤琴乃(デザイン情報学科)

15:00- 原田圭捺(油絵学科版画専攻)

アーティスト・トーク③

開催日：2022年5月3日(火)

会場：展示室

出演者：

14:00- 小山美有奈(基礎デザイン学科)

14:30- 鈴木颯良(芸術文化学科)

15:00- 塩見海怜(デザイン情報学科)

15:30- 本岡景太(彫刻学科)



撮影：稲口俊太

令和3年度 武蔵野美術大学 修了制作 優秀作品展

Selected Works From Musashino Art University Graduate School Show in Reiwa 3rd year

会期：2022年5月23日(月)-6月12日(日)

会場：展示室2、アトリウム1・2、美術館ホール

主催：武蔵野美術大学 美術館・図書館

担当：鳥越麻由、森克之

広報印刷物デザイン：三上悠里

入館者数：2,699名



撮影：稲口俊太

みんなの椅子 ムサビのデザインVII

Chairs for All: Musashino Art University and Design VII

会期：

[前期] 2022年7月11日(月)-8月14日(日)

[後期] 2022年9月5日(月)-10月2日(日)

会場：美術館 展示室1・2・4・5、アトリウム1・2 他

主催：武蔵野美術大学 美術館・図書館

監修：

五十嵐久枝(空間演出デザイン学科研究室教授)

寺田尚樹(建築家・デザイナー／株式会社インターオフィス代表取締役社長)

企画協力：株式会社インターオフィス

協力：

武蔵野美術大学 空間演出デザイン学科研究室

武蔵野美術大学 工芸工業デザイン学科研究室

協賛：

アサダメッシュ株式会社

株式会社モデュレックス

特別協力：島崎信(名誉教授)

会場構成：IGARASHI DESIGN STUDIO

会場構成協力：北川陽史

担当：沢田雄一、森克之、本岡耕平、上原彰子、横井昌子

広報印刷物デザイン：柳川智之

概要：

1967年の開館以来、コレクションの柱の一つとして収集してきた近代椅子約400脚の中から精選した約250脚を1階2階の全フロアに展開し、コレクションの全容を紹介するとともに、近代椅子デザイン史を俯瞰する初めての試みとなった。一脚の椅子には、素材や技術をはじめ時代、地域、思想の背景があり、これらを座り比べることで、それぞれの特長とデザインの変遷を体感する機会を提供した。また展覧会情報のDX(デジタルトランスレーション)をテーマにかかげ、会場内の出品リストや作品解説パネル等を極力少なくする一方で、出品作品情報、解説動画、関係者インタビュー等で構成された特設サイトを開設し、新しい展覧会のあり方を模索した。会期中を通じて盛況であった主たる要因として、座れる椅子展であったこと、そして会場内を全面撮影可としたことにより、SNS上に来場者が会場風景と展覧会情報を拡散したことが挙げられる。

入館者数：17,137名



撮影：Nacasa & Partners

原弘と造型：1920年代の新興美術運動から

Hara Hiromu and Zoukei — From 1920s Avant-garde Art Movement in Japan

会期：2022年7月11日(月)-8月14日(日)、
9月5日(月)-10月2日(日)

会場：美術館 展示室3

主催：武蔵野美術大学 美術館・図書館

監修：高島直之(名誉教授)

協力：特種東海製紙株式会社

担当：西村碧、大野智世

会場構成：北川陽史

広報印刷物・図録デザイン：渡邊翔

概要：

日本におけるグラフィックデザインの黎明期を牽引したデザイナー・原弘(1903-1986)。若かりし頃の原が、海外のアヴァンギャルド芸術の影響を受けた新興美術運動に身を投じたことはあまり知られていない。1925年の「三科第二回展」への出品を皮切りに、同年に結成された「造型」やのちの「造型美術家協会」に参加した原は、岡本唐貴や矢部友衛らと肩を並べて活動した。

1920年代の新興美術運動への参加、それとほぼ並行したニュー・タイポグラフィの研究により培われた原の理論は、1930年代以降、中央工房や東方社など、自身が創設に関わった諸団体の活動を通じて実践に移されていく。本展では、特種東海製紙株式会社の原弘アーカイヴ並びに当館の所蔵資料から、原の1920年代から40年代にかけての作品を中心に紹介した。また、「造型」をはじめとする新興美術運動の資料や未公開の原稿・版下類をあわせて展覧し、原弘のデザインワークに通底する造型思考の検証を試みた。

入場者数：10,109名

制作物(図録URL)：図録

<https://mauml.musabi.ac.jp/museum/catalogs/20300/>



撮影：赤羽佑樹

黒川弘毅——彫刻/触覚の理路

Kurokawa Hirotake: Sculpture/Haptic Passage

会期：2022年10月24日(月)-11月20日(日)

会場：美術館 展示室2・4、アトリウム1・2

主催：武蔵野美術大学 美術館・図書館

監修：黒川弘毅(彫刻学科研究室教授)

協力：武蔵野美術大学 彫刻学科研究室

担当：佐伯聡子、森克之

映像制作：大田晃

広報印刷物・図録デザイン：渡邊翔

概要：

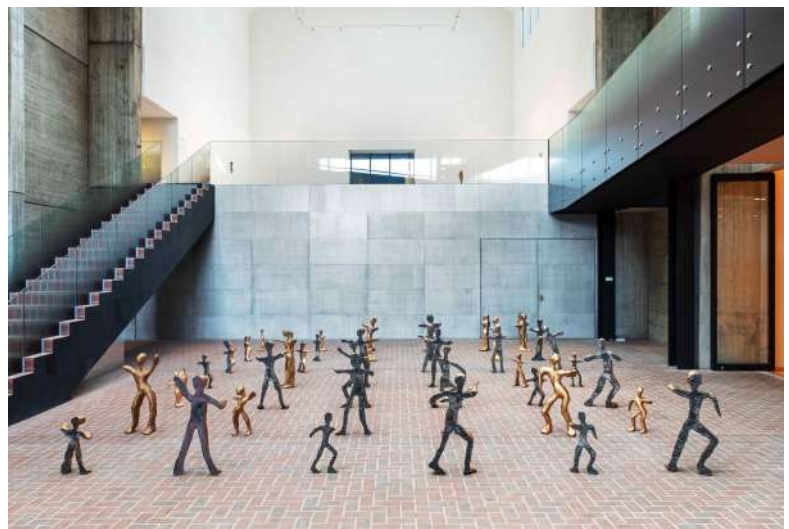
「触覚を物体の表面に向けられた感覚と見なすのは誤りである。触覚は微細で馴染みのないものを遠く隔たった場所で感知する。それは彼方のものへ向かいつつそれ自身が目指すものとなって内側で自らを隔てる」*と語る黒川は、立ち現れてくるものの実在性や物質性、そして触覚に対する思索を巡らせながらこれまで作品制作を続けてきた。原型はなく鑄型だけを用いるという独自の手法によってブロンズ作品を生み出してきた黒川の、《SIRIUS》から始まる七つのシリーズの主要な作品約240点を、本展では余すことなく展示した。また試行錯誤の様子が見て取れる学生時代の具象作品、さらには《Eros》シリーズの最新作も出品。膨大なヴォリュームの作品群を通して、黒川の最初期から現在に至るまでの50年におよぶ思索の軌跡を辿り、彫刻作品が持つ量塊・物質の感触やその実在性をあらためて体感する機会となった。

*『20ste Biennale Middelheim-Japan/Japanese Contemporary Sculptures』(1989年)カタログより

入館者数：5,559名

制作物(図録URL)：図録

<https://mauml.musabi.ac.jp/museum/catalogs/20463/>



撮影：山本紉

AGAIN-ST ルーツ／ツール 彫刻の虚材と教材

AGAIN-ST 10th Exhibition

会期：2022年10月24日(月)-11月20日(日)、
12月5日(月)-12月24日(土)

会場：美術館 展示室3

主催：武蔵野美術大学 美術館・図書館

協力：金沢美術工芸大学彫刻専攻、多摩美術大学
彫刻学科研究室、東京藝術大学美術学部彫刻科彫
刻研究室、東京造形大学彫刻準備室、日本大学芸
術学部美術学科彫刻コース彫刻専攻、武蔵野美術
大学彫刻学科研究室

担当：鳥越麻由、大野智世

会場構成：L PACK.

広報印刷物・図録デザイン：小山麻子

概要：

AGAIN-ST(アゲインスト)は、作家・美術教育者である富井大裕、深井聡一郎、藤原彩人、保井智貴、近現代彫刻研究を専門とする石崎尚、デザイナーの小山麻子によって2012年に結成された。本展は、日本の彫刻の現状とその有効性について、正解を求めるのではなく考える機会を創出すべく活動する彼らの10回目の展覧会である。本展では「石膏」と「道具」に焦点をあて、菅原玄奨、高橋直宏、寺内曜子、土肥美穂、中谷ミチコ、二藤建人、前田春日美をゲストに迎えた。タイトルに掲げた「ルーツ」は彫刻を志す誰もが一度は扱う素材としての石膏を示し、「ツール」は文字通り塑像の制作における道具を表す。この二つの側面から、彫刻教育の現場で無意識のうちに受け継がれてきたであろう作法を相対化することを試みた。副次的な素材である石膏を用いた作品と、各作家や各美術大学所有の道具が並置された空間は、空漠たる彫刻の輪郭について改めて考えるひとつの場となった。

入館者数：6,083名

制作物(図録URL)：図録

<https://mauml.musabi.ac.jp/museum/catalogs/20489/>

関連イベント：

①16人塑像

開催日：2022年12月10日(土)

会場：美術館前芝生

出演者：飯田竜太、大江花歩、大野綾子、利部志穂 他11名



撮影：柳場大

②トークライブ

開催日：2022年12月10日(土)

会場：美術館前芝生

出演者：菊川亜騎、菅原玄奨、高橋直宏、寺内曜子 他5名

来場者：80名(①と②のイベントの延べ人数)

民俗資料室ギャラリー展示30

「民具のデザイン図鑑—くらしの道具から読み解く造形の発想」

Folk Art Gallery Exhibition 30 Pictorial Book of Japanese Folk Art and Design Ideas — Design from the Tools of Daily Life

会期：2022年10月24日(月)-11月20日(日)、
12月5日(月)-12月24日(土)

会場：民俗資料室ギャラリー、美術館 展示室1

主催：武蔵野美術大学 美術館・図書館

監修：加藤幸治(教養文化・学芸員課程研究室教授)

協力：武蔵野美術大学共同研究「美術大学における民俗資料の活用をめぐる基礎的研究」

担当：松本美虹、小川宏和

広報印刷物・図録デザイン：三木俊一(文京図案室)

概要：

本展は、当館所蔵の民俗資料コレクションによって編集した書籍『民具のデザイン図鑑』(誠文堂新光社、2022年10月16日発売)をもとにした展覧会である。民具は、特定の設計者が考案するのではなく、人々の暮らしの現場において理にかなった造形として生み出される。そして生活が変化するのにもとない、その造形も常に変化してきた。そうした民具に対して、次の三つの視点を設定した。

①日常的な労働や身の丈にあった生活に即した造形〈かたちと身体性〉

②デフォルメされた造形が意味を生み出し、共有する造形〈ユーモアと図案〉

③自然に宿る精霊や神仏を表現し、その霊性を暗示する造形〈見立てと表象〉

民具は、現代から見れば過去の庶民生活を知ることのできる民俗資料であるが、上記の見方でその造形を考えると、わたしたちの生活や自然観、世界観と地続きなものとして再考することができる。本展では、民具が持つ豊かな造形の発想に新たな価値を見だし、ユーモアと見立ての造形にまなぶことで、美術大学における民俗資料の可能性を考える機会とした。

入館者数：4,311名

制作物：図録

<https://www.seibundo-shinkosha.net/book/art/74309/>

関連イベント：

「じっくり観察! 民具に探る“デザインの素”」

開催日：2022年11月20日(日)

会場：第10講義室

出演者：加藤幸治(教養文化・学芸員課程研究室教授)

来場者数：19名



撮影：鈴木静華

助教・助手展2022 武蔵野美術大学助教・助手研究発表

Exhibition 2022 Research Associates and Research Assistants

会期：2022年12月5日(月)-12月24日(土)

会場：美術館 展示室2・4・5、

アトリウム1・2、第10講義室ほか

主催：武蔵野美術大学 美術館・図書館

企画：助教・助手展2022運営委員会

担当：竹島薫、田村仁

広報印刷物・図録デザイン：nico ito

概要：

研究室運営を担い学生の制作・研究や学生生活に寄与する一方、自身も一人の作家、デザイナー、研究者として活躍する本学助教・助手の創作活動や研究成果を学内外に広く紹介する場として開催した。

入館者数：3,450名

関連イベント：

①オープニングイベント ライブペインティング

開催日：2022年12月5日(月)

会場：9号館1F ゼロスペース

出演者：

秋葉麻由子(日本画学科研究室助教)

佐藤花(空間演出デザイン学科研究室助手)

たかはしけいこ(視覚伝達デザイン学科研究室助教)

所彰宏(油絵学科版画研究室助教)

山田百香(芸術文化学科研究室助手)

若林穂乃香(映像学科研究室助手)

来場者数：60名+オンライン配信

②アーティストトーク&ギャラリートツアー

開催日：2022年12月8日(木)

会場：展覧会場

出演者：

大井直人(デザイン情報学科研究室助教)

小野田藍(芸術文化学科研究室助手)

竹下早紀(工芸工業デザイン学科研究室助手)

来場者数：15名+オンライン配信

③難波梨乃ショー・パフォーマンス ぼんぼり

開催日：2022年12月10日(土)

会場：図書館テラス

出演者：難波梨乃(空間演出デザイン学科研究室助手)

来場者数：30名+オンライン配信

④アーティストトーク&ギャラリートツアー

開催日：2022年12月16日(金)

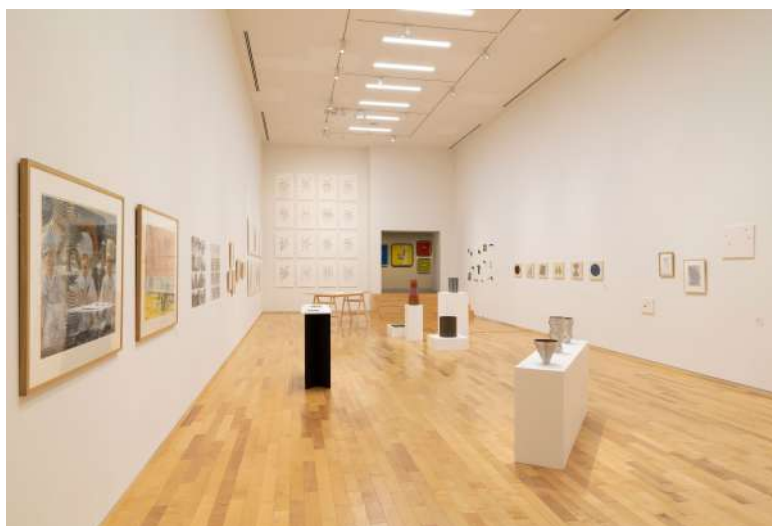
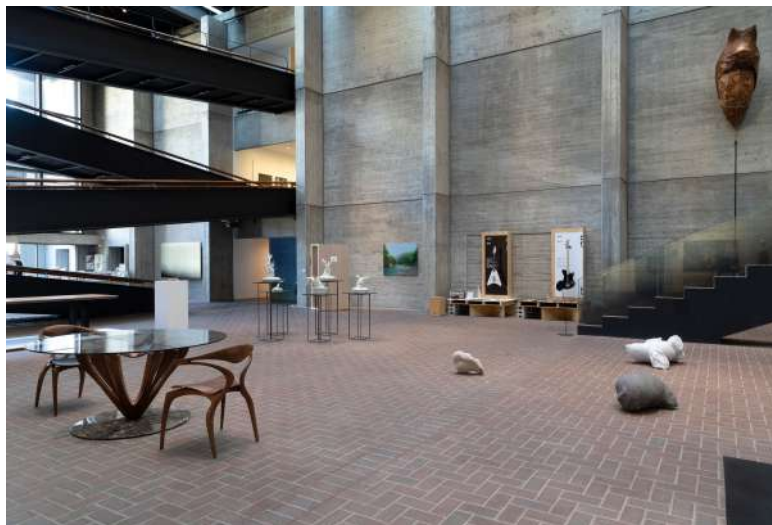
会場：展覧会場

出演者：

齊藤啓輔(建築学科研究室助手)

旗智柚奈(工芸工業デザイン学科研究室助手)

佐藤佑(工芸工業デザイン学科研究室助手)



撮影：いしかわみちこ

河城ふみ(映像学科研究室助手)

来場者数：7名+オンライン配信

⑤難波梨乃ショー・パフォーマンス ぼんぼり

開催日：2022年12月19日(月)

会場：図書館テラス

出演者：難波梨乃(空間演出デザイン学科研究室助手)

来場者数：40名+オンライン配信

⑥アーティストトーク&ギャラリートツアー

開催日：2022年12月20日(火)

会場：展覧会場

出演者：

風間南楓(空間演出デザイン学科研究室助手)

夏目菜々子(工芸工業デザイン学科研究室助手)

宮城島万莉子(共通彫塑研究室助教)

来場者数：11名+オンライン配信

図書館館内展示・イベント記録

2022（令和4）年度

Records on Exhibitions and Events at the Library

美大生におすすめの本

ノスタルジック・コミック祭

高校生企画「ブックデザインから考える」

Zoom Talk from Sweden

美大生におすすめの本

「本を読みたいけれど、何を读んだらいいのかわからない」という学生の声に応え、本学の(主に)教員から「美大生にぜひ読んでおいてほしい本」を紹介してもらう企画。2020年度にスタートし、毎回好評を得ている。館内での実物展示と同時進行で図書館webサイトでも選定された書籍を紹介しており、学外からも注目されている企画である。



2022年度

Vol.13 池田ともゆき(空間演出デザイン学科研究室教授)

Vol.14 富井大裕(彫刻学科研究室教授)

Vol.15 松浦寿夫(元 美学美術史研究室教授)

ノスタルジック・コミック祭

会期：2022年7月25日(月)-8月20日(土)

会場：図書館1階・大階段

主催：武蔵野美術大学 美術館・図書館 図書担当

概要：

陣内利博(視覚伝達デザイン学科研究室教授)の収集した日本漫画黎明第2期とでも言うべき1970年代までを中心としたコミック単行本・雑誌7,600冊あまりを図書館内に展示し、学生に公開。

コロナ禍がまだ沈静化する以前の時期だったが、陣内教授が2022年度で退任するため任期内の実施を決行。感染予防、滞在時間を制限するなどしながらの実施となった。現在の学生の親世代以上が親しんだ時代の作品が多かったが、コミックをスマホで読む時代になり、縦スクロール・吹き出し文字削減がデフォルトになって「漫画の文法」さえ失われていくかも知れない昨今において、コミック本定型と見開きページに浸る企画となった。

参加者：延べ200名

関連イベント：

コミック祭開催中に在学生に向けて3回のZoom TALKを実施。

①陣内利博(視覚伝達デザイン学科研究室教授)による漫画レクチャー

日時：2022年7月25日(月) 14:00-15:30

参加者：24名

②陣内利博(視覚伝達デザイン学科研究室教授) + 萱島雄太氏(視覚伝達デザイン学科卒・漫画家)トーク・バトル

日時：2022年8月5日(金) 14:00-16:00

参加者：25名

③陣内利博(視覚伝達デザイン学科研究室教授) + 桑原太矩氏(視覚伝達デザイン学科卒・漫画家)トーク・バトル

日時：2022年8月19日(金) 14:00-16:00

参加者：20名



高校生企画「ブックデザインから考える」Vol.2

会期：2022年7月17日(日)、8月21日(日)ー2回シリーズ

会場：図書館

主催：武蔵野美術大学 美術館・図書館 図書担当

参加者：1回目13名、2回目12名[神奈川県立上鶴間高校=1回目4名/2回目5名・同 菅高校=1回目4名/2回目3名、唯新学院留学生(中国)=5名]

概要：

高校生と、日本の大学・大学院目指している留学生を招き、各自が図書館内から選んだ本1冊にカバーを自作。それについてプレゼンテーション、意見交換をする。

前年(2021年)は「高校生企画」として実施したが、今回は留学生5名が参加。それぞれN2以上の日本語能力保持者だが、日本人の高校生に混じって、1冊の日本語の本を読んでカバーデザインを考えるとこの企画は、なかなかハードルが高かったと思われる。が、それぞれが一生懸命課題の意図を理解しようとし、成果物を持ち寄って発表にこぎ着けた姿は、日本人の高校生にも感じるところもあったはずである。

前年の企画に参加していたリピーターもあり、興味の持続をみても開催の意味はあったかと思われ、終了後アンケートからも、また参加したいという希望が多数見受けられた。



Zoom Talk from Sweden—アーティスト活動と情報収集

開催日：2022年7月20日(水)

開催方法：オンライン

概要：

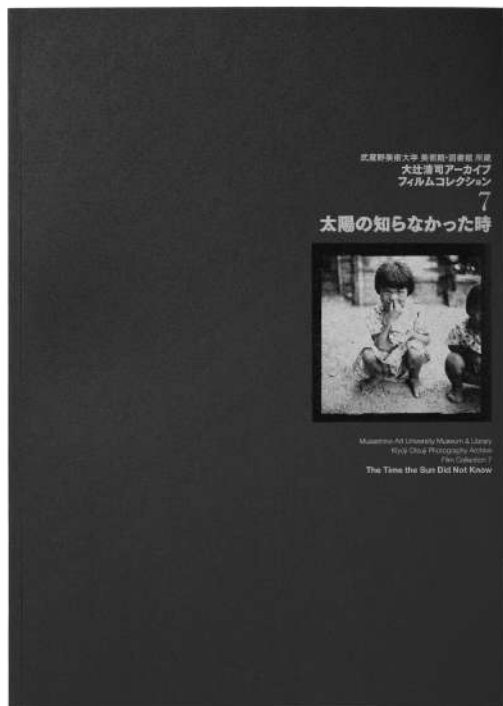
2020年からのコロナ禍で、空間的行動の自由が激しく制限され、海外での活動も思うままにならない状況となった。そのような中、海外のアーティスト・イン・レジデンス(スウェーデン)で研究・制作を始めた本学卒業生をゲストに招いて、現地から現在の状況などをお話しいただいた。特に海外活動へのアプローチや、情報収集を重点的に、アーティストとしてのメディア・リテラシー形成やネットワーキングを、後輩の皆さんにお伝えいただいた。



所蔵品の公開

Release of Our Collections

- 大辻清司アーカイブ フィルムコレクション 第7巻 『太陽の知らなかった時』
Kiyoji Otsuji Photography Archive Film Collection, 7 "The Time the Sun Did Not Know"



監修：大日方欣一(九州産業大学芸術学部教授)
編集：村井威史
翻訳：ダニエル・アビー
ブックデザイン：佐藤篤司
サイズ：297mm×210mm
ページ数：100
発行年月：2023年3月

写真家大辻清司(1923–2001)の創作活動の初期にあたる1950年代に発表された四つの作品《太陽の知らなかった時》1952年、《海のギャラリー》1956年、《無言歌》1956年、《無罪・有罪》1959年を特集する。いずれの作品も発表当初のプリントは現存しておらず、これまで十分な検証がなされていなかった。本巻編集にあたり発表当時の記録(展示会場写真、展評、作品掲載誌など)と現存するフィルム原板との比較検討をおこなったところ、発表作の多くで画面のトリミングが施されていることが判明した。本巻では、フィルム原板から出力したコマ画像の上にトリミング位置の矩形を示すことで初出時の作家の意図を視覚化し、その本質に迫る。

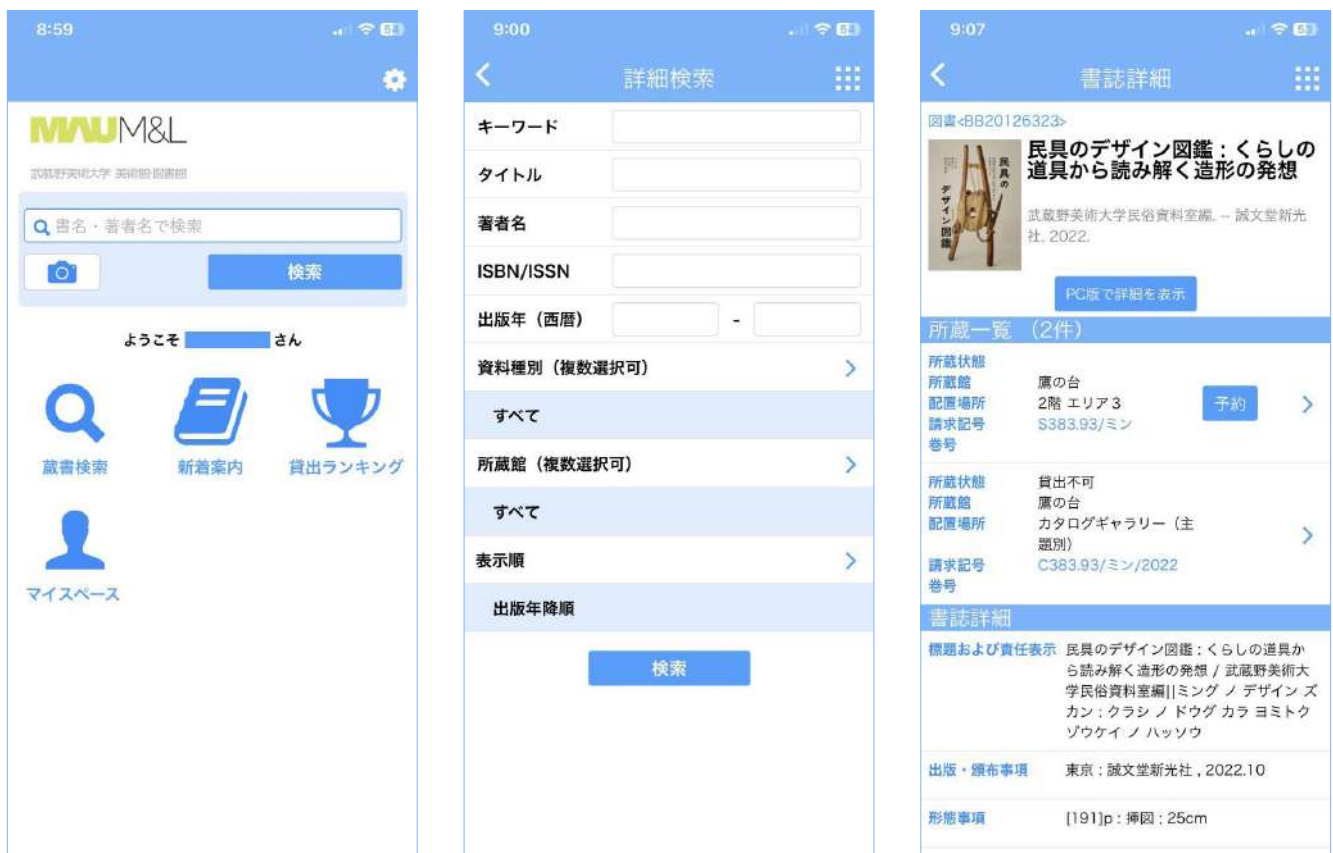
- ・《太陽の知らなかった時》
1952年8月、瀧口修造が企画と人選を担当する東京・神田のタケミヤ画廊での、小川義良との「写真二人展」で発表した10点組の作品
- ・《海のギャラリー》
瀧口修造の文・構成として『美術手帖』113号(1956年8月)の特集「海と造形」で発表
- ・《無言歌》
1956年12月、東京・銀座の小西六ギャラリーで開催されたグラフィック集団の第4回展「フォトグラフィック・コンクリート」にて発表
- ・《無罪・有罪》
吉岡実の詩、大森忠行の構成、大辻の写真により『現代詩』6巻3号(1959年3月)に掲載された10点組の作品

●蔵書検索アプリの導入について

Introducing The Application of Researching for Book Collection

図書館では2023年2月より、利用者の利便性向上と情報アクセスの容易化を目指し、モバイル端末から当館の蔵書検索ができるスマートフォン用アプリ「Ufinity」を導入した。

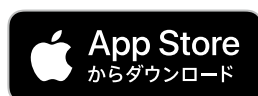
これまでモバイル端末から蔵書検索画面へのアクセスは可能であったが、モバイル端末非対応のためPCでの表示を想定したレイアウトで使い難かった。本アプリの導入により、利用者は様々なデバイスからの蔵書検索がより快適に行えるようになった。利用者は図書館内外からいつでも、自身のスマートフォンやタブレットなどのモバイル端末を用いて蔵書の検索が行え、書名、著者名、キーワードなどから必要とする資料を素早く見つけることができ、資料へのアクセスがより円滑になった。貸出状況もリアルタイムで確認でき、Web画面から予約もできるため、利用者の効率性の向上が期待される。



蔵書検索アプリ「Ufinity」

▶ iPhone <https://apps.apple.com/jp/app/ufinity/id702813377>

▶ Android <https://play.google.com/store/apps/details?id=com.fujitsu.bunkyo.Ufinity&hl=ja>



●『民具のデザイン図鑑 暮らしの道具から読み解く造形の発想』の刊行について

The Publication of 'Design Picture Book of Daily Life – The Idea of Modeling to Decipher from Daily Life Tools'

発行日：2022年10月16日(日)

定価：2,420円(税込)

出版社：誠文堂新光社

監修：加藤幸治(教養文化・学芸員課程研究室教授)

編集：武蔵野美術大学 民俗資料室

概要(誠文堂新光社H.Pより)：

- ・武蔵野美術大学民俗資料室が収蔵するおよそ9万点のコレクションから収録民具を精選。
- ・民具の分類としては衣・食・住など「用途別」による分類・整理が一般的だが、本書では形態、機能、素材、意味などに注目し、民具がもつ豊かなデザインの世界をあらためて問い直す。
- ・「小さな森で身を包む」「つくろいの造形」「布で情景を描く」などのトピックを立て、ビジュアルを豊富に用いながら、用途の枠を超えて民具の魅力を横断的に読み解く。

目次：

はじめに

巻頭言 暮らしの造形から見つける「デザインの素」

第1章 かたちと身体性

コラム1 宮本常一と民俗資料室コレクション

第2章 ユーモアと図案

コラム2 美術教育の源泉としての民具

第3章 見立てと表象

おわりに

掲載資料一覧



2 活用/提供

2 Education / Lending Activities

教育普及活動報告



Education Programs

小中学生から高校生、大人と幅広い年齢層を対象に、当館で所蔵している資料を通して美術・デザイン等にふれ、本学の美術教育やコレクションを知ってもらう機会となるようなプログラムを実施している。毎年企画しているイベントの他に、当館が開催している展覧会等をさらに深く、身近に感じてもらえるような関連企画も実施した。

2022年度


■ワークショップ

担当：美…美術館、図…図書館



担当	日時	タイトル	対象/人数	内容	記録写真
図	①7月17日 10:00-12:30 ②8月21日 13:00-16:30	高校生企画「ブックデザインから考える」Vol.2*	菅高校、上鶴間高校、唯新学院[留学生(中国)] /13名	図書館が所蔵している本の中から1点を選び、その本を読んで自分なりの表紙デザインを制作する。1ヶ月後にプレゼン、意見交換をした。本と文字、ビジュアルの関係を考えるワークショップ。	
美	8月20日 13:00-16:00	ムサビ・キッズプログラム オンライン版「おやこでミニチュアチェアをつくらう！」	小学3~6年生とその保護者/24名(当日参加20名)	オンラインでの実施3年目となるミニチュアチェアWS。今回はチャールズ・レニー・マッキントッシュの《ウィロー》のミニチュアを制作。みんなの椅子展会場から実物の詳細をZoomで映すなど、椅子の魅力を伝えた。	

※図書館内展示・イベント記録にも記載がある

■連携プログラム

担当	日時	タイトル	対象/人数	内容	記録写真
美	5月10日 13:00-14:30	田園調布学園高等部 (芸術文化学科コラボ授業)	高校生7名	今年度で3回目となる田園調布学園と芸術文化学科のコラボ授業。高校生が下調べをした椅子を、ムサビ生とともに座り、椅子の構造を体感する。そこで得られた知見をもとに高校生はオリジナルの椅子を考案した。	

■その他

担当	日時	タイトル	対象/人数	内容	記録写真
美	4月19日 YouTubeにて公開	「令和3年度 武蔵野美術大学 卒業・修了制作 優秀作品展」出品者インタビュー	(5/30時点):4本合計 1131PV	出品者4名へのインタビュー動画の配信。卒業制作に至るまでの4年間、卒業後の活動など幅広くインタビューを行う事で、本学における美術教育と学生生活の一端を紹介することを目的とした。	
美	4月23日 4月24日 5月3日	「令和3年度 武蔵野美術大学 卒業・修了制作 優秀作品展」アーティスト・トーク	3日間合計 228名	出品者本人によるトークを通して、来場者の鑑賞体験をより深めてもらうことを目的とした。11名の出品者が、自身の作品を前に作品のコンセプトや制作背景、大学生活について一歩踏み込んだトークを展開してくれた。	

所蔵品の館外貸出

Loans from Our Collections

● 作品貸出

Loans of Materials Other than Images

2022年度

■ 美術資料

作品名等	メディア	作者	制作年	貸出先	展覧会名・目的	会期
テキスタイルのサンプル(7種)	テキスタイル	山脇道子	1931年頃	豊田市美術館	交歓するモダン 機能と装飾のポリフォニー	2022年6月7日-9月4日
パウハウス手織物展 案内カード(2点)	印刷物	山脇道子	1933年	島根県立石見美術館		2022年9月17日-11月28日
みちこ・ておりき 購入案内(2点)	印刷物	山脇道子	1934年頃	東京都庭園美術館		2022年12月17日-2023年3月5日
水木精華之居図	中国画	傅抱石	1932年	長野県立美術館	傅抱石・傅益瑤 父娘展	2022年7月23日-9月11日
仿黄鶴山樵秋壑鳴泉図	中国画	傅抱石	1933年			
鶏図	中国画	傅抱石	1934年			
枝上鳥鳴図	中国画	傅抱石	1934年			
蓮池図	中国画	傅抱石	1933-1935年			
瓢筆図	中国画	傅抱石	1933-1935年			
JAPAN; Japanese Government Railways	ポスター	里見宗次	1937年			
福岡	油彩	柳瀬正夢	1940年			
木製折り畳み小椅子	椅子	新居猛	1956年	ニーチェアエクスシヨールーム(株式会社藤栄 本社)	Nychair X 継承と発展	2022年10月21日-10月30日
ニーチェアXロング	椅子	新居猛	1989年			
ニーチェアX2	椅子	新居猛	1989年			
ニーチェアデラックスロッキング	椅子	新居猛	1989年			
ニーチェアK2デラックス	椅子	新居猛	1989年			

■ 民俗資料

作品名等	メディア	作者	制作年	貸出展覧会名	貸出会場	貸出会期
岩津保洞窟出土オオツタハ貝輪(30点)	考古資料	不明	弥生時代	神奈川県立歴史博物館	特別展「洞窟遺跡を掘るー海蝕洞窟の考古学ー」	2022年4月29日-6月26日
岩津保洞窟出土土器(副葬品)(2点)	考古資料	不明	弥生時代			
岩津保洞窟出土貝製品・骨角製品(40点)	考古資料	不明	弥生時代			
凧(17点)	民俗資料	安田熙ほか	不明	PLAY!MUSEUM	トンコハウス・堤大介 ONI展	2023年1月21日-4月2日
面(28点)	民俗資料	岩城久太郎ほか	不明			

■ 図書資料

作品名等	メディア	作者	制作年	貸出展覧会名	貸出会場	貸出会期
立版古「濱松城櫓太鼓の場」大判1枚	版画	網島亀吉	1892年	浜松市博物館	三方ヶ原の戦いと家康伝承	2022年10月22日-12月4日
立版古「濱松城櫓太鼓の場」組上復元	版画	(株)大入	2014年			
『花蝶珍種図譜』	図書	ゲオルク・ディオニシウス・エーレット	1748-1758年	町田市立国際版画美術館	自然という書物ー15~19世紀のナチュラルヒストリー&アート展	2023年3月18日-5月21日
『第三次太平洋航海記』第3巻、大判図版編	図書	ジェームズ・クック	1785年			
『オーストラリア探検記』	図書	フランソワ・ペロン	1800-1804、1801年			
『コキーユ号世界航海記:探検航海編』	図書	ルイ・イシドール・デュプレ	1826年			
『アストロラフ号世界周航記』航海地図、1巻、2巻	図書	デュモン・デュルヴィル	1833年			
『熱帯ヤシ科植物図譜』1巻、3巻	図書	フィリップ・フォン・マルティウス	1823-1850年			

授業対応実績

Class Supports

本学の教育及び研究に供するため、当館が所蔵する美術資料や図書資料を用いた授業を教員・研究室スタッフと協働して行っている。2020-21年度においては新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、少人数のグループやオンラインで授業を行っていた。2022年度以降は徐々に通常に戻りつつあるが、少人数での対面授業で対応している。

2022年度

■美術館

月日	学科・研究室	授業名等	受講者数	利用作品名、資料名、内容等	利用スペース等
4月12日	工芸工業デザイン学科	クラフトデザインⅣ	3	近代椅子コレクション	木工研究室
4月18日	空間演出デザイン学科	空間演出デザインⅡB	9	近代椅子コレクション	椅子ギャラリー
4月22日	建築学科	設計計画Ⅰ-1	76	近代椅子コレクション	椅子ギャラリー
4月22日	工芸工業デザイン学科	基礎実習Ⅰ	16	近代椅子コレクション	椅子ギャラリー
4月27日	建築学科	建築計画特論	9	近代椅子コレクション	椅子ギャラリー、美術館バックヤード、12号館地下
4月27日	芸術文化学科	芸術文化入門	89	令和3年度優秀作品展	展示室1、2、3、4、5、アトリウム
5月17日・21日、 6月28日・7月2日	視覚伝達デザイン学科	メディア演習	124	ポスターコレクション	図書館 研究・授業特別閲覧室3
5月19日・23日・ 26日・30日	空間演出デザイン学科	デザイン基礎Ⅱ	32	近代椅子コレクション	椅子ギャラリー
5月21日	通信教育課程	生活環境デザイン論	9	近代椅子コレクション	椅子ギャラリー
6月1日	工芸工業デザイン学科	基礎実習Ⅰ	17	近代椅子コレクション	椅子ギャラリー
6月2日	油絵学科	絵画基礎Ⅴ	20	油彩画	展示室5
6月4日	基礎デザイン学科	デザイン演習Ⅰm	4	近代椅子コレクション	椅子ギャラリー
6月28日	基礎デザイン学科	タイポグラフィ研究a	32	ポスターコレクション	図書館 研究・授業特別閲覧室1、2
7月12日	身体運動文化	健康と身体運動文化45(からだのメソッド)	24	近代椅子コレクション	展示室1、2、4、5、アトリウム、第10講義室
7月7日・14日	造形文化・美学美術史	日本美術各論Ⅵ-1	50	絵巻模本	図書館 研究・授業特別閲覧室3
8月11日	通信教育課程	博物館実習	35	各種メディア全般	図書館 研究・授業特別閲覧室1、2
9月7日	基礎デザイン学科	デザイン演習Ⅰj	35	ポスターコレクション	図書館 研究・授業特別閲覧室1、2
10月5日・6日・ 7日	芸術文化学科	博物館実習	10	各種メディア全般	展示室1
9月20日	基礎デザイン学科	デザイン演習Ⅰb	79	近代椅子コレクション	展示室1、2、4、5、アトリウム、第10講義室
10月6日	視覚デザイン学科	卒業制作演習 白井ゼミ	7	片山利弘作品各種	スタジオ
12月6日	身体運動文化	健康と身体運動文化46、56	25	近代椅子コレクション	椅子ギャラリー
12月1日・7日	造形文化・美学美術史	(からだのメソッド)	15	絵巻模本	図書館 研究・授業特別閲覧室1、2
12月9日	芸術文化学科	日本美術各論Ⅵ-2	35	助教・助手展2022	展示室2、4、5、アトリウム、第10講義室
12月20日	通信教育課程	造形と批評	7	近代椅子コレクション	椅子ギャラリー
12月21日	通信教育課程	博物館実習	7	各種メディア全般	図書館 研究・授業特別閲覧室1、2

■ミュージオロジー実習

月日	学科・研究室	授業名等	受講者数	利用作品名、資料名、内容等	利用スペース等
7月25日	芸術文化学科	ミュージオロジー実習	43	美術館・民俗資料室概要説明、外部講師講演など	館内全体、12号館地下
7月26日	芸術文化学科	ミュージオロジー実習	43	梱包実習	12号館地下
7月28日	芸術文化学科	ミュージオロジー実習	43	実習作業、プランニングⅠ・Ⅱ	美術館・図書館、12号館地下、9号館
7月29日	芸術文化学科	ミュージオロジー実習	43	実習作業、プランニングⅠ・Ⅱ	美術館・図書館、12号館地下、9号館
7月30日	芸術文化学科	ミュージオロジー実習	43	教育普及・広報活動	12号館地下

■ 民俗資料室

月日	学科・研究室	授業名等	受講者数	利用作品名、資料名、内容等	利用スペース等
4月14日	空間演出デザイン学科	空間2(環境計画)F	24	民俗資料解説・自由見学	13号館2F収蔵庫
6月13日	芸術文化学科	造形民俗学Ⅰ	36	民俗資料解説・自由見学[対面・オンライン]	13号館2F収蔵庫
6月20日	芸術文化学科	造形民俗学Ⅰ	36	民俗資料解説・自由見学[対面・オンライン]	13号館2F収蔵庫
6月28日	教養文化・学芸員課程	博物館実習ⅠC	14	民俗資料解説・自由見学	13号館2F収蔵庫
8月10日	通信教育課程	博物館実習	34	民俗資料解説・自由見学	13号館2F収蔵庫
9月16日	クリエイティブイノベーション学科	産学プロジェクト実践研究	8	民俗資料解説・自由見学	13号館2F収蔵庫
10月7日	芸術文化学科	キュレーター入門	25	民俗資料解説・自由見学	13号館2F収蔵庫
10月11日	芸術文化学科	造形総合・デザインⅡ-展示表現	29	民俗資料解説・自由見学	13号館2F収蔵庫
11月14日	油絵学科	卒業制作	8	民俗資料解説・自由見学・ワークショップ	第10講義室・展示室1、13号館2Fギャラリー
11月15日	空間演出デザイン学科	空間2(環境計画)I	12	民俗資料解説・自由見学・ワークショップ	第10講義室・展示室1、13号館2Fギャラリー
12月1日	工芸工業デザインコース	プロダクトデザイン特論Ⅰ	21	民俗資料解説・自由見学・ワークショップ	展示室1、13号館2Fギャラリー
12月8日	工芸工業デザインコース	プロダクトデザイン特論Ⅰ	20	民俗資料解説・自由見学・ワークショップ	展示室1、13号館2Fギャラリー
12月13日	クリエイティブイノベーション学科	クリエイティブイノベーション研究Ⅱ	5	民俗資料解説・自由見学・ワークショップ	展示室1、13号館2Fギャラリー
12月19日	芸術文化学科	造形民俗学Ⅱ	49	民俗資料解説・自由見学	13号館2F収蔵庫
12月20日	通信教育課程	博物館実習	9	民俗資料解説・自由見学	13号館2F収蔵庫

■ 図書館

月日	学科・研究室	授業名等	受講者数	利用作品名、資料名、内容等	利用スペース等
4月20日・21日	映像学科	映像基礎実習(映像前史)	83	視覚装置一式	研究・授業特別閲覧室3
4月22日	油絵学科版画専攻	絵画基礎Ⅰ、版画実習Ⅰ、版画実習Ⅶ、版画研究Ⅰ、版画研究Ⅲ(学部1,3,4年、大学院1,2年)	46	ART-BOOK展出展資料より 木版、銅版、石版、木口木版等による版画入りの書籍25種	研究・授業特別閲覧室1、2
5月12日	芸術文化学科	芸術文化学入門	80	ムサビ図書館の歴史と特色、大学における役割を説明。実際に図書館で美しいデザインの本を1冊借りてくる実技演習を行った	12号館201教室、図書館
5月14日	デザイン情報学科	メディア表現演習Ⅰ(音響文化研究)	13	『The Speaking Picture Book, Imitating the Cries of Animals, An amusement for the Little Ones Eyes and Ears.』『The Speaking Picture Book: A New Picture Book with Characteristic Voices.』『オンプロチネマ』	研究・授業特別閲覧室3
5月16日・20日・23日・25日・27日	視覚伝達デザイン学科	構成演習(学部2年、大学院1年)	130	デザインの歴史:印刷史、タイポグラフィ関連資料(8世紀から現代まで)、しかけ絵本、視覚装置関連資料	研究・授業特別閲覧室1、2 カタログギャラリー
5月26日	クリエイティブイノベーション学科	構成演習Ⅰ	80	館内ツアー(図書館の利用の仕方を説明)	図書館
5月31日	基礎デザイン学科	タイポグラフィ研究A(学部2年生、4年生)	33	タイポグラフィの視点から近代の代表的なブックデザインを閲覧	図書館
6月9日	クリエイティブイノベーション学科	クリエイティブイノベーション研究Ⅱ(ゼミ)	16	卒業論文・研究を間近にした4年生に向けて、図書館を利用した情報収集の方法、論文執筆のための参考文献などを紹介	美術館ホール、図書館
7月5日	美学美術史研究室	日本美術史研究	13	『東洋美術大観』全15冊の閲覧	研究・授業特別閲覧室3
7月7日	デザイン情報学科	デザイン情報学演習Ⅲ A「プリントメディア研究」(学部3年)	11	デザインの歴史:印刷史、タイポグラフィ関連資料(8世紀から現代まで)、しかけ絵本、視覚装置関連資料	研究・授業特別閲覧室1、2
9月12日	芸術文化学科	デザイン基礎	60	視覚装置一式	研究・授業特別閲覧室1、2
9月30日	視覚伝達デザイン学科	視覚表現演習E	20	ジョセフ・アルパース『Interaction of color』『Formulation: Articulation』ほか色彩関連資料	研究・授業特別閲覧室1、2
10月5日	芸術文化学科	キュレーター入門	25	装飾写本、博物画、おもちゃ絵、絵入り新聞、貴重雑誌、アーティストブック 合計8点	研究・授業特別閲覧室1、2
10月11日	視覚伝達デザイン学科	ダイアグラムデザイン(視覚伝達デザイン表現演習)	7	デイドロ、ダランベール『百科全書』、オットー・ノイラトほかのダイアグラム関連資料	研究・授業特別閲覧室1、2
10月14日	芸術文化学科	ミュージオロジーと生涯学習	86	テーマ「学びのツール ムサビ図書館を知る・活用する」レクチャー	9号館205教室
10月18日	視覚伝達デザイン学科	ダイアグラムデザイン(視覚伝達デザイン表現演習)	7	杉浦康平、勝井三雄ほかのダイアグラム関連資料	研究・授業特別閲覧室1、2

11月10日	芸術文化学科	鑑賞のデザイン	15	装飾写本、博物画、しかけ絵本、プライベートプレス、アーティストブック等11点および参考図書20点	研究・授業特別閲覧室1、2
12月1日	美学美術史研究室	日本美術各論VI-2	9	赤本、黒本、黄表紙、合巻、錦絵および平安から室町期の絵巻模本。「物語る」絵画の展開や代表作を学び、比較する	研究・授業特別閲覧室1、2
12月7日	油絵学科版画専攻	絵画基礎IV、絵画基礎VII、版画実習VI	43	ART-BOOK展出展資料より 板目木版、木口木版による挿絵入り書籍から木版による版表現を見つめ直す	研究・授業特別閲覧室1、2
12月8日	美学美術史研究室	日本美術各論VI-2	6	赤本、黒本、黄表紙、合巻、錦絵および平安から室町期の絵巻模本。「物語る」絵画の展開や代表作を学び、比較する	研究・授業特別閲覧室3

収蔵資料閲覧実績 Collection Viewers

●2022年度 民俗資料室収蔵資料閲覧者数

※(カッコ)内は前年比

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	計
学内(学生および教員の個人利用)	件数	12	9	11	22	2	13	13	2	2	0	0	86
		(-1)	(-11)	(-4)	(+11)	(+2)	(+13)	(-5)	(-10)	(-24)	(±0)	(±0)	(-29)
	人数	15	11	13	31	2	15	22	3	2	0	0	114
		(+2)	(-12)	(-10)	(+19)	(+2)	(+15)	(-6)	(-10)	(-28)	(±0)	(±0)	(-28)
授業利用	件数	1	0	3	1	1	1	2	2	5	0	0	16
		(+1)	(-1)	(+1)	(+1)	(-1)	(+1)	(+1)	(-1)	(+4)	(±0)	(±0)	(+6)
	人数	24	0	86	43	34	8	54	20	104	0	0	373
		(+24)	(-18)	(+44)	(+43)	(-43)	(+8)	(+30)	(-22)	(+87)	(±0)	(±0)	(+153)
留学生・海外協定校	件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		(±0)	(±0)	(±0)	(±0)	(±0)	(±0)	(±0)	(±0)	(±0)	(±0)	(±0)	(±0)
	人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		(±0)	(±0)	(±0)	(±0)	(±0)	(±0)	(±0)	(±0)	(±0)	(±0)	(±0)	(±0)
他大学・博物館などの研究施設	件数	0	0	0	0	0	0	1	2	2	0	0	5
		(±0)	(±0)	(±0)	(±0)	(±0)	(±0)	(+1)	(+1)	(+2)	(±0)	(±0)	(+4)
	人数	0	0	0	0	0	0	1	6	2	0	0	9
		(±0)	(±0)	(±0)	(±0)	(±0)	(±0)	(+1)	(+4)	(+2)	(±0)	(±0)	(+7)
外部一般	件数	7	13	16	53	0	22	7	3	5	0	2	128
		(+1)	(+13)	(+15)	(+53)	(±0)	(+22)	(+6)	(-11)	(-19)	(±0)	(+2)	(+82)
	人数	10	15	28	120	0	29	9	6	17	0	3	237
		(+1)	(+15)	(+27)	(+120)	(±0)	(+29)	(+6)	(-15)	(-12)	(±0)	(+3)	(+174)
月別計	件数	20	22	30	76	3	36	23	9	14	0	2	235
		(+1)	(+1)	(+12)	(+65)	(+1)	(+36)	(+3)	(-21)	(-37)	(±0)	(+2)	(+63)
	人数	49	26	127	194	36	52	86	35	125	0	3	733
		(+27)	(-15)	(+61)	(+182)	(-41)	(+52)	(+31)	(-43)	(+49)	(±0)	(+3)	(+306)

※集計期間：2022年4月1日-2023年2月28日

団体見学等

Facility Tours

美術館は地域に開放された文化施設として、中学・高校や福祉施設等からの団体見学を受け入れており、団体の希望に応じて展覧会開設等を行っている。図書館は研究・調査目的での見学を個人、団体ともに受け付けている。

2022年度

■美術館…17件

日時	団体名	対象/人数	目的	内容	所轄	備考
5月27日 14:00-16:00	八王子学園高校	100名	展覧会鑑賞	令和3年度優秀作品展の鑑賞	広報チーム所轄	大学見学
5月30日 13:30-14:30	自由学園(大学部)	20名	展覧会鑑賞	令和3年度優秀作品展の鑑賞		
6月3日 13:10-14:40	桐生第一高等学校 普通科デザイン 美術コース	25名(うち 引率2名)	展覧会鑑賞	令和3年度優秀作品展の鑑賞		
6月9日 10:00-12:00	白梅学園大学 3年生 図画工作科指導法受講生	38名(うち 引率1名)	展覧会鑑賞	令和3年度優秀作品展の鑑賞		
7月22日 13:00-14:00	東村山第一中学校 美術部	24名(うち 引率3名)	展覧会鑑賞	みんなの椅子展、原弘展の鑑賞		校外学習
7月23日 11:00-13:00	(公財)立川市地域文化振興財団	40名	展覧会鑑賞	所蔵椅子資料の解説 みんなの椅子展の鑑賞	財団主催の企画	
7月24日 13:30-14:30	女子美術大学	10名	展覧会鑑賞	みんなの椅子展、原弘と造型 展の鑑賞		
7月29日 14:00-15:00	橘学苑高等学校	80名	展覧会鑑賞	みんなの椅子展、原弘と造型 展の鑑賞	広報チーム所轄	大学見学
9月24日 10:30-11:30	小平茶間茶間 クラブ	14名(うち 引率1名)	展覧会鑑賞	みんなの椅子展、原弘と造型 展の鑑賞		
11月9日 10:45-11:00	松戸高等学校	20名	展覧会鑑賞	黒川弘毅展、AGAIN-ST展の 鑑賞	広報チーム所轄	大学見学
11月10日 13:00-14:00	さいわい 福祉センター	7名	展覧会鑑賞	黒川弘毅展、AGAIN-ST展の 鑑賞		
11月11日 13:30-14:00	NPO国分寺 ハンディキャブ	10名程度	展覧会鑑賞	黒川弘毅展、AGAIN-ST展の 鑑賞		
11月17日 11:15-11:30	向上高等学校	8名	展覧会鑑賞	黒川弘毅展、AGAIN-ST展の 鑑賞	広報チーム所轄	大学見学
11月17日 14:30-14:45	群馬県立西邑楽高校	20名	展覧会鑑賞	黒川弘毅展、AGAIN-ST展の 鑑賞	広報チーム所轄	大学見学
12月9日 14:45-15:15	武蔵丘高校	30名程度	展覧会鑑賞	AGAIN-ST展、助教・助手展 2022の鑑賞	広報チーム所轄	大学見学
12月14日 13:00-13:45	熊本第二高等学校	20~40名	展覧会鑑賞	AGAIN-ST展、助教・助手展 2022の鑑賞	広報チーム所轄	大学見学
12月18日 13:15-14:45	小平第十二小学校	90名	展覧会鑑賞	AGAIN-ST展、助教・助手展 2022の鑑賞		校外学習

3 收集

3 Collection

資料受入実績（購入・寄贈）

Materials Accepted (Purchased and Donated)

収蔵品目録 凡例

1. 収蔵品は以下のように分類した

■美術	絵画	日本画 洋画 版画 素描
	彫刻	
	写真	
	その他の美術作品	
■デザイン	グラフィックデザイン	ポスター その他のグラフィックデザイン
	プロダクトデザイン	椅子 家具（椅子以外） 玩具 照明・生活用品・事務用品 その他のプロダクトデザイン
	建築	
■工芸	工芸	陶磁器 美術工芸
	その他工芸	その他工芸

■民俗・民族資料

2. 各資料の詳細は上記の分類に分け、以下のように表記した。不明部分については表記を避けた。

ただし、資料整理が未完の場合は、詳述を割愛し暫定的な記録に留めた。

寄贈品に関しては寄贈者（敬称略）を明記した。

登録番号* 登録番号については最初の6桁のみを記した。

■絵画、彫刻、写真、版画、その他の美術作品

・詳細は下記の順で表記した。

作品名
制作者
制作年
サイズ(縦×横cmまたは高×幅×奥行cm)
素材・技法等
登録番号*

■グラフィックデザイン>ポスター

・詳細は下記の順で表記した。発行者が特定出来たものは制作年の前に表記した。

作品名
デザイナー
発行者 制作年
サイズ(縦×横cm)
登録番号*

■プロダクトデザイン>椅子

・詳細は下記の順で表記した。メーカーが特定出来たものは制作年の前に表記した。

製品名あるいは慣用呼称
デザイナー
メーカー 制作年
サイズ(縦×横×奥行cm)
素材・技法等
登録番号*

■プロダクトデザイン>家具(椅子以外)、玩具、照明、生活用品、事務用品

・詳細は下記の順で表記した。メーカーが特定出来たものは制作年の前に表記した。

製品名
デザイナー
メーカー 制作年
サイズ(縦×横×奥行cm) あるいは(h.[高]×φ.[径]cm)
素材、技法等
登録番号*

■工芸>美術工芸

・詳細は下記の順番で表記した。

作品名
制作者
制作年
サイズ(縦×横cm)
素材、技法等
登録番号*

●新収蔵品：2022年度分

New Acquisitions: 2022

■美術

絵画>版画

Ecuyère et chval
サルバドール・ダリ
1973年
h100.0 x w72.5cm
ミクストメディア
寄贈
2022-05

彫刻

所有・霧囲気・振動—森のはずれ
若林奮
1981-84年
h257.0 x w506.3 x d414.8cm (部屋
状部分)
総重量 7,000kg
寄贈
2022-03
fig.1

Moon Fish No.3
黒川弘毅
1990年
h20.0 x w51.5 x d57.0cm
ブロンズ
寄贈 黒川弘毅
2022-04
fig.2

Spartoi No.40
黒川弘毅
1996-97年
h57.0xw50.0xd40.0cm
ブロンズ
寄贈 黒川弘毅
2022-04
fig.3

Golem No.46
黒川弘毅
1990-91年
h37.5 x w16.5 x d18.0cm
ブロンズ
寄贈 黒川弘毅
2022-04
fig.4

■デザイン

プロダクトデザイン>椅子

オーガニックチェア
チャールズ・イームス、エーロ・サーリネン
2022年(初号 1940年)
h82.5 x w72.5 x d67.5cm
寄贈 株式会社インターオフィス
2022-02
fig.5

プロダクトデザイン>その他のプロダクト デザイン

東京2020オリンピック、パラリンピック
聖火リレートーチ
吉岡徳仁(d.)
2019年
全長71.0cm 重量1.2kg
アルミニウム
寄贈 長澤忠徳
2022-01



fig.1



fig.2



fig.3



fig.4



fig.5

若林奮作品の寄贈について

Donation of a work of Isamu Wakabayashi

《所有・霧田気・振動—森のはずれ》の寄贈について



作品情報

《所有・霧田気・振動—森のはずれ》

若林奮

1981-84年

506.3 × 414.8 × 257.0cm (部屋状部分)、7,421kg

本作の概要と寄贈の経緯

現代日本彫刻を代表する作家の一人である若林奮は、本学に勤めていた1981年に共通彫塑実習棟の内側で鉄板を組み上げ、自分自身のために10畳ほどの空間を作った。若林はこの通称「鉄の部屋」全体を鉛で覆い、植物や大気を表す鉛の板やキューブを周囲に配置し《所有・霧田気・振動—森のはずれ》(以下、「森のはずれ」)として、1984年に発表した。

この「森のはずれ」はその後の若林の彫刻観・自然観を一層飛躍させるきっかけとなった重要な作品であり、同時に本学に10年ほど勤めた若林と大学とのつながりを知ることでできる作品でもある。

企画が立ち上がった2021年から、この「森のはずれ」を軸に展覧会を組み立てることが検討された。同作は諸般の事情から約30年間展示されていなかったため、作品の状態や組み立て方法など不明点が多くあった。そのため、所蔵先および関係各所との調整や作品調査を慎重に重ね、出品の承諾を得た。この一連の手続きのなかで、所蔵先より寄贈の申し出を受けた。以上の経緯で「森のはずれ」は2022年11月に当館所蔵となり、2023年6月に展覧会「若林奮 森のはずれ」にて約30年ぶりに展示された。

なお作品寄贈後、2023年1月から3月にかけて、経年劣化により生じた錆の除去、当時若林が制作したかたちから明らかに変形した鉛の部分の再制作等の修復作業を行った。本修復作業では、本展監修者である3人の彫刻家による指導や当時の作品を知る関係者への聞き取りをもとに方針を定め、本学学生・卒業生らを中心に鉛の錆の除去作業を行なった。部分の再制作に際しては、監修者、本学非常勤講師、卒業生らとともにいった。彫刻を学ぶ現役学生や卒業生、彫刻家らの協力のもとで実現した修復作業であった。

※本修復作業については p35の「《所有・霧田気・振動—森のはずれ》修復覚書」に詳細を記す。

《所有・雰囲気・振動—森のはずれ》修復覚書

《所有・雰囲気・振動—森のはずれ》(1981-1984、以下《森のはずれ》)は、1991年のソウル・アーツ・センターでの展示を最後に、約30年間倉庫にて保管されていた。所蔵者であったイケダギャラリーに本展への作品借用について相談するなかで、2022年に先方のご好意により当館に寄贈いただけることとなった。

作品を構成する要素のうち、ドローイングや紙からなる立体物はかなり良い状態だったが、主たる素材である鉛や鉄には、錆が広範囲に広がっていた。また、一部の鉛は変形・硬化し、多少の負荷で剥落する状態だったため、そのまま展示することは不可能であった。そのため本展では、袴田京太郎(武蔵野美術大学 造形学部油絵学科研究室教授、彫刻家)、伊藤誠(武蔵野美術大学 造形学部彫刻学科研究室教授、彫刻家)、戸田裕介(武蔵野美術大学 共通彫塑研究室教授、彫刻家)と三人の彫刻家を迎え、彼らの監修の下《森のはずれ》展示のための作品チェック、クリーニングおよび修復を2023年1月から3月にかけて行った[fig.1]。

本展会場では監修者インタビューとともに修復作業をまとめた動画を上映したが、本稿では記録写真とともに簡易的にその概要をまとめる。



fig.1

はじめに《森のはずれ》の作品の構成を記す。《森のはずれ》の部屋状部分(通称「鉄の部屋」)は鋼板計28枚とL字型鋼計15本からなる。「鉄の部屋」の外壁全体は薄い鉛板で覆われ、さらに外壁前方には、鉛を主たる素材とする大小さまざまな立体が置かれる。「鉄の部屋」の内部に紙を主に用いて制作された白の立方体(振動尺)が床面に置かれ、4枚の壁面の天地いっばいにドローイングがかかる。以上が全体の構成である。

以下に、鉄と鉛に大別し、状態およびクリーニング・修復方法を記す。
・「鉄の部屋」の鉄板類 黒皮の鉄板が使用されており、床面10枚、壁面18枚、計28枚全てに錆が広がっていた。保管時、空気に触れていた部分と垂木が密着し空気に触れていなかった部分とで、錆の付き方に大きな差があり、垂木の跡が目立った[fig.2, 3]。

以下の方法で、鉄板の錆を除去した。

- 1 | 研磨作業による錆の粉が周辺に飛散するため、壁面含め養生する
- 2 | ワイヤークップを貼り付けたベビーサンダーで研磨する。ワイヤークップの痕跡が残らないよう、ワイヤークップを縦横斜めさまざまな方向に動かす[fig.4]
- 3 | 表面を鉄製ワイヤーブラシで馴染ませる
- 4 | 錆除去洗浄剤を吹きかけ、ウエスで拭き取る
- 5 | 白塗装された鉄板については、上記の方法で塗装膜を除去した後、当時と同様、錆止めとラッカー塗料を塗布した[fig.5]
- 6 | 保管時の錆止めのために錆止めオイルを塗布する(展示の際は全て拭き取る)



fig.2



fig.3



fig.4



fig.5

・「鉄の部屋」の外壁および外壁前方の鉛類

外壁前方の鉛の造形物には白く錆が出たものが多かった。なかでも、無垢の鉛からなる10cm角の立方体に最も多く、板状の木を鉛板で包んだ正方形の立体・長方形の立体物の一部にも見られた。また、板状の木を鉛板で包んだ立体のうち、同寸5点の立体の鉛は、錆のみでなく、変形・硬化し、多少の負荷がかかるだけで剥落する状態だった。

外壁に使用する薄い鉛板はロール状にしっかり巻いたのち茶紙に包んで保管されていたためか、ほとんど錆が見られなかった。鉛の錆は以下の方法で丁寧に除去し、白色化が目立つもののみ簡易に着色を行った。

1 | 養生を念入りに行い、作業者はガウンや防護服等に加えて、防塵マスク、ゴーグルを着用した

2 | ブラシや柔らかめの刷毛(豚刷毛など)を使用し、表面に粉状に浮いた錆を落とす[fig.6]。本体に食い込んだ錆は虫ピンを使用し浮かせ、刷毛で落とす

3 | 浮いた錆をすべて落とした後に、錆の白色が目立つ部分は、黒鉛粉末(カーボングラファイト32-42um)で着色する。凹凸のある面は柔らかい刷毛で、平滑な面はウエスで馴染ませる[fig.7, 8, 9, 10]

変形・硬化した5点の立体[fig.11]は、移動や梱包に伴う多少の負荷でも破損が進むため、

展示は困難と判断し、オリジナルは現状のまま保存し、再制作を行った。



fig.6



fig.7



fig.8



fig.9

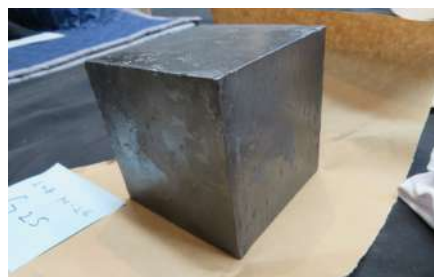


fig.10

fig.9 着色前、fig.10 着色後



fig.11

再制作にあたり、原因や使用された素材を調査するため、本展監修者に加え、当時アシスタントとして制作に携わっていた方に当時の状況を尋ねたところ、変形した5点は、展覧会初日をあと数日後に控え、若林が「ヴォリュームをもっと増やしたい」と希望したことにより急遽追加制作したものであることがわかった。内部の木に晒を貼るために使用した木工用ボンド(酢酸ビニル樹脂系エマルジョン形接着剤)が完全に乾燥しないまま鉛で包んだことで、鉛板で密封された内部が逃げ場を失った酢酸の蒸気で満たされ、ちょうど鉛白を生成する環境と同じような状況になったことが変形・硬化の原因のひとつではないかと推測される。基本的には当時と同じ材料、同じ方法を用いながらも、接着剤は変更するなど、当時の制作方法を検証した上で可能な限り忠実に、ただし同様の不具合が発生しないよう以下の方法で再制作した。

- 1 | 杉材全体にアルカリ可溶性アクリル樹脂をベースにした接着剤(日本画などに使用される糊材)の原液を塗布する。材の反りを勘案し、木裏・木口、木表・木口の順で塗布。1日1面ずつ進め、十分な乾燥時間をとる
- 2 | 工程1を終え、乾燥した杉材の木表と木裏に晒を貼り付ける。接着剤に少しの増粘剤を混ぜたものを塗り、乾かないうちに杉材より少し大きめに切った晒を貼り付け、刷毛で接着剤+増粘剤を含浸する。空気を刷毛でこそげるように貼り付けていく[fig.12]
- 3 | 工程2がやや乾いたら接着剤+増粘剤を再度塗布する
- 4 | オリジナルからおこした型紙に合わせて鉛をカットする
- 5 | 晒を貼り完全に乾燥した杉板全体を鉛で包む。木端や木槌で叩きながら、木に鉛を密着させる[fig.13]
- 6 | 鉛の上から釘を打ち込み固定する[fig.14]
- 7 | 角の部分のみ半田付けし[fig.15]、完成[fig.16]

以上が今回行った《森のはずれ》のクリーニング・修復についての概要である。

今回のクリーニング・修復作業では、監修の袴田、伊藤が若林のアシスタントとして作品制作に携わっていたことで、《森のはずれ》をどう考えるか再考した上で、修復についての最適解を模索することができた。それに加えて、《森のはずれ》制作に携わった当時のアシスタントの中澤公孝氏が、監修の戸田が大学入学前に美術予備校で指導を受けた美術家の同級生だったなど偶然も重なり直接コンタクトが取れ、お話を伺うことが叶った。さらには大学美術館の特性を活かして実際の作業をめぐる本学教員をはじめ、卒業生および在学生らの全面的な協力を得ることができたことなどが

ら、上述のように検討を重ねながら修復および一部再制作を行うことができた。

想定され得る作家の意思や作品解釈に加えて、《森のはずれ》の当時の鑑賞条件をいかに維持するか、現状以上の劣化をどう防ぐかなどさまざま勘案した結果の作業となったが、経年変化の生じやすい素材を使用した現代彫刻作品修復の先事例は少なく、当館としても試行錯誤の連続であった。若林作品の修復のみならず、前例のない修復作業が発生することになるだろう現代美術の分野において、本件が修復についての一例となれば幸いである。

鳥越麻由(武蔵野美術大学 美術館・図書館 元学芸員)



fig.12



fig.13



fig.14



fig.15

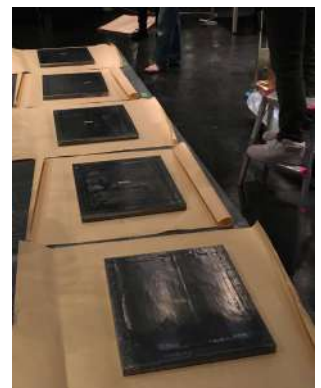


fig.16

安西水丸作品の寄贈について

Donation of Anzai Mizumaru's Works

日本を代表するイラストレーターのひとり、安西水丸(1942-2014)が生涯にわたり手がけたイラストレーション原画や直筆原稿などの仕事の大部分の資料が、ご遺族から寄贈されることになった。

本寄贈は2020年9月に当館で開催した展覧会「イラストレーションがあれば、」(<https://mauml.musabi.ac.jp/museum/events/16439/>)において安西水丸事務所から原画作品を借用したことをきっかけに、美術大学という「後世のために作品を活用できる場所」である当館に寄贈したい、という申し入れをご遺族からいただき、実現した。

資料は漫画を含むイラストレーション原画約13,800点をはじめとして、自筆原稿、著作、幼少期からのスケッチブックなどで構成されている。

安西が第一線で活躍し続けた1970年代から2010年代までの期間は、数多くのイラストレーターやデザイナーが登場し、雑誌等のメディアを通してその表現が普及していった、日本のイラストレーション史、グラフィック・デザイン史にとって非常に重要な期間であったと言える。その中で長期にわたり広告から装丁まで幅広く活躍した安西の活動を辿ることのできる資料群は、デザイン資料としての有用性はもちろんのこと、出版文化や印刷文化を知る上でも大きな資料的価値があると言える。また通常イラストレーションは印刷物や画面上で目にすることが多いが、原画にはパントンのフィルムのような自由なカットのラインや鮮やかな色選び、ペンや色鉛筆の闊達な線の運びなど多彩な絵画的魅力に溢れており、印刷物には見ることのできない安西自身による手の痕跡をしっかりと感じることができる。

今後当館にて調査・整理を進め、寄贈作品の全貌を紹介する展覧会を数年内に開催する計画である。さらに、段階的にデータベース化に取り組み、今後広く公開することを予定している。



fig.1



fig.2



fig.3

fig.1 : 『Bacchus』「安西水丸の盛り場スケッチブック 水丸銀座」原画
(バッカス編集室、1989年3月号)

fig.2 : 北原白秋『邪宗門(日本の文学17)』(ほるぶ出版、1985年)装丁原画

fig.3 : 『IN★POCKET』表紙原画(講談社、1983年11月号)

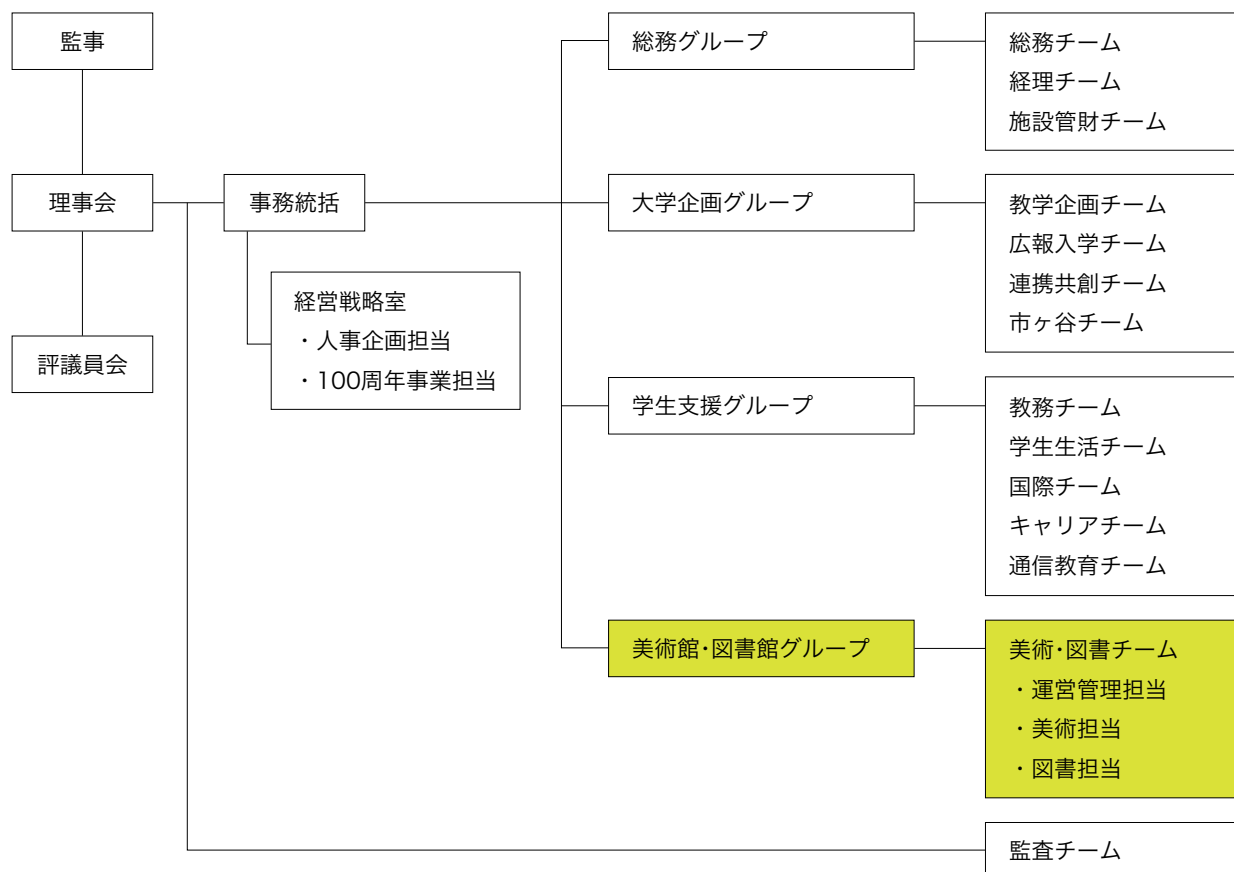
4 組織/運営

4 Organization / Management

本学学務事務組織図と美術館・図書館グループの業務分掌

Administrative Organization Chart and the Museum and Library Section's Work Contents

武蔵野美術大学 事務組織図



美術館・図書館グループ 業務分掌

(所属チーム：美術・図書チーム [運営管理担当・美術担当・図書担当])

任務（役割）	業務分掌
より有効な研究教育活動が行われるための 情報・資料の提供	(1) 教育研究に有効な美術資料の収集・保存・公開・活用 (2) 教育研究に効果的な民俗資料の整備・保存・公開・活用 (3) 教育研究に不可欠な図書資料の収集・保存・提供・活用 (4) 教育研究に効果的な映像資料の収集・保存・提供・活用 (5) 造形研究センターに係る業務

委員会記録

Committee Records

2022年度

- **第1回美術館・図書館運営委員会**
開催日：2022年9月29日(木)
- **第2回美術館・図書館運営委員会**
開催日：2023年3月10日(金)
- **臨時美術館・図書館運営委員会**
開催日：2023年 3月 28日(火)
- **第1回収集・評価委員会**
開催日：2022年7月6日(水)
- **臨時収集・評価委員会**
開催日：2022年10月19日(水)
- **第2回収集・評価委員会**
開催日：2023年2月28日(火)

1 公開/発信

1 Release / Publication Activities

展覧会記録

2023（令和5）年度

Exhibitions

- ・展覧会の基本情報及び概要文に、展示風景の画像を添えて紹介した。
- ・本記録は各展覧会の担当者が作成した。
- ・担当者の所属先(美術館・図書館グループ 美術・図書チーム)については表記を割愛した。
- ・所属先、役職名等は展覧会開催当時のまま記載した。
- ・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、実際の開催にあたっては広報物に記載した内容から変更したことがある。

展覧会記録 美術館・民俗資料室ギャラリー 2023 (令和5) 年度 Exhibitions2023

4月3日-5月4日	2022年度 武蔵野美術大学 卒業・修了制作 優秀作品展
6月1日-8月13日	若林奮 森のはずれ
6月1日-7月2日	MAU M&L コレクション：絵画のアベセデール
7月15日-8月13日	三浦明範——vanitas vanitatum
9月4日-10月1日	生誕100年 大辻清司 眼差しのその先 フォトアーカイブの新たな視座
9月4日-10月1日	大浦一志——雲仙普賢岳/記憶の地層
10月23日-11月19日	西田俊英——不死鳥
12月4日-12月23日	助教・助手展2023 武蔵野美術大学 助教・助手研究発表

2022年度 武蔵野美術大学 卒業・修了制作 優秀作品展

Selected Works from Musashino Art University Degree Show 2022

会期：2023年4月3日(月)-5月4日(木・祝)

会場：美術館全館

主催：武蔵野美術大学 美術館・図書館

担当：内田麻美子、小川宏和、竹島薫、田村仁、横井昌子

広報印刷物デザイン：大崎奏矢

概要：

2022年度卒業制作および大学院修了制作において、優秀賞を受賞した作品や研究成果を美術館全館に渡り展示し、本学で実践されている幅広い美術教育の成果を紹介した。今年度から新たに、造形構想学部 of 卒業生が出品者に加わった。

入館者数：7,100名

関連イベント：

アーティスト・トーク①

開催日：2023年4月22日(土)

会場：美術館アトリウム1、図書館テラス

出演者：

上野聖人(彫刻学科)

坂上桜月(空間演出デザイン学科)

アーティスト・トーク②

開催日：2023年5月3日(水・祝)

会場：美術館アトリウム1・2

出演者：

宮本颯(彫刻学科)

獅子野あんこ[寺井果音](日本画学科)

ツルタシュリ[鶴田朱里](工芸工業デザイン学科)



撮影：稲口俊太

若林奮 森のはずれ

Isamu Wakabayashi : Outskirts of a Forest

会期：2023年6月1日(木)-8月13日(日)

会場：美術館 展示室2・4・5・6、アトリウム1・2

主催：武蔵野美術大学 美術館・図書館

特別協力：WAKABAYASHI STUDIO

助成：芸術文化振興基金

監修：袴田京太郎(油絵学科研究室教授)

伊藤誠(彫刻学科研究室教授)

戸田裕介(共通彫塑研究室教授)

担当：鳥越麻由、森克之、北澤智豊

広報印刷物デザイン：秋山伸

概要：

自身と周縁世界との関わりをめぐる思索を内包した作品により、戦後日本の彫刻を牽引した若林奮(1936-2003)。武蔵野美術大学在任時の1981年、学内にある工房内に鉄板をたて、自分自身のために10畳ほどの空間を作り、その後この通称「鉄の部屋」の周囲を鉛で覆い、周辺に植物や大気を表す鉛の板やキューブを配置して《所有・雰囲気・振動―森のはずれ》(1981-84年)として発表した。若林が彫刻観を拡張させるきっかけとなった極めて重要な本作を、約30年ぶりに展示公開した。

あわせて、自身と世界との距離を計るものさしとして1970年代以降の若林彫刻に通底する概念となる《振動尺》I~IV(1979年)、80年代終わりから若林にとって重要な素材の一つとなる硫黄を用いた《The First White Core》I~III(1992年)、自然の精緻な観察をとおして生まれた《Daisy I》(1993年)などのほか、若林の夥しい思索の一端が見えるドローイングや小品、資料約100点を展示した。

入館者数：9,459名

関連イベント：

①トークイベント1

開催日：2023年7月1日(土)

会場：美術館ホール

出演者：吉増剛造(詩人)、袴田京太郎(本展監修者、彫刻家、油絵学科研究室教授)

来場者数：130名

②トークイベント2

開催日：2023年7月29日(土)

会場：美術館ホール

出演者：酒井忠康(世田谷美術館館長)、水沢勉(神奈川県立近代美術館館長)

来場者数：80名



撮影：山本 糾

MAU M&L コレクション：絵画のアベセデール MAU M&L Collection : L'Abécédaire de la Peinture

会期：2023年6月1日(木)-7月2日(日)

会場：美術館 展示室3

主催：武蔵野美術大学 美術館・図書館

監修：赤塚祐二(油絵学科研究室教授)

担当：大野智世

広報印刷物・会場配布物デザイン：高田唯

制作物：会場配布物

概要：

タイトルにある「アベセデール」は仏語でABCD、入門書という意味を併せ持つ。AはAtelier(アトリエ)、BはBalance(均衡)など、AからZに至る多様な項目のもとに、油絵を中心とした所蔵作品約50点を紹介した。当館に集められた作品群、とりわけ絵画コレクションは、教員や卒業生、その影響関係にある作家によるものが多くを占め、本学の教育の幅広い射程を示している。しかし、本展では教育における関係性、時代や技法といった大きなくりからは少しだけ離れ、ときに描かれた当初のコンテクストをいったん保留にしながらも、多様な視点のもとに作品を並置した。そのことで、あらためて個々の作品の姿を見つめ直し、絵画の持つ豊かな世界を実感する機会となることに期待した。主な出品作家に柳瀬正夢、三雲祥之助、山口長男、村井正誠など。

入館者数：1,823名

関連イベント：ギャラリートークー聞けばわかる
ムサビの絵画これまでとこれからー

開催日：2023年6月22日(木)

会場：展覧会場

出演者：

樺山祐和(学長、油絵学科研究室教授)

水上泰財(油絵学科研究室主任教授)

赤塚祐二(本展監修者、油絵学科研究室教授)

加藤幸治(教養文化・学芸員課程教授、美術館・図書館副館長)

来場者数：60名



撮影：稲口俊太

三浦明範——vanitas vanitatum MIURA Akinori——vanitas vanitatum

会期：2023年7月15日(土)-8月13日(日)、
9月5日(月)-10月2日(日)

会場：美術館 展示室3

主催：武蔵野美術大学 美術館・図書館

監修：三浦明範(通信教育課程研究室教授)

協力：武蔵野美術大学 造形学部通信教育課程研究室

担当：横井昌子、佐伯聡子

広報印刷物・図録デザイン：馬面俊之

概要：

展覧会名にあるラテン語 "vanitas vanitatum" (ヴァニタス ヴァニタトゥム)は旧約聖書中の「伝道の書」に残された言葉で、「空の空」を意味する。現実の不条理に直面しながら虚無感に屈することなく既存の秩序さえも問い直した末に賢者が辿りついた言葉である。その言葉は、身近な事物を克明に観察、描くことで問題提起し、答えを探しながら描き続けてきた画家・三浦明範の作品に重なる。大型作品を中心に、油彩とテンペラによる彩色作品からシルバーポイントと墨によるモノクローム作品まで、29点を展覧。生きること、死ぬこと、日頃の私たちがあえて直視しない事柄と向き合う絶好の機会となった。

入場者数：5,892名

制作物(図録URL)：図録

<https://mauml.musabi.ac.jp/museum/catalogs/21171/>



撮影：真島一樹

生誕100年 大辻清司 眼差しのその先 フォトアーカイブの新たな視座

Kiyoji Otsuji: Seeing Beyond Things—Towards a New Perspective on Photography Archives

会期：2023年9月4日(月)-10月1日(日)

会場：美術館 展示室3・4・5

主催：武蔵野美術大学 美術館・図書館

監修：大日方欣一(九州産業大学芸術学部教授、九州産業大学美術館館長)

協力：株式会社DNPメディア・アート、九州産業大学

助成：公益財団法人 花王芸術・科学財団、公益財団法人 三菱UFJ信託地域文化財団

担当：大野智世、本岡耕平

大辻清司フォトアーカイブ担当：村井威史

広報印刷物・図録デザイン：佐藤篤司

概要：

当館では、写真家大辻清司(1923-2001)が残したプリント、撮影フィルム、作品掲載誌や蔵書などから「大辻清司フォトアーカイブ」を構成し、15年にわたって研究を重ねてきた。作品そのものと周辺資料の包括的な検証によって制作過程を追うことは、写真家が何を見つめ、どのように対象に迫ったのか、その関心の在りどころと思考を明らかにする重要な足がかりとなる。本展では、研究の軌跡、とりわけ撮影フィルムの内容の精査によって得られた視座を軸として「原点」「シアター」「シークエンス」「他者たち」からなる四つの章によって、大辻清司とはいかなる表現者だったのか、その真髄へと迫った。また、オリジナルプリントに加え撮影フィルムに残された多くの知られざる作品に光を当て展観することは、アートアーカイブ活用の新たな試みの一例になったといえる。

入館者数：2,142名

制作物(図録URL)：図録

<https://mauml.musabi.ac.jp/museum/catalogs/21385/>

関連イベント：

①ギャラリートーク

開催日：2023年9月4日(月)

会場：展覧会場

出演者：大日方欣一(本展監修者、九州産業大学芸術学部教授、九州産業大学美術館館長)

来場者数：50名

②トーク+コンサート「『クロス・トーク/インターメディア』の電子音楽」

開催日：2023年9月23日(土)

会場：美術館ホール

出演者：アコースモニウム演奏：檜垣智也(作曲家、東海大学准教授)

解説：川崎弘二(電子音楽研究)

来場者数：80名

③講演会「大辻清司フォトアーカイブ報告—これまでとこれから」



撮影：佐治康生

開催日：2023年10月1日(日)

会場：美術館ホール

出演者：大日方欣一(本展監修者、九州産業大学芸術学部教授、九州産業大学美術館館長)

来場者数：90名

大浦一志——雲仙普賢岳/記憶の地層

Kazushi Ooura : Mt. Unzen Fugen/Strata of Memory

会期：2023年9月4日(月)-10月1日(日)

会場：美術館 展示室1・2、アトリウム1・2

主催：武蔵野美術大学 美術館・図書館

担当：森克之、竹島薫

広報印刷物・図録デザイン：保田卓也

概要：

本学共通絵画研究室で絵画表現を通し美術・デザインにおける「造形の基礎とは何か」を考える実技授業に長年携わってきた大浦一志(おおうら・かずし)の退任記念展。

1991年6月3日に発生し、多くの人命を奪った長崎県雲仙普賢岳の大火砕流。この自然災害によって殉職した新聞記者のカメラに残った1枚の写真に突き動かされ、大浦は30年にわたり被災地域と東京を往還し、灰土に埋もれた民家跡から被災物を掘り起こし、噴火後の自然を記録し続けてきた。自身の身体を通して「自然の脅威と人間の営み」に向き合う、大浦のフィールドワークを紹介した。

入館者数：2,165名

制作物(図録URL)：図録

<https://mauml.musabi.ac.jp/museum/catalogs/21383/>

関連イベント：

①アーティストトーク

開催日：2023年7月29日(土)

会場：美術館ホール

出演者：大浦一志(共通絵画研究室教授)

来場者数：50名

②特別対談

開催日：2023年9月16日(土)

会場：美術館ホール

出演者：大浦一志(共通絵画研究室教授)

榎木野衣(美術批評家、多摩美術大学教授)

来場者数：80名



撮影：加藤健

西田俊英——不死鳥

Shunei Nishida——Phoenix

会期：2023年10月23日(月)-11月19日(日)

会場：美術館 展示室2・3、アトリウム2

主催：武蔵野美術大学 美術館・図書館

監修：西田俊英(日本画学科研究室教授)

協力：武蔵野美術大学 日本画学科研究室

担当：佐伯聡子

会場構成：入江剛史

映像制作：太田晃

広報印刷物・図録デザイン：馬面俊之

概要：

現代日本画壇を牽引する作家のひとりである西田俊英は、湿潤な日本の風土やヨーロッパの街並みを捉えた風景画、ポルゾイ犬をモチーフとした現代的な花鳥画、インド留学が転換期となり描きはじめてた人物画など 様々な題材に果敢に挑戦し続けている。確固たる技法に裏付けられた幻想的な空間表現。日本画の精神性を重んじ、崇高な物語の漂う、新しい表現を追求している。完成すれば縦2.05メートル、全長70メートルに達する巨大日本画《不死鳥》。人間と自然の森との共生、尽きることのない生命の循環の物語を紡ぐため、西田は2022年から1年間屋久島に移住し、日々山にわけいて写真を繰り返した。本展では、この前人未到ともいえる作品を核に、西田の原点となる少年時代の作品から、インド留学を経て、森羅万象を神とする日本人の心で、風景や動物、人物や花を愛情深く精緻な筆致で描いてきた29点の作品を通し、50年におよぶ画業の軌跡を紹介した。

入館者数：17,136名

制作物(図録URL)：図録

<https://mauml.musabi.ac.jp/museum/catalogs/21577/>

関連イベント：

①特別対談

開催日：2023年10月23日(月)

会場：美術館ホール、アトリウム1 特設会場

出演者：土方明司(川崎市岡本太郎美術館館長/武蔵野美術大学客員教授)、西田俊英(日本画学科研究室教授)

来場者数：150名

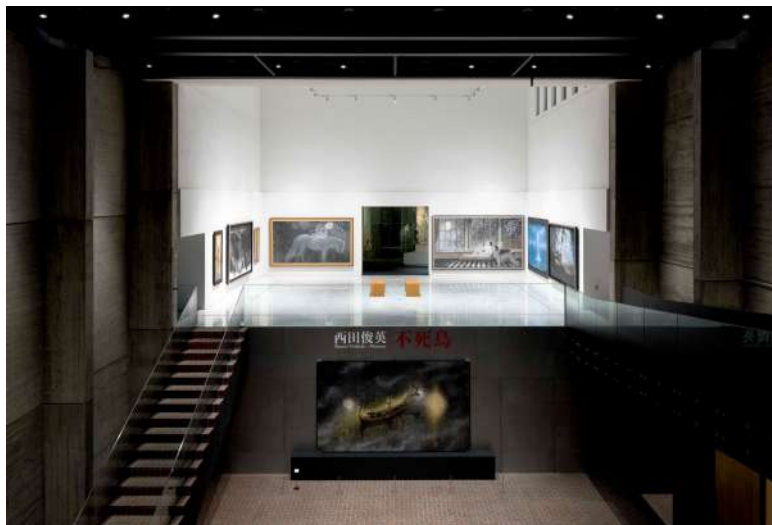
②特別鼎談

開催日：2023年11月6日(月)

会場：1号館第一講義室

出演者：野地耕一郎(泉屋博古館東京館長)、土屋禮一(日本画家/金沢美術工芸大学名誉教授)、西田俊英(日本画学科研究室教授)

来場者数：250名



撮影：佐治康生

③トークイベント

開催日：2023年11月16日(木)

会場：美術館 展示室3

出演者：千住博(日本画家)、西田俊英(日本画学科研究室教授)

来場者数：120名

助教・助手展2023 武蔵野美術大学助教・助手研究発表

Exhibition 2023 Research Associates and Research Assistants

会期：2023年12月4日(月)-12月23日(土)

会場：展示室2・4・5・6、アトリウム1・2ほか

主催：武蔵野美術大学 美術館・図書館

企画：助教・助手展2023運営委員会

協力：武蔵野美術大学共同研究「美術大学における民俗資料の活用をめぐる基礎的研究」

担当：横井昌子

広報印刷物・図録デザイン：松本聖典

概要：

研究室運営を担い学生の制作・研究や学生生活に寄与する一方、自身も一人の作家、デザイナー、研究者として活躍する本学助教・助手の創作活動や研究成果を学内外に広く紹介する展覧会。有志が展覧会運営組織をつくり、展覧会企画から展示作業まで全てを出品者自らが行った。

入館者数：3,301名

関連イベント：

①オープニングイベント

開催日：2023年12月4日(月)

会場：美術館前芝生

出演者：樺山祐和(学長、油絵学科研究室教授)、新見隆(美術館・図書館長、教養文化・学芸員課程研究室教授)

助教・助手7名

来場者数：200名

②アーティストトーク1

開催日：2023年12月5日(火)

会場：展覧会場

出演者：楯義明(名誉教授)、松本聖典(芸術文化学科研究室助手)

司会：永長愛美(空間演出デザイン学科研究室助手)

来場者数：-(不明)

③アーティストトーク2

開催日：2023年12月14日(木)

会場：展覧会場

出演者：川名晴郎(日本画学科研究室助教)、宮入惇(通信教育課程研究室助手)

司会：永長愛美(空間演出デザイン学科研究室助手)

来場者数：-(不明)

④シルクスクリーン ワークショップ

開催日：2023年12月16日(土)

会場：図書館テラス

出演者：越智七海(空間演出デザイン研究室助手)、小山さくら(クリエイティブイノベーション学科研究室助教)、二文字りの(基礎デザイン学科研究室助手)、若林穂乃香(映像学科研究室助手)

来場者数：-(不明)



撮影：伊藤安鐘、砂田紗彩

図書館館内展示・イベント記録

2023（令和5）年度

Records on Exhibitions and Events at the Library

美大生におすすめの本

高校生企画「ブックデザインから考える」

おすすめ絵本展示

イメージライブラリー上映会

美大生におすすめの本

「本を読みたいけれど、何をを読んだらいいのかわからない」という学生の声に応え、本学の(主に)教員が「美大生にぜひ読んでおいてほしい本」を紹介する企画。2020年度にスタートし、毎回好評を得ている。館内での実物展示と同時進行で図書館webサイトでも選定された書籍を紹介しており、学外からも注目されている企画である。2023年度は4月に館長に就任した新見隆教授が担当し、書籍以外にも多種多様な資料を展示した。



2023年度

Vol.16 新見隆（美術館・図書館長、教養文化・学芸員課程研究室教授）

高校生企画「ブックデザインから考える」Vol.3

会期：2023年7月23日(日)、8月20日(日)―2回シリーズ

会場：図書館

主催：武蔵野美術大学 美術館・図書館 図書担当

参加者：1回目 午前部 高校生10名／午後部 中学生5名 留学生5名

2回目 午前部 高校生10名 見学3名／午後部 中学生5名 見学1名 留学生5名

[豊島岡女子学園中学校5名、神奈川県立菅高校3名・同白山高校4名・同多摩高校3名見学のみ1名・同上鶴間高校1名見学のみ、八王子学園八王子高校1名見学のみ、唯新学院留学生(中国)5名]

概要：

中学生、高校生と、日本の大学・大学院を目指している留学生を招き、各自が図書館内から選んだ本1冊に自作カバーを制作し、それについて発表、意見交換をする。

1回目 企画・課題説明、図書館見学、カバーデザイン制作対象本選定、選定理由発表

2回目 制作説明プレゼン(質疑応答含め、一人10分の持ち時間をベースとして)

午前部は全員高校生で、次々と感想、意見、質問が繰り出され、活発なコミュニケーションの場となり有意義であった。

午後部の中学生は全員美術部所属で「描く」ことに馴れているとは言え、本を1冊選び、読み、カバーを自作する一連の作業は、やる気があり好きでなければ出来ない。色々考えた経過もうかがえ、発表での語彙が豊かであることにも驚いた。

留学生は、かなり日本語に苦戦していたが、やり遂げた。ただ、中学生が彼等の日本語をどれだけ自分なりに翻案できたのか。そのギャップへのアプローチや消化が、ここではトライの要素でもあった。



おすすめ絵本展示

会期：2023年10月9日(月)-12月21日(木)

会場：図書館大階段

概要：

2022年4月に当館の絵本ギャラリーを利用者が自由に閲覧できるように公開したが、もっと多くの人に絵本を手にとっていただきたいと思い、おすすめ絵本の展示を行った。

当館絵本ギャラリーは視覚表現に優れた絵本を中心に、国内外約6,500冊のコレクションを有している。今回は当ギャラリーの絵本と2階開架スペースに配架されている絵本の中から、選りすぐりの約100冊を展示した。絵本は、日本の絵本、ヨーロッパの絵本、北米・南米の絵本、アジアの絵本、中東・アフリカ・オセアニアの絵本、本学卒業生に分け、その違いも楽しんでもらえるように展示した。



イメージライブラリー上映イベント

イベント名：「イメラ・シネマ volume7」

上映作品：

『パプリカ』(2006年公開、今敏監督)

『犬王』(2022年公開、湯浅政明監督)

日時：2023年9月28日(木)-9月29日(金)

2日間、計4回上映

会場：美術館ホール

主催：イメージライブラリー

定員：各回先着100名

来場人数：306名(2日間の延べ人数)

概要：

定期イベントとして2017年度に開始した上映会は、新型コロナウイルス感染の影響により中止していたが、学内感染対策緩和に伴い今回約4年ぶりに再開した。

本上映会では、記念すべきイメラ・シネマ第一回上映作品である今敏監督の『パプリカ』、湯浅政明監督の最新作『犬王』、どちらも海外での評価が高いアニメーション作品を上映した。

開催にあたっては、来年度(2024年度)に美術館の改修工事を控えており美術館ホールが使用できなくなることも考慮し、より多くの学生に美術館ホールでの鑑賞の機会を提供できるよう、例年よりも上映回数と開催日程を増やして行なった。計4回の上映全てで定員に近い来場者数となり、大スクリーン・大音響ならではの上映を多くの学生に楽しんでもらった上映会となった。

イメージライブラリー定期上映会

MU M&L
Museum & Library

イメラシネマ

volume 7

約4年ぶりの上映会開催決定!

今回は、記念すべきイメラ・シネマ第一回上映作品である今敏監督の『パプリカ』に加え、湯浅政明監督の最新作『犬王』を上映します。どちらも海外での評価が高いアニメーション作品です。大スクリーン・大音響による上映をどうぞお楽しみください。



2023 9/28 木	2023 9/29 金
開場	開場
上映	上映
1回目 13:20 13:30-15:20	1回目 14:20 14:30-16:30
2回目 17:10 17:20-19:10	2回目 18:10 18:20-20:20

美術館ホール 各回先着100名
事前申込み不要。直接会場までお越しください。 入場料無料



所蔵品の公開

Release of Our Collections

● 杉浦康平デザイナーアーカイブのウェブ作品集「デザイン・コスモス」をリニューアル Relaunch of the Website "Design Cosmos: Sugiura Kohei Design Archive" in the Collection of Musashino Art University Museum & Library

グラフィックデザイナー杉浦康平氏(1932-)の作品資料で構成する特別コレクション「杉浦康平デザイナーアーカイブ」の研究成果を紹介するウェブサイト「デザイン・コスモス」。リリース2周年を迎えるにあたり大幅リニューアルし、既出の〈ブックデザイン作品〉に加え、あらたに杉浦デザインの主核のひとつである〈雑誌デザイン作品〉を追加公開した。

今回のリニューアルでは、作品コンテンツを追加するだけのバージョンアップにとどまらず、あっと驚くたのしい仕掛けも施している。サイトのトップ画面を構成する〈宇宙空間〉には杉浦氏がとくに重要と判断された20誌が〈惑星〉として浮遊し、さらにデザイン手法に特徴ある巻号が〈衛星〉として公転するギミックである。杉浦氏が手がけた雑誌は、建築、哲学、文化、伝統、民俗、教育、科学、アジア文化、政治、噂……など、主題が広範囲に及ぶ。タイトルの多くは、決まったかたちにとらわれず、月ごとに手を加えて変化にとんだ(変化しつづける)デザインとなった。サイトのトップ画面を「ただならぬ雑」がうごめきざわめく宇宙空間として創生することで、杉浦氏が雑誌デザインと対峙した造形思考そのものを表象する。

「デザイン・コスモス」は、杉浦氏独自のデザイン手法から作品にアプローチできるのが最大の特長である。雑誌デザイン作品の追加にともない、〈デザイン手法インデックス〉も全面的に増補改訂。デザイン手法の一覧から、既存の〈ブックデザイン作品〉と新規追加の〈雑誌デザイン作品〉を横断する探索をたのしむことができる。なお、作品の解説は、杉浦氏が雑誌デザインの作品集『疾風迅雷』(DNPグラフィックデザイン・アーカイブ、2004年)をベースにして大幅な加筆修正をおこなった、オリジナルテキストである。さらに、デザイン評論家白田捷治氏による書き下ろしエッセイ「雑誌デザインの座標軸を多元的に指し示す」を収録する。



リニューアル公開：2023年6月30日 [サイト開設：2021年6月30日]



プロジェクトチーム：杉浦康平＋木村真樹＋赤崎正一＋佐藤篤司＋杉浦祥子＋新保韻香＋平岡佐知子＋本岡耕平＋村井威史
監修・構成：杉浦康平
企画・進行：村井威史
編集：村井威史＋杉浦祥子
サイトディレクション：木村真樹
プログラミング：後藤哲成(Fivebit)
データ整合：本岡耕平
デザイン協力：新保韻香＋平岡佐知子

杉浦康平デザイナーアーカイブ「デザイン・コスモス」

Design Cosmos: Sugiura Kohei Design Archive
in the Collection of Musashino Art University Museum & Library

https://collections.musabi.ac.jp/sugiura_kohei/



●「大辻清司フォトアーカイブ」特設ウェブサイトのリリース
Launch of the Website “Kiyoji Otsuji Photography Archive”
in the Collection of Musashino Art University Museum & Library



デザイン：柳川智之／コーディング：伊藤晶子／サイト開設：2023年9月4日

当館所蔵の特別コレクション「大辻清司フォトアーカイブ」の情報発信基地として特設ウェブサイトを開設した。写真家大辻清司(1923-2001)の生誕100年を記念する当館開催の展覧会「生誕100年 大辻清司 眼差しのその先 フォトアーカイブの新たな視座」(2023年9月4日-10月1日)の開幕にあわせたリリースである。リリース時には、当アーカイブ監修の大日方欣一氏(九州産業大学芸術学部教授)による作家の創作活動を振り返るエッセイ「写真家大辻清司」のほか、担当者による当アーカイブの概要や出版物紹介を掲出。その後も美術批評家や写真研究者による書き下ろしエッセイなどを追加し、更新を続けている。今後はアーカイブ資料の調査研究によって解明した作品情報を年譜からたどるプログラムを構築する計画である。2024年3月末時点で公開している主なコンテンツは、以下のとおりである。

- ・作家について……………大日方欣一「写真家大辻清司」
- ・アーカイブ概要……………村井威史「武蔵野美術大学 美術館・図書館『大辻清司フォトアーカイブ』」
- ・エッセイ……………沢山遼「二つのアーカイブ」
- ・エッセイ……………Daniel Abbe 「Introductory Notes on Kiyoji Otsuji and the “Seeing Beyond Things” Exhibition」
- ・レポート……………芳田賢明「『フォトアーカイブの新たな視座』を支えたDNPメディア・アートの技術」

「大辻清司フォトアーカイブ」特設サイト

Website “Kiyoji Otsuji Photography Archive”
in the Collection of Musashino Art University Museum & Library

<https://otsujikiyoji.musabi.ac.jp/>



2 活用/提供

2 Education / Lending Activities

教育普及活動報告




Education Programs

小中学生から高校生、大人と幅広い年齢層を対象に、当館で所蔵している資料を通して美術・デザイン等にふれ、本学の美術教育やコレクションを知ってもらう機会となるようなプログラムを実施している。毎年企画しているイベントの他に、当館が開催している展覧会等をさらに深く、身近に感じてもらえるような関連企画も実施した。

2023年度


■ワークショップ

担当：美…美術館、図…図書館



担当	日時	タイトル	対象/人数	内容	記録写真
図	①7月23日 10:00-16:30 ②8月20日 10:00-17:00	高校生企画「ブックデザインから考える」Vol.3*	高校生、中学生、留学生 /20名	図書館が所蔵している本の中から1点を選び、その本を読んで自分なりのブックカバーを制作。1ヶ月後にプレゼン、意見交換をした。本と文字、ビジュアルの関係を考えるワークショップ。	
美	8月6日 13:00-16:00	ムサビ・キッズプログラム「おやこでミニチュアチェアをつくらう！」	小1~中3とその保護者/ 応募99組 132名 当選21組 27名	今年度は休館日の図書館を会場に、対面で開催することができた。ピーター・オプスヴィックの《トリップトラップ》のミニチュアを制作し、好みの色に塗ってもらった。椅子ギャラリーにも入室し、椅子の魅力を体験してもらった。	
美	11月12日(日) 13:00-15:30	こどももおとなも立体制作ワークショップ「透明ないぎものをつくる」	応募19組 34名/ 当選16組 27名	美術作家の小滝タケル氏のポリエステル樹脂による作品シリーズ《onece》。生物や自然から着想を得ている同シリーズの制作時に生じる無数のアクリルの破片を型に詰め、液体樹脂を流し込むことで、透明な立体物を制作した。制作の前に「西田俊英——不死鳥」を鑑賞し、さまざまな素材・技法により表現された自然のかたちに触れ、制作の参考にしてもらった。	

*図書館内展示・イベント記録にも記載がある

■連携プログラム

担当	日時	タイトル	対象/人数	内容	記録写真
美	6月10日 13:00-14:30	田園調布学園高等部 (芸術文化学科コラボ授業)	高校生6名	今年度で4回目となった田園調布学園と芸術文化学科のコラボ授業。高校生が調査した椅子を、ムサビ生とともに座り意見交換し、椅子の構造を体感する。そこで得られた知見をもとに高校生がオリジナルの椅子を考案する。	

■その他

担当	日時	タイトル	対象/人数	内容	記録写真
美	4月28日 YouTubeにて公開	「2022年度 武蔵野美術大学 卒業・修了制作 優秀作品展」出品者インタビュー	3本合計 1,795PV (2/24時点)	出品者本人に作品解説や制作過程の様子を話してもらうことで作品鑑賞の手がかりとしつつ、学外の方に美大のカリキュラムや、作品制作についての理解を深めてもらうことを目的とした。	
美	4月22日 14:30-15:30 5月3日(祝) 15:00-16:30	「2022年度 武蔵野美術大学 卒業・修了制作 優秀作品展」アーティスト・トーク	2日間合計 約100名	出品者本人によるトークを通して、来場者の鑑賞体験をより深めてもらうことを目的とした。5名の出品者が、自身の作品を前に作品のコンセプトや制作背景、大学生活について一歩踏み込んだトークを展開してくれた。	
図	4月26日- 8月19日	ムサビの教員が選ぶ 美大生におすすめの本 Vol.16*	全学生	本学教員が美大生にすすめる本を展示し、紹介した。16回目となる今回は、新見隆教授(美術館・図書館館長)が担当。あわせて新見教授による展示も行った。	

*図書館内展示・イベント記録にも記載がある

所蔵品の館外貸出

Loans from Our Collections

● 作品貸出

Loans of Materials Other than Images

2023年度

■ 美術資料

作品名等	メディア	作者	制作年	貸出先	展覧会名・目的	会期
大辻清司旧蔵『フォトタイムス』(29点)	印刷物	フォトタイムス社	1938-1940年	千葉市美術館 富山県美術館 新潟市美術館 渋谷区立松濤美術館	「前衛」写真の精神：なんでもないものの変容 瀧口修造・阿部展也・大辻清司・牛腸茂雄	2023年4月8日-5月21日 2023年6月3日-7月17日 2023年7月29日-9月24日 2023年12月2日-2024年2月4日
無言歌(5点)	写真	大辻清司	1956年			
大辻清司実験室#1-#11 (57点)	写真	大辻清司	1970-1975年			
住まいができたら(11点)	写真	大辻清司	1976年			
物体A (2点)	写真	大辻清司	1949年			
文房四宝(16点)	写真	大辻清司	1972年			
そして家がなくなった(7点)	フィルムスキャンデータ	大辻清司	1975年			
スツールNo.521	椅子	柳宗理	1954(1972)年	大阪中之島美術館	大阪中之島美術館開館1周年記念展「デザインに恋したアート♡アートに嫉妬したデザイン」	2023年4月15日-6月18日
アームチェア No.C103	椅子	山川譲	1954(1979)年			
ラウンジチェア	椅子	剣持勇	1958(1972)年			
スポークチェア	椅子	豊口克平	1963(1972)年			
日本タイポグラフィ展(日宣美)	ポスター	原弘	1959年			
パルコ 西洋は東洋を着こなせるか	ポスター	石岡瑛子	1979年			
地獄の黙示録	ポスター	石岡瑛子	1979年			
頭	油彩	麻生三郎	1965年	世田谷美術館	麻生三郎展 三軒茶屋の頃、そしてベン・シャーン	2023年4月22日-6月18日
白い家	油彩	赤穴宏	1949年	府中市美術館	発掘・植竹邦良 ニッポンの戦後を映す夢想空間	2023年5月20日-7月9日
第1回神戸須磨離宮公園現代彫刻展：関根伸夫「位相-大地」	写真	大辻清司	1968年	東京国立近代美術館	生誕100年 大辻清司(令和5年第1回MOMATコレクション)	前期：2023年5月23日-7月17日 後期：2023年7月19日-9月10日
第1回神戸須磨離宮公園現代彫刻展：関根伸夫「位相-大地」	写真(コンタクトプリント)	大辻清司	1968年			
上原2丁目	映像データ	大辻清司	1973年			
[MV]	油彩	柳瀬正夢	1923年	神奈川県立近代美術館	100年前の未来：移動するモダニズム 1920-1930	2023年10月7日-2024年1月28日
無題III	水彩・カラー ジュ	柳瀬正夢	1926年	石川県立歴史博物館	令和5年度 秋季特別展「御殿の美」	2023年10月14日-11月26日
ヨゼフ・ホフマンへのオマージュ Vol.2	椅子	倉俣史朗	1986年	世田谷美術館 富山県美術館 京都国立近代美術館	倉俣史朗のデザイン——記憶のなかの小宇宙	2023年11月18日-2024年1月28日 2024年2月17日-4月7日 2024年6月11日-8月18日
ウィーンチェア	椅子	ゲブルーダー・トナー	1870(1870)年	ポーラ美術館	モダン・タイムス・イン・パリ：1925—機械時代のアートとデザイン	2023年12月16日-2024年5月19日
バスキュラントチェア	椅子	ル・コルビュジエ ビエール・ジャンヌレ シャルロット・ペリアン	1928(1988)年			
シェーズロング	椅子	ル・コルビュジエ ビエール・ジャンヌレ シャルロット・ペリアン	1928(1975)年			
船	油彩	宮城音蔵	1958年	栃木県立美術館 長野県立美術館 碧南市藤井達吉現代美術館	春陽会誕生100年 それぞれの闘い 岸田劉生、中川一政から岡鹿之助へ	2024年1月13日-3月3日 2024年3月16日-5月12日 2024年5月25日-7月7日

■ 民俗資料

作品名等	メディア	作者	制作年	貸出先	展覧会名・目的	会期
水囊、蓑帽子、背負い梯子など(73点)	民俗資料	不明	不明	石巻市博物館	第5回企画展 石巻市博物館 ×武蔵野美術大学「民具の デザイン図鑑」	2023年5月27日-8月20日

■ 図書資料

作品名等	メディア	作者	制作年	貸出先	展覧会名・目的	会期
Queen Mab or tricks of Harlequin (マブ王女とアルルカンの芸当)	仕掛け絵本	—	1771	市川市文学ミュージアム	アメイジング・ストーリー しかけ絵本の世界展	2023年7月15日-9月3日
Paul, ou l'application (着せ替えパウル)	仕掛け絵本	—	1817			
Guy Faux (ガイ・フォークス)	仕掛け絵本	—	1849			
The Speaking Picture Book (お話 絵本)	仕掛け絵本	—	1890			
Internationaler Circus (インターナ ショナル・サーカス)	仕掛け絵本	—	1887			
The City Park (都市公園・レプリカ)	仕掛け絵本	—	1982			
An Edwardian doll's house (エドワ ード朝のドールハウス)	仕掛け絵本	—	1995			
Moko and Koko in the jungle (森の なかのモコとココ)	仕掛け絵本	—	1961			
極彩組み上げ燈籠太功記	仕掛け絵本	—	明治初期			
五子十童図	仕掛け絵本	—	幕末期			
八犬伝出世双六	仕掛け絵本	—	1865			
西洋昔噺 八ツ山羊	仕掛け絵本	—	1887			
銭湯おこし絵 (開花湯)	仕掛け絵本	—	不明			
ピーターとおおかみ	仕掛け絵本	—	1993			
Nouveaute! Livre de Metamorphoses (新・変身の本)	仕掛け絵本	—	1900?			
Ma Tante Gribiche (グリビッシュおば さん 500通りの愉快な変身)	仕掛け絵本	—	1895			
A New Harlequin (道化芝居 ダチョウ の卵)	仕掛け絵本	—	1798			
Anatomie iconoclastique (解剖図譜)	仕掛け絵本	—	1879			
Wonderland pictures (不思議な絵本)	仕掛け絵本	—	1890?			
Fairy surprise Pictures (妖精)	仕掛け絵本	—	1885?			
Voyages et aventures extraordinaires de Mr. Raphael de Rubensmouche (ラファエル・ド・ルー ベンスムシュ氏の奇妙な冒険)	仕掛け絵本	—	1899?			
Das Zauberboot (魔法のボート)	仕掛け絵本	—	1930			
Cinderella (シンデレラ)	仕掛け絵本	—	1891			
The land of long ago	仕掛け絵本	—	1898?			
The Daily Express A・B・C (デイリー・ エクスプレス ABC)	仕掛け絵本	—	1933			
The pop-up Mother Goose (マザー グース)	仕掛け絵本	—	1934			
The pop-up Puss in Boots (長靴を はいた猫)	仕掛け絵本	—	1934			
Tuck's annual with realistic surprise panoramas (タックス アニュアル)	仕掛け絵本	—	1930			
How Columbus discovered America (コロンブスはどのようにしてアメリカを 発見したか)	仕掛け絵本	—	1962			
Puss in Boots (長靴をはいた猫)	仕掛け絵本	—	1951			

作品名等	メディア	作者	制作年	貸出先	展覧会名・目的	会期
A Victorian farm house (ヴィクトリア朝の農場)	仕掛け絵本	—	1993	市川市文学ミュージアム	アメイジング・ストーリー しかけ絵本の世界展	2023年7月15日-9月3日
Thames Tunnel (ロンドンテムズ川トンネル・ピープショー覗き絵本)	仕掛け絵本	—	1830?			
Little Red Riding Hood (赤ずきん)	仕掛け絵本	—	1855?			
Rotkappchen (赤ずきん)	仕掛け絵本	—	1974			
Le Petit Chaperon Rouge (赤ずきん)	仕掛け絵本	—	1948			
Conte de Perrault le Petit Chaperon Rouge (赤ずきん)	仕掛け絵本	—	1950			
The tale of Peter Rabbit (ピーターラビット)	仕掛け絵本	—	1943			
Cinderella (シンデレラ)	仕掛け絵本	—	1943			
Sleeping Beauty (ねむりひめ)	仕掛け絵本	—	1961			
The pop-up Pinocchio (ピノキオ)	仕掛け絵本	—	1933			
Winnie-the-Pooh and the Bees (クマのブーさん)	仕掛け絵本	—	1954?			
Hansel and Grethel (ヘンゼルとグレーテル)	仕掛け絵本	—	1890			
The Honeybee and the Robber (みつばちとどろぼう)	仕掛け絵本	—	1981			
キノーラ(レプリカ)	視覚装置	橋本典久	2018年	橋本典久	岩井俊雄ディレクション メディアアート・スタディーズ 2023「眼と遊ぶ」	2023年7月1日-8月31日
Fluorescent Chrysanthemum Remembered	図書	Jasia Reinhardt	2018年	神奈川県立近代美術館 鎌倉別館	イメージと記号：1960年代 の美術を読みなおす	2023年11月16日-2024年2月 29日
ルーム・アクセサリー	図書	岡崎和郎	1969年			
杉浦康平デザイナーアーカイブ「デザイン・コスモス」	ウェブサイト	武蔵野美術大学 美術館・図書館	2021年	21_21 DESIGN SIGHT	もじ イメージ Graphic 展	2023年11月23日-2024年3月 10日
「近代建築」1974年1月号-12月号	雑誌	中平卓馬(撮影)	1974年	東京国立近代美術館	中平卓馬 火一氾濫 展	2024年2月6日-4月7日

授業対応実績

Class Supports

本学の教育及び研究に供するため、当館が所蔵する美術資料や図書資料を用いた授業を教員・研究室スタッフと協働して行っている。2020-21年度においては新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、少人数のグループやオンラインで授業を行っていた。2022年度以降は徐々に通常に戻りつつあるが、少人数での対面授業で対応している。

2023年度

■美術館

月日	学科・研究室	授業名等	受講者数	利用作品名、資料名、内容等	利用スペース等
4月10日、5月23日	工芸工業デザイン学科	基礎実習Ⅰ・Ⅲ	16	近代椅子コレクション	椅子ギャラリー
4月13日	デザイン情報学科	デザイン情報学総合研究Ⅱ	14	2022年度優秀作品展	展示室1、2、3、4、5、アトリウム
4月17日	空間演出デザイン学科	空間演出デザインⅠ	22	近代椅子コレクション	椅子ギャラリー
4月17日	芸術文化学科	芸術文化入門	90	2022年度優秀作品展	展示室1、2、3、4、5、アトリウム
4月20日	建築学科	設計計画Ⅱ-1	72	近代椅子コレクション	椅子ギャラリー
4月26日	建築学科	建築計画特論	10	施設見学・芦原コレクション	美術館、12号館地下作品庫
5月11日	美学美術史研究室	デザイン史研究	15	近代椅子コレクション	椅子ギャラリー
5月13日	通信教育課程	生活環境デザイン論	3	近代椅子コレクション	椅子ギャラリー
5月16日	工芸工業デザイン学科	クラフトデザインⅣ	19	近代椅子コレクション	椅子ギャラリー
5月18日・22日・25日・29日	空間演出デザイン学科	デザイン基礎Ⅱ	120	近代椅子コレクション	椅子ギャラリー
5月16日・27日、6月20日、7月1日	視覚伝達デザイン学科	メディア演習	123	ポスターコレクション	図書館 南関覧室
5月23日、6月20日	基礎デザイン学科	タイポグラフィ研究a	36	図書資料、ポスター	図書館 研究・授業特別閲覧室1、2、3
7月4日	身体運動文化研究室	からだのメソッド 55 45	40	近代椅子コレクション	椅子ギャラリー
7月6日・13日	美学美術史研究室	日本美術各論Ⅳ-1	70	絵巻模本	図書館 研究・授業特別閲覧室1、2、3
8月8日	基礎デザイン学科	デザイン演習Ⅱ	1	近代椅子コレクション	椅子ギャラリー
8月8日	通信教育課程	博物館実習	16	近代椅子コレクション	椅子ギャラリー
8月10日	通信教育課程	博物館実習	16	各種メディア全般	図書館 研究・授業特別閲覧室1、2
8月12日	通信教育課程	特別講座	100	三浦明範——vanitas vanitatum	展示室3
9月20日	空間演出デザイン学科	インテリアデザイン史	38	生誕100年 大辻清司 眼差しその先 フォトアーカイブの新たな視座	展示室3、4、5
9月21日	芸術文化学科	芸術文化研究	24	大浦一志——雲仙普賢岳/記憶の地層	展示室1、2、アトリウム
9月25日	芸術文化学科	ミュージオロジーと教育	25	大浦一志——雲仙普賢岳/記憶の地層	展示室1、2、アトリウム
10月9日	工芸工業デザイン学科	5期造形総合科目	16	近代椅子コレクション	椅子ギャラリー
10月10日	工芸工業デザイン学科	クラフトデザインⅥ	13	近代椅子コレクション	椅子ギャラリー
11月8日-11日	教養文化・学芸員課程研究室	博物館実習	10	各種メディア全般	図書館 研究・授業特別閲覧室1、2
11月9日	芸術文化学科	ビジュアルコミュニケーションデザインA	18	西田俊英—不死鳥	展示室2、3、アトリウム2
11月17日	油絵学科 グラフィックアーツ専攻	絵画基礎Ⅲ	32	ポスターコレクション	図書館 研究・授業特別閲覧室1、2
11月28日	基礎デザイン学科	デザイン論ⅠB	85	近代椅子コレクション	展示室3、椅子ギャラリー
12月5日	身体運動文化研究室	からだのメソッド	26	近代椅子コレクション	椅子ギャラリー
12月6日	建築学科	建築計画C	71	近代椅子コレクション	椅子ギャラリー
12月7日	美学美術史研究室	日本美術各論Ⅵ-2	26	複製絵巻	図書館 研究・授業特別閲覧室1、2
12月14日	美学美術史研究室	日本美術各論Ⅵ-2	25	複製絵巻	図書館 研究・授業特別閲覧室1、2
12月19日	美学美術史研究室	日本美術史研究	11	川崎コレクション	展示室3
12月18・20日	通信教育課程	博物館実習	14	各種メディア全般	椅子ギャラリー、図書館 研究・授業特別閲覧室1、2

■ ミュゼオロジー実習

月日	学科・研究室	授業名等	受講者数	利用作品名、資料名、内容等	利用スペース等
7月24日	芸術文化学科	ミュゼオロジー実習	47	美術館・民俗資料室概要説明、外部講師講演など	館内全体、12号館地下、13号館2F収蔵庫
7月25日	芸術文化学科	ミュゼオロジー実習	47	実習作業	美術館・図書館、12号館地下、9号館
7月27日	芸術文化学科	ミュゼオロジー実習	47	プランニングI・II	美術館・図書館、12号館地下
7月28日	芸術文化学科	ミュゼオロジー実習	47	梱包実習	12号館地下
7月29日	芸術文化学科	ミュゼオロジー実習	47	教育普及・広報活動	12号館地下

■ 民俗資料室

月日	学科・研究室	授業名等	受講者数	利用作品名、資料名、内容等	利用スペース等
4月13日	工芸工業デザイン学科	クラフトデザイン8	17	民俗資料解説・自由見学	13号館2F収蔵庫
5月13日	デザイン情報学科他	音響文化研究(造II)、メディア表現演習I 音響文化研究	14	中村とうようコレクション	美術館ホール
6月12日・19日	芸術文化学科	造形民俗学I	70	民俗資料解説・自由見学	13号館2F収蔵庫
6月26日	油絵学科	身体とはなにか-道具と身体の可能性	20	民俗資料解説・自由見学	13号館2F収蔵庫
7月6日	教養文化・学芸員課程	博物館実習IC	8	民俗資料解説・自由見学	13号館2F収蔵庫
7月8日	通信教育課程	工芸I	21	民俗資料解説・自由見学	13号館2F収蔵庫
8月7日-11日・21日-24日	教養文化・学芸員課程	博物館実習IA、F	19	実測図作成、拓本、展示資料選定	13号館事務室収蔵庫、2F収蔵庫
8月9日	通信教育課程	博物館実習	37	民俗資料解説・自由見学	13号館2F収蔵庫
9月8日	CI学科	産学プロジェクト実践演習	12	民俗資料解説・自由見学	13号館2F収蔵庫
9月20日	工芸工業デザイン	Bamboo Designing	33	民俗資料解説・自由見学	13号館2F収蔵庫
10月7日	通信教育課程	工芸I	13	民俗資料解説・自由見学	13号館2F収蔵庫
10月12日	芸術文化学科	展示表現	25	民俗資料解説・自由見学	13号館2F収蔵庫
10月17日	基礎デザイン	デザイン論IB	85	自由見学	13号館2F収蔵庫
11月9日	芸術文化学科	ヴィジュアルコミュニケーションデザインA	18	自由見学	13号館2F収蔵庫
11月20日	芸術文化学科	造形民俗学II	43	民俗資料解説・自由見学	13号館2F収蔵庫
12月7日	工芸工業デザイン	プロダクトデザイン特論I	14	民俗資料解説・自由見学	13号館2F収蔵庫
12月18日	通信教育課程	博物館実習	12	民俗資料解説・自由見学	13号館2F収蔵庫

■ 図書館

月日	学科・研究室	授業名等	受講者数	利用作品名、資料名、内容等	利用スペース等
4月12日	建築学科	建築計画特論	9	①図書館の概要 ②オンラインデータベースの使い方 ③資料相談について ④貴重書閲覧(ケルムスコット・プレス)	研究・授業特別閲覧室
4月19日	映像	映像基礎実習(映像前史)	80	視覚装置一式	研究・授業特別閲覧室
4月20日	美学美術史研究室	造形学演習II	2	文献の探し方、入手方法についてガイダンス	グループ学習室
4月25日	基礎デザイン学科	タイポグラフィ研究a(学部2年)	31	写真とタイポグラフィによる表現を、『TM』『Spirale』などの雑誌群、ヨーゼフ・ミュラー・ブロックマン、カール・ゲルストナー、エミール・ルダールの作品から学ぶ	研究・授業特別閲覧室1、2
4月28日	芸術文化学科	芸術文化入門	87	視覚装置一式	研究・授業特別閲覧室
5月12日	油絵学科グラフィックアート専攻	絵画基礎I、版画実習I、版画実習VII、版画研究I、版画研究III(学部1・3・4年、大学院1・2年)	43	17世紀から19世紀にかけて刊行された書籍の図版を、銅版、石版の技術と表現の視点から閲覧する	研究・授業特別閲覧室1、2
5月25日	クリエイティブイノベーション	構成演習I	80	図書館案内	図書館
5月17日・19日・24日・26日・31日	視覚伝達デザイン学科	構成演習(学部2年、大学院1・2年)	122	西洋と東洋における印刷を通じた記述・情報伝達の歴史を、文字と図像の観点から概観する(8世紀から現代まで)	研究・授業特別閲覧室1、2、3
6月1日	油絵学科	絵画基礎V	30	アーティストブック・画家スケッチブックのファクシミリ紹介、閲覧(作家18名、資料25点)	研究・授業特別閲覧室3
6月6日・22日	視覚伝達デザイン学科	イラストレーション・フォー・メディア	24	博物図譜・装飾・図案集、略画、絵手本、仕掛け絵本など、動植物・人物・図案の印刷表現を参照できる資料群の閲覧、データベースなどによる資料調査の方法の説明	研究・授業特別閲覧室1、2、3

6月8日	デザイン情報学科	デザイン情報学IIIa	17	杉浦康平デザインアーカイブ資料、印刷技術史関連資料(活版印刷技術以前～20世紀のダイジェスト)	研究・授業特別閲覧室1、2
6月17日	視覚伝達デザイン学科	タイプフェイスデザイン	11	光悦読本(特製本、上製本、並製本)、嵯峨本『伊勢物語』、下村本『平家物語』などの古活字版	研究・授業特別閲覧室1、2
7月11日	美学美術史研究室	日本美術史研究	8	『東洋美術大観』	研究・授業特別閲覧室3
9月23日	視覚伝達デザイン学科	写真演習	20	写真史(日本・海外)の概要がわかる写真集(鳥原学氏選出の写真集及び、木村伊兵衛賞受賞者の写真集)を見せながらその流れを説明	研究・授業特別閲覧室1、2
10月6日	視覚伝達デザイン学科	視覚表現演習E	20	ジョセフ・アルパース『Interaction of Color』	研究・授業特別閲覧室1
10月7日	通信教育課程	工芸I	11	1～4年生を対象に、図書館の利用方法、資料の検索の仕方についてガイダンスを行った	研究・授業特別閲覧室3
10月17日	視覚伝達デザイン学科	視覚伝達デザイン表現演習(ダイアグラムデザイン)	6	オットー・ノイラート『Gesellschaft und Wirtschaft, bildstatistisches Elementarwerk』『Basic by Isotype』など、アイソタイプ関連資料	研究・授業特別閲覧室1
10月18日	基礎デザイン学科	デザイン演習II(グラフィック)	32	ジョセフ・アルパース『Interaction of color』、カール・グリュスター『color sound』など色彩関連、グラフィックデザイン関連資料	研究・授業特別閲覧室1
10月21日	視覚伝達デザイン学科	視覚伝達デザイン表現演習(ダイアグラムデザイン)	6	マルティニー『日本図』、ジョン・スピド『中国王国図』など16～18世紀の地図資料	研究・授業特別閲覧室1
11月20日	デザイン情報学科	デザイン文化論	44	杉浦康平アーカイブ資料(ブックデザイン作品/雑誌デザイン作品)及び印刷技術史資料に「触れて見る」閲覧会	研究・授業特別閲覧室1
11月22日	言語研究室	上級日本語 1-6	45	館内ツアーを実施	図書館
11月24日	芸術文化学科	生涯学習とミュージオロジー	86	ムサビ図書館の成立ち、特色、著作権などについて解説	9号館515教室
11月27日	デザイン情報学科	デザイン文化論	43	杉浦康平デザイン資料(ブックデザイン作品/雑誌デザイン作品)及び印刷技術史資料に「触れて見る」閲覧会	研究・授業特別閲覧室1
12月4日	デザイン情報学科	デザイン文化論	87	大辻清司フォトアーカイブ及び杉浦康平デザインアーカイブの作品資料を通して我が国の戦後美術史を紐解く。美術館・図書館におけるアーカイブ事業を紹介し、アートアーカイブ及びアーキビストのあり方について講義	9号館206講義室
12月7日・14日	美学美術史研究室	日本美術各論VI-2	51	赤本、黒本、黄表紙、合巻、錦絵および平安から室町期の絵巻模本の閲覧	研究・授業特別閲覧室1、2、3

■イメージライブラリー

月日	学科・研究室	授業名等	受講者数	利用作品名、資料名、内容等	利用スペース等
1月19日	油絵学科	絵画実習II	12	『アンダルシアの犬/ブニュエルの秘かな愉しみ』(DVD) 『ユーリ・ノルシュテイン作品集(2K修復版)』(BD) 『それぞれのシネマ カンヌ国際映画祭60回記念製作映画(オムニバス)』(DVD) 『蔡明亮2003-5 特典ディスク』(DVD)	研究用映像視聴室
5月25日	空間演出デザイン学科	ファッションデザインE	5	『燃えよドラゴン(ディレクターズカット版)』(DVD)	研究用映像視聴室
5月29日	油絵学科	小林ゼミ	9	持ち込み資料を使用	研究用映像視聴室
6月5日	油絵学科	絵画実習VIII	6	『100,000年後の安全』(DVD)	研究用映像視聴室
6月12日	油絵学科	絵画実習III	8	『蔡明亮2003-5 特典ディスク』(DVD) 『それぞれのシネマ カンヌ国際映画祭60回記念製作映画(オムニバス)』(DVD)	研究用映像視聴室
6月19日	油絵学科	赤塚ゼミ	11	『風立ちぬ』(DVD) 『NHK プロフェッショナル 仕事の流儀 特別編/宮崎駿の仕事 「風立ちぬ」1000日の記録/引退宣言 知られざる物語』(DVD)	研究用映像視聴室
6月22日	油絵学科	平面色彩構成	12	『Jonas Mekas : The Sixties Quartet(輸入盤)』(DVD) 『フルクサス・リプレイド』(DVD) 『Kunst in Bewegung(輸入盤)』(DVD) 『Flux film Anthology(輸入盤)』(DVD) 『Kunst in Bewegung(輸入盤)』(DVD)	研究用映像視聴室
7月17日	芸術文化学科	杉浦ゼミ	4	『青森縣のせむし男』(VHS)	研究用映像視聴室
7月22日	油絵学科	赤塚ゼミ	6	『ストーカー』(BD)	研究用映像視聴室
9月11日	空間演出デザイン学科	津村ゼミ	7	『フルメタル・ジャケット』(DVD)	研究用映像視聴室
9月14日	芸術文化学科	芸術文化演習I	16	『ゲルハルト・リヒター ペインティング』(DVD)	研究用映像視聴室
9月14日	美学美術史	デザイン史研究	16	持ち込み資料を使用	研究用映像視聴室
9月28日	芸術文化学科	芸術文化演習I	11	『アルベルト・ジャコメッティ 本質を見つめる芸術家』(DVD)	研究用映像視聴室

10月2日	油絵学科	小林ゼミ (卒業制作)	15	持ち込み資料を使用	研究用映像視聴室
10月9日	油絵学科	小林ゼミ (卒業制作)	12	持ち込み資料を使用	研究用映像視聴室
11月13日	油絵学科	絵画実習VI	11	『ウイークエンド』(DVD)	研究用映像視聴室
11月13日	空間演出デザイン学科	実材実習Ⅱ	8	『マッドマックス 怒りのデス・ロード』(BD)	研究用映像視聴室
11月27日	空間演出デザイン学科	インテリアデザイン	4	『灼熱の魂』(DVD)	研究用映像視聴室
12月4日	空間演出デザイン学科	空デ・キネマ研究会	2	『レ・ミゼラブル』(DVD)	研究用映像視聴室

収蔵資料閲覧実績 Collection Viewers

●2023年度 民俗資料室収蔵資料閲覧者数

※(カッコ)内は前年比

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	計
学内(学生および教員の個人利用)	件数	12 (±0)	8 (-1)	10 (-1)	23 (+1)	0 (-2)	19 (+6)	9 (-4)	67 (+65)	90 (+88)	0 (±0)	0 (±0)	238 (+152)
	人数	17 (+2)	12 (+1)	19 (+6)	39 (+8)	0 (-2)	23 (+8)	17 (-5)	83 (+80)	112 (+110)	0 (±0)	0 (±0)	322 (+208)
授業利用	件数	1 (±0)	0 (±0)	2 (-1)	3 (+2)	2 (+1)	2 (+1)	3 (+1)	2 (±0)	2 (-3)	0 (±0)	0 (±0)	17 (+1)
	人数	17 (-7)	0 (±0)	90 (+4)	74 (+31)	49 (+15)	45 (+37)	123 (+69)	60 (+40)	26 (-78)	0 (±0)	0 (±0)	484 (+111)
留学生・海外協定校	件数	0 (±0)	0 (±0)	0 (±0)	1 (+1)	0 (±0)	0 (±0)	0 (±0)	1 (+1)	0 (±0)	0 (±0)	0 (±0)	2 (+2)
	人数	0 (±0)	0 (±0)	0 (±0)	28 (+28)	0 (±0)	0 (±0)	0 (±0)	4 (+4)	0 (±0)	0 (±0)	0 (±0)	32 (+32)
他大学・博物館などの研究施設	件数	0 (±0)	0 (±0)	1 (+1)	1 (+1)	0 (±0)	0 (±0)	1 (±0)	1 (-1)	1 (-1)	0 (±0)	0 (±0)	5 (±0)
	人数	0 (±0)	0 (±0)	2 (+2)	1 (+1)	0 (±0)	0 (±0)	1 (±0)	1 (-5)	1 (-1)	0 (±0)	0 (±0)	6 (-3)
外部一般	件数	12 (+5)	9 (-4)	19 (+3)	30 (-23)	0 (±0)	13 (-9)	14 (+7)	45 (+42)	8 (+3)	0 (±0)	0 (-2)	150 (+22)
	人数	14 (+4)	16 (+1)	36 (+8)	55 (-65)	0 (±0)	35 (+6)	27 (+18)	56 (+50)	11 (-6)	0 (±0)	0 (-3)	250 (+13)
月別計	件数	25 (+5)	17 (-5)	32 (+2)	58 (-18)	2 (-1)	34 (-2)	27 (+4)	116 (+107)	101 (+87)	0 (±0)	0 (-2)	412 (+177)
	人数	48 (-1)	28 (+2)	147 (+20)	197 (+3)	49 (+13)	103 (+51)	168 (+82)	204 (+169)	150 (+25)	0 (±0)	0 (-3)	1094 (+361)

※集計期間：2023年4月1日-2024年2月26日

団体見学等

Facility Tours

美術館は地域に開放された文化施設として、中学・高校や福祉施設等からの団体見学を受け入れており、団体の希望に応じて展覧会開設等を行っている。図書館は研究・調査目的での見学を個人、団体ともに受け付けている。

2023年度

■美術館…22件

日時	団体名	対象/人数	目的	内容	所轄	備考
4月29日	八王子市立第四中学校 美術部	20名程度	展覧会鑑賞	「2022年度優秀作品展」		校外学習
6月6日	個人	30名程度	展覧会鑑賞	「若林奮 森のはずれ」		
6月14日 10:00-15:00	大泉桜高校	40名程度	展覧会鑑賞	「若林奮 森のはずれ」「絵画のアベセデール」	広報チーム所管	大学見学
6月16日 10:30-12:00	所沢西高校	30名程度	展覧会鑑賞	「若林奮 森のはずれ」「絵画のアベセデール」	広報チーム所管	大学見学
7月6日 14:00-16:00	西邑楽高校	20名程度	展覧会鑑賞	「若林奮 森のはずれ」	広報チーム所管	大学見学
7月6日 12:50-14:20	小山城南高校	40名程度	展覧会鑑賞	「若林奮 森のはずれ」	広報チーム所管	大学見学
7月31日	松本第一高校	50名程度 (2チーム)	展覧会鑑賞	「若林奮 森のはずれ」 「三浦明範——vanitas vanitatum」	広報チーム所管	大学見学
8月4日 10:30-11:30	富山県立南砺福野高等学校	5名程度	展覧会鑑賞	「若林奮 森のはずれ」 「三浦明範——vanitas vanitatum」	広報チーム所管	大学見学
8月10日	エデ助手引率ワークショップ参加者	25名程度	展覧会鑑賞	「若林奮 森のはずれ」 「三浦明範——vanitas vanitatum」	教学企画チーム所管	
9月22日 14:30-15:00	広州美術学院(協定校)	6名程度	展覧会鑑賞	「大浦一志——雲仙普賢岳／記憶の地層」「生誕100年 大辻清司 眼差しのその先 フォトアーカイブの新たな視座」	広報チーム所管	大学見学
11月1日 13:00-14:30	清瀬高校	30名程度	展覧会鑑賞	「西田俊英——不死鳥」	広報チーム所管	大学見学
11月6日 10:00-13:00	九産大付属九州高校	40名程度	展覧会鑑賞	「西田俊英——不死鳥」	広報チーム所管	大学見学
11月7日 10:30-11:00	ベルリン芸術大学(協定校)	2名程度	展覧会鑑賞	「西田俊英——不死鳥」	広報チーム所管	協定留学学校による視察
11月9日	足立高校	20名程度	展覧会鑑賞	「西田俊英——不死鳥」	広報チーム所管	大学見学
11月9日 14:00-15:30	松戸高校	40名程度	展覧会鑑賞	「西田俊英——不死鳥」	広報チーム所管	大学見学
11月9日	図画工作・美術【II】受講者(東京都教員)	37名	展覧会鑑賞	東京都教職員研修センター主催の研修会として「西田俊英——不死鳥」の鑑賞	教学企画チーム所管	
11月14日	立川市幸町学習館	38名	展覧会鑑賞	「西田俊英——不死鳥」		
11月16日	向丘高校	20名程度	展覧会鑑賞	「西田俊英——不死鳥」	広報チーム所管	大学見学
11月17日 14:00-16:00	大宮光陵高校	43名	展覧会鑑賞	「西田俊英——不死鳥」	広報チーム所管	大学見学
12月6日 10:00-13:00	熊本県立熊本工業高等学校	40名程度	展覧会鑑賞	「助教・助手展2023 武蔵野美術大学 助教・助手研究発表」	広報チーム所管	大学見学
12月19日	シラパコン大学	15名程度	展覧会鑑賞	「助教・助手展2023 武蔵野美術大学 助教・助手研究発表」	国際・広報チーム所管	協定留学学校による視察
12月19日 10:00-12:00	日野高校	40名程度	展覧会鑑賞	「助教・助手展2023 武蔵野美術大学 助教・助手研究発表」	広報チーム所管	大学見学

武蔵野美術大学美術館企画 石巻市博物館巡回展

民俗資料室で収蔵する民具をもとに編集された書籍「民具のデザイン図鑑 暮らしの道具から読み解く造形の発想」が2022年10月誠文堂新光社から発刊され、同年10月24日書籍をもとにした展覧会が美術館及び民俗ギャラリーで開催された。これまでにない民具の新しい視点で構成された企画が好評を得たことから、展示企画をパッケージ化し他館で展示する「巡回展」を計画。2023年5月に石巻市博物館による当館企画の展覧会が実現した。企画をパッケージ化した巡回展は、当館においても初めての試みとなった。

展覧会名：第5回企画展開催 石巻市博物館×武蔵野美術大学

「民具のデザイン図鑑—暮らしの道具から読み解く造形の発想」

会期：2023年5月27日(土)-8月20日(日) ※休館日：月曜日

会場：石巻市博物館 企画展示室

時間：9:00-17:00

主催：石巻市博物館

特別協力：武蔵野美術大学 美術館・図書館

協力：武蔵野美術大学共同研究「美術大学における民俗資料の活用をめぐる基礎的研究」

後援：tbc 東北放送、ミヤギテレビ、khh東日本放送、三陸河北新報社、石巻日日新聞社、

ラジオ石巻 FM76.4、一般社団法人石巻観光協会、一般社団法人石巻圏光推進機構

監修：加藤幸治(美術館・図書館副館長、教養文化・学芸員課程研究室教授)



3 收集

3 Collection

資料受入実績（購入・寄贈）

Materials Accepted (Purchased and Donated)

収蔵品目録 凡例

1. 収蔵品は以下のように分類した

■美術	絵画	日本画 洋画 版画 素描
	彫刻	
	写真	
	その他の美術作品	
■デザイン	グラフィックデザイン	ポスター その他のグラフィックデザイン
	プロダクトデザイン	椅子 家具（椅子以外） 玩具 照明・生活用品・事務用品 その他のプロダクトデザイン
	建築	
	工芸	陶磁器 美術工芸
	その他工芸	その他工芸

■民俗・民族資料

2. 各資料の詳細は上記の分類に分け、以下のように表記した。不明部分については表記を避けた。

ただし、資料整理が未完の場合は、詳述を割愛し暫定的な記録に留めた。

寄贈品に関しては寄贈者（敬称略）を明記した。

登録番号* 登録番号については最初の6桁のみを記した。

■絵画、彫刻、写真、版画、その他の美術作品

・詳細は下記の順で表記した。

作品名
制作者
制作年
サイズ(縦×横cmまたは高×幅×奥行cm)
素材・技法等
登録番号*

■グラフィックデザイン>ポスター

・詳細は下記の順で表記した。発行者が特定出来たものは制作年の前に表記した。

作品名
デザイナー
発行者 制作年
サイズ(縦×横cm)
登録番号*

■プロダクトデザイン>椅子

・詳細は下記の順で表記した。メーカーが特定出来たものは制作年の前に表記した。

製品名あるいは慣用呼称
デザイナー
メーカー 制作年
サイズ(縦×横×奥行cm)
素材・技法等
登録番号*

■プロダクトデザイン>家具(椅子以外)、玩具、照明、生活用品、事務用品

・詳細は下記の順で表記した。メーカーが特定出来たものは制作年の前に表記した。

製品名
デザイナー
メーカー 制作年
サイズ(縦×横×奥行cm) あるいは(h.[高]×φ.[径]cm)
素材、技法等
登録番号*

■工芸>美術工芸

・詳細は下記の順番で表記した。

作品名
制作者
制作年
サイズ(縦×横cm)
素材、技法等
登録番号*

●新収蔵品：2023年度分

New Acquisitions: 2023

■美術

絵画>日本画

樹の変容・あるいは獣

西田俊英

2023年

h130.3 x w97.0cm

和紙、岩絵具

寄贈 西田俊英

2023-03

fig.1



fig.1

絵画>洋画

VANITAS

三浦明範

2011年

h162.0 x w227.3cm

シルバーポイント・黒鉛・墨・アルキド樹脂、

パネルに綿布、カオリン他

寄贈 三浦明範

2023-01

fig.2

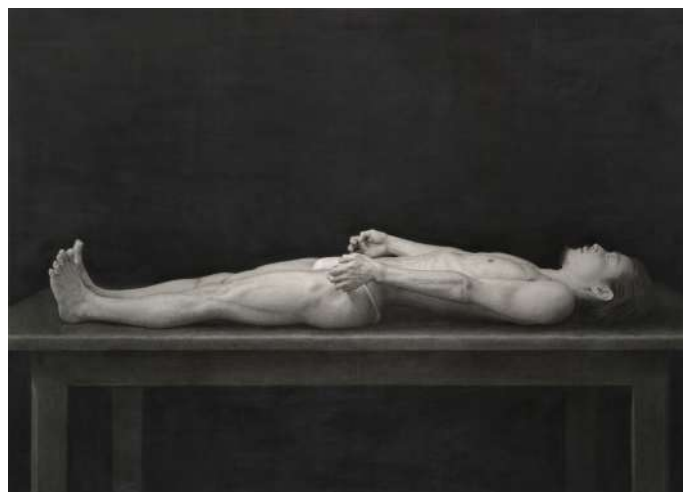


fig.2

杉並区阿佐谷南3丁目23-13⇔普賢岳

「地—開」1995.11.26-2

大浦一志

1997年

h159.5 x w230.0cm (額寸)

印画紙、土、石、灰、炭、すすき、FRP

寄贈 大浦一志

2023-02

fig.3



fig.3

4 組織/運営

4 Organization / Management

歴代館長、副館長について

Successive Director-Generals and Deputy Directors

1967年の当館開館以降の館長、副館長については以下のとおりである。
なお、所属については、在任当時の学科・研究室名をそのまま表記した。

館長

1966年4月-1971年*	田澤坦（美術史・美術理論）
1972年4月-1981年3月	芳武茂介（短期大学部生活デザイン科）
1981年4月-1984年3月	町田甲一（美学美術史）
1984年4月-1986年3月	真野善一（工芸工業デザイン学科）
1986年4月-1987年1月	水尾博（美学美術史）
1987年1月-1988年3月	向井良吉（空間演出デザイン学科）
1988年4月-1994年3月	桑原住雄（美学美術史）
1994年4月-2000年3月	田村善次郎（芸術文化学科）
2000年4月-2011年3月	神野善治（教職・学芸員課程）
2011年4月-2015年3月	田中正之（造形文化 美学・美術史）
2015年4月-2023年3月	赤塚祐二（油絵学科）
2023年4月-現在	新見隆（教養文化・学芸員課程）

※任期終了年月が不明確であるが、記録にある通り記載した。

副館長

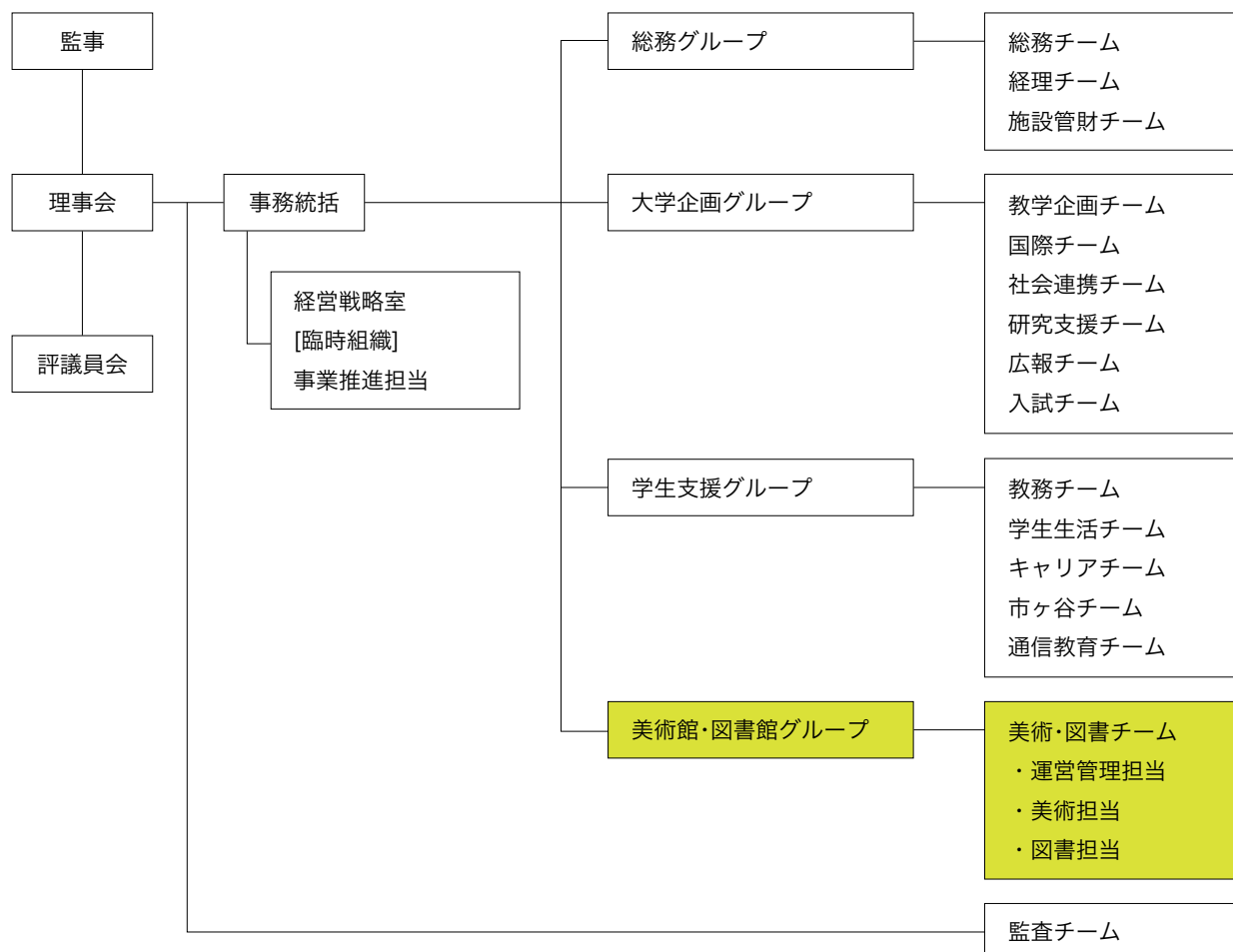
1978年4月-1984年3月	今城甚造（美学美術史）
1992年4月-1994年3月	田村善次郎（一般教育）
1994年4月-2000年3月	今井良朗（芸術文化学科）
2023年4月-現在	加藤幸治（教養文化・学芸員課程）

※副館長は置いていない年もある。

本学学務事務組織図と美術館・図書館グループの業務分掌

Administrative Organization Chart and the Museum and Library Section's Work Contents

武蔵野美術大学 事務組織図



美術館・図書館グループ 業務分掌

(所属チーム：美術・図書チーム [運営管理担当・美術担当・図書担当])

任務（役割）	業務分掌
より有効な研究教育活動が行われるための 情報・資料の提供	(1) 教育研究に有効な美術資料の収集・保存・公開・活用 (2) 教育研究に効果的な民俗資料の整備・保存・公開・活用 (3) 教育研究に不可欠な図書資料の収集・保存・提供・活用 (4) 教育研究に効果的な映像資料の収集・保存・提供・活用 (5) 造形研究センターに係る業務

委員会記録

Committee Records

2023年度

- 第1回美術館・図書館運営委員会

開催日：2023年9月27日(月)

- 第2回美術館・図書館運営委員会

開催日：2024年3月12日(火)

- 第1回収集・評価委員会

開催日：2023年7月11日(火)

- 第2回収集・評価委員会

開催日：2024年2月20日(火)

資料
Data

統計

Statistical Data

● 図書館

The Library

2022年度図書館統計

(図書資料受入実績、所蔵総数)

※受入期間：2022年4月1日(金)-2023年3月31日(金)

購入資料

資料種別		購入点数
和図書	鷹の台	1,388 点
	市ヶ谷	4 点
洋図書	鷹の台	1,526 点
	市ヶ谷	0 点
和雑誌		1,390 点
洋雑誌		465 点
計		4,773 点

寄贈資料

資料種別	購入点数
和図書	904 点
洋図書	66 点
計	970 点

所蔵総数 ※2023年3月末現在

資料種別	所蔵総数
図 書	331,432 点
雑 誌	4,722 タイトル

2023年度図書館統計

(図書資料受入実績、所蔵総数)

※受入期間：2023年4月1日(土)-2024年3月31日(日)

購入資料

資料種別		購入点数
和図書	鷹の台	1,384 点
	市ヶ谷	8 点
洋図書	鷹の台	1,343 点
	市ヶ谷	0 点
和雑誌		1,378 点
洋雑誌		442 点
計		4,555 点

寄贈資料

資料種別	購入点数
和図書	1,061 点
洋図書	30 点
計	1,091 点

所蔵総数 ※2024年3月末現在

資料種別	所蔵総数
図 書	335,376 点
雑 誌	4,591 タイトル

2022-2023年度 統計 (開館日数、入館者数及び貸出冊数)

※集計期間：2022年4月1日(金)-2024年3月31日(日)

開館日数

(日)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2022年度	23	23	26	26	18	23	23	24	18	6	0	26	236
2023年度	23	24	26	26	17	24	22	22	20	6	0	25	235

入館者数

(人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2022年度	9,445	10,422	11,068	10,689	3,420	9,776	7,680	8,915	7,253	1,490	0	2,311	82,469
2023年度	12,626	11,588	12,535	12,502	2,848	11,951	9,238	10,768	9,719	1,697	0	2,418	97,890

※市ヶ谷図書館では統計を取っていないため、鷹の台図書館の人数

貸出冊数

鷹の台キャンパス

(冊)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2022年度	5,014	5,889	5,943	7,189	2,101	5,075	3,844	4,791	4,152	1,866	0	1,332	47,196
2023年度	4,649	5,614	5,161	6,908	1,861	4,591	3,659	4,172	4,717	1,499	0	1,295	44,126

市ヶ谷キャンパス

(冊)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2022年度	56	55	60	29	23	80	94	61	35	44	23	43	603
2023年度	113	200	279	533	260	221	185	188	261	226	128	122	2,716

2022-2023年度 統計 (相互協力<TAC利用実績>)

TAC加盟大学：国際基督教大学、国立音楽大学、東京経済大学、東京外国語大学、津田塾大学

■ 入館者数 (加盟大学から当館への来館)

2022年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため引き続き訪問利用を停止していた。

2023年6月1日(木)より、TACのすべての大学図書館において訪問利用の受け入れが再開した。

(人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2023年度	—	—	37	53	14	11	4	7	1	1	—	6	134

■ 利用登録者数

(1) TAC加盟大学利用者の当館での登録者

(人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2023年度	—	—	8	4	0	3	3	1	2	0	—	1	22

(2) TAC加盟大学で利用登録を行った本学の所属者数

(人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2023年度	1	3	8	2	1	5	7	1	3	3	2	1	37

■ TLLサービスによる貸出・借受

※TLL(TAC Library Loan)：貸出希望図書取り寄せサービス。月、水、金の週3回、加盟大学間をTAC便が運行している。

貸出 当館から加盟大学図書館への貸出

(冊)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2022年度	12	6	14	6	1	3	13	14	6	2	—	3	80
2023年度	2	6	6	12	1	2	7	9	4	4	—	2	55

借受 加盟大学図書館から当館への借受

(冊)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2022年度	30	30	26	30	21	31	18	23	23	2	—	9	243
2023年度	13	40	53	22	5	19	18	42	17	0	—	1	230

● イメージライブラリー

The Image Library

2022年度 統計 (映像資料受入実績、所蔵数等)

※2022年4月1日(金)から2023年3月末までの実績

購入資料

資料種別	購入点数
DVD	188 点
BD	71 点
計	259 点

参考：2023年1月末の所蔵総数

資料種別	所蔵総数
DVD	7,230 点
BD	1,064 点
LD	2,053 点
VHS	1,861 点
FILM	629 点
CD	651 点
CD-ROM	3 点
合計	13,491 点

注記：VHS 資料の内、DVD・BD で再販されている作品は買い替えを進めている。買い替え後は、VHS を閉架へ下げデータを非公開とし、DVD/BD を優先的に提供しているため、便宜上所蔵数から除いている。(869 点)

参考：2023年1月末のジャンル別点数

ジャンル	ジャンル別点数
日本映画	1,394 点
外国映画	4,721 点
アニメーション	1,739 点
ドキュメンタリー	2,021 点
ドキュメンタリー (美術・デザイン)	571 点
映像作品	515 点
テレビ放送	403 点
音楽	171 点
舞台・演劇	332 点
学生作品	248 点
美術館・図書館	213 点
学内イベント	12 点
フィルム専用ジャンル	496 点
資料映像・資料音源	261 点
中村とうよう関連 CD	394 点
合計	13,491 点

2023年度 統計 (映像資料受入実績、所蔵数等)

※2023年4月1日(土)から2024年3月末までの実績

購入資料

資料種別	購入点数
DVD	85 点
BD	99 点
計	184 点

参考：2024年1月末の所蔵総数

資料種別	所蔵総数
DVD	7,310 点
BD	1,158 点
LD	2,053 点
VHS	1,862 点
FILM	629 点
CD	651 点
CD-ROM	3 点
合計	13,666 点

注記：VHS 資料の内、DVD・BD で再販されている作品は
買い替えを進めている。買い替え後は、VHS を閉架へ下げ
データを非公開とし、DVD/BD を優先的に提供しているため、
便宜上所蔵数から除いている。(869 点)

参考：2024年1月末のジャンル別点数

ジャンル	ジャンル別点数
日本映画	1,417 点
外国映画	4,799 点
アニメーション	1,771 点
ドキュメンタリー	2,041 点
ドキュメンタリー (美術・デザイン)	575 点
映像作品	520 点
テレビ放送	407 点
音楽	171 点
舞台・演劇	334 点
学生作品	255 点
美術館・図書館	213 点
学内イベント	12 点
フィルム専用ジャンル	496 点
資料映像・資料音源	261 点
中村とうよう関連 CD	394 点
合計	13,666 点

2022年度 統計 (開館日数、入館者数等)

※(カッコ)内は前年比

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	一日平均
開館日数(日)	19	23	26	26	18	23	23	24	18	6	0	16	222	—
	(-4)	(-3)	(±0)	(+5)	(+2)	(+23)	(-1)	(+4)	(-4)	(-2)	(-1)	(-10)	(+9)	—
来館者数(人)	1,787	2,235	2,266	1,905	659	1,988	1,496	1,644	1,094	276	0	490	15,840	71
	(+129)	(+311)	(+518)	(+681)	(+185)	(+1984)	(+152)	(+498)	(-132)	(-116)	(-33)	(-203)	(+3974)	—
視聴件数(件)														
個人視聴ブース	412	575	583	397	133	517	370	438	270	43	0	98	3,836	17
	(+154)	(+248)	(+271)	(+180)	(+31)	(+517)	(+166)	(+230)	(+58)	(-6)	(-6)	(+19)	(+1862)	—
グループ視聴室A	18	26	23	19	7	23	20	18	11	5	0	6	176	1
	(+18)	(+26)	(+23)	(+19)	(+7)	(+23)	(+20)	(+18)	(+11)	(+5)	(±0)	(+6)	(+176)	—
グループ視聴室B	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	(±0)	(±0)	(±0)	(±0)	(±0)	(±0)	(±0)	(±0)	(±0)	(±0)	(±0)	(±0)	(±0)	—
研究用映像視聴室	36	58	51	41	23	57	59	55	42	11	0	26	459	2
	(±0)	(+17)	(+9)	(+10)	(+17)	(+55)	(+32)	(+29)	(+15)	(+1)	(±0)	(+2)	(+187)	—
合計	466	659	657	457	163	597	449	511	323	59	0	130	4,471	20
	(+172)	(+291)	(+303)	(+209)	(+55)	(+595)	(+218)	(+277)	(+84)	(±0)	(-6)	(+27)	(+2225)	—
視聴人数(人)														
個人視聴ブース	412	575	583	397	133	517	370	438	270	43	0	98	3,836	17
	(+154)	(+248)	(+271)	(+180)	(+31)	(+517)	(+166)	(+230)	(+58)	(-6)	(-6)	(+19)	(+1862)	—
グループ視聴室A	18	26	23	19	7	23	20	18	11	5	0	6	176	1
	(+18)	(+26)	(+23)	(+19)	(+7)	(+23)	(+20)	(+18)	(+11)	(+5)	(±0)	(+6)	(+176)	—
グループ視聴室B	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	(+26)	(±0)	(±0)	(±0)	(±0)	(±0)	(±0)	(±0)	(±0)	(±0)	(±0)	(±0)	(±0)	—
研究用映像視聴室	67	138	131	99	41	115	115	119	82	19	0	38	964	4
	(-6)	(+62)	(+51)	(+42)	(+35)	(+113)	(+52)	(+55)	(+21)	(-5)	(±0)	(+4)	(+424)	—
合計	497	739	737	515	181	655	505	575	363	67	0	142	4,976	22
	(+166)	(+336)	(+345)	(+241)	(+73)	(+653)	(+238)	(+303)	(+90)	(-6)	(-6)	(+29)	(+2462)	—
貸出点数(点)	386	459	465	328	126	349	262	343	200	22	0	69	3,009	14
	(-57)	(-116)	(-43)	(+4)	(+10)	(+223)	(-103)	(+21)	(-75)	(-36)	(-14)	(-38)	(-224)	—
視聴点数(点)	475	671	665	462	164	601	459	524	322	70	0	134	4,547	20
	(+179)	(+293)	(+309)	(+213)	(+55)	(+599)	(+224)	(+288)	(+69)	(+11)	(-6)	(+31)	(+2265)	—

2023年度 統計 (開館日数、入館者数等)

※(カッコ)内は前年比

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	一日平均
開館日数(日)	23	24	26	26	17	24	22	22	20	6	0	14	224	—
	(+4)	(+1)	(±0)	(±0)	(-1)	(+1)	(-1)	(-2)	(+2)	(±0)	(±0)	(-2)	(+2)	—
来館者数(人)	2,584	2,444	2,607	2,253	577	2,410	1,895	1,949	1,551	353	0	516	19,139	85
	(+797)	(+209)	(+341)	(+348)	(-82)	(+422)	(+399)	(+305)	(+457)	(+77)	(±0)	(+26)	(+3299)	—
視聴件数(件)														
個人視聴ブース	743	720	731	546	116	779	549	579	374	68	0	144	5,349	24
	(+331)	(+145)	(+148)	(+149)	(-17)	(+262)	(+179)	(+141)	(+104)	(+25)	(±0)	(+46)	(+1513)	—
グループ視聴室A	53	59	64	52	24	55	48	53	43	5	0	10	466	2
	(+35)	(+33)	(+41)	(+33)	(+17)	(+32)	(+28)	(+35)	(+32)	(±0)	(±0)	(+4)	(+290)	—
グループ視聴室B	0	0	45	37	16	46	47	35	26	7	0	4	263	1
	(±0)	(±0)	(+45)	(+37)	(+16)	(+46)	(+47)	(+35)	(+26)	(+7)	(±0)	(+4)	(+263)	—
研究用映像視聴室	59	71	69	51	20	56	43	49	46	10	0	15	489	2
	(+23)	(+13)	(+18)	(+10)	(-3)	(-1)	(-16)	(-6)	(+4)	(-1)	(±0)	(-11)	(+30)	—
合計	855	850	909	686	176	936	687	716	489	90	0	173	6,567	29
	(+389)	(+191)	(+252)	(+229)	(+13)	(+339)	(+238)	(+205)	(+166)	(+31)	(±0)	(+43)	(+2096)	—
視聴人数(人)														
個人視聴ブース	743	720	731	546	116	779	549	579	374	68	0	144	5,349	24
	(+331)	(+145)	(+148)	(+149)	(-17)	(+262)	(+179)	(+141)	(+104)	(+25)	(±0)	(+46)	(+1513)	—
グループ視聴室A	83	89	116	91	29	94	88	97	76	7	0	21	791	4
	(+65)	(+63)	(+93)	(+72)	(+22)	(+71)	(+68)	(+79)	(+65)	(+2)	(±0)	(+15)	(+615)	—
グループ視聴室B	0	0	87	67	22	80	90	60	46	8	0	5	465	2
	(+89)	(±0)	(+87)	(+67)	(+22)	(+80)	(+90)	(+60)	(+46)	(+8)	(±0)	(+5)	(+465)	—
研究用映像視聴室	110	184	187	105	27	164	128	130	107	14	0	34	1,190	5
	(+43)	(+46)	(+56)	(+6)	(-14)	(+49)	(+13)	(+11)	(+25)	(-5)	(±0)	(-4)	(+226)	—
合計	936	993	1,121	809	194	1,117	855	866	603	97	0	204	7,795	35
	(+439)	(+254)	(+384)	(+294)	(+13)	(+462)	(+350)	(+291)	(+240)	(+30)	(±0)	(+62)	(+2819)	—
貸出点数(点)	431	419	424	296	89	374	355	321	294	43	0	93	3,139	14
	(+45)	(-40)	(-41)	(-32)	(-37)	(+25)	(+93)	(-22)	(+94)	(+21)	(±0)	(+24)	(+130)	—
視聴点数(点)	872	875	921	702	192	960	697	743	507	93	0	184	6,746	30
	(+397)	(+204)	(+256)	(+240)	(+28)	(+359)	(+238)	(+219)	(+185)	(+23)	(±0)	(+50)	(+2199)	—

1967年開館以降の全展覧会リスト

List of Exhibitions since the Museum's Opening in 1967

- ・当館主催の展覧会を一覧にした。[学外展]については、その限りではない。
- ・展覧会名については、開催当時の学部・学科構成に倣い、そのまま表記した。

年度	タイトル	会期
1967年度	日本＝ドイツ＝スイス学生合同作品展	1967/04/08-1967/04/30
	昭和37-41年度 武蔵野美術大学 美術科卒業制作優秀作品展	1967/05/08-1967/07/05
	学生参考作品展	1967/07/17-1967/09/20
	昭和37-41年度 武蔵野美術大学 デザイン科卒業制作優秀作品展	1967/09/25-1967/10/25
	武蔵野美術大学 卒業生受賞(66)作品展	1967/10/31-1967/12/09
	三雲祥之助教授作品展	1968/01/10-1968/02/17
1968年度	昭和42年度 武蔵野美術大学卒業制作優秀作品展	1968/04/22-1968/06/08
	アメリカ・アート・ポスター展	1968/06/14-1968/06/25
	壺と甕展	1968/07/01-1968/08/03
	山口長男教授作品展	1968/07/01-1968/08/03
	学生参考作品展	1968/08/08-1968/09/21
	日本・朝鮮・仏教美術拓本展	1968/09/26-1968/10/12
	武蔵野美術大学卒業生受賞作品展	1968/10/11-1968/11/22
	豊口克平・芳武茂介教授作品展	1968/10/17-1968/10/26
	法隆寺壁画複製展	1968/11/28-1968/12/14
	美術資料図書館蒐集ポスター展	1969/01/16-1969/02/05
1969年度	昭和43年度 武蔵野美術大学卒業制作優秀作品展	1969/04/21-1969/05/02
	原弘教授作品展	1969/05/12-1969/05/31
	宮の原貝塚展	1969/06/09-1969/06/17
	宿根木調査展	1970/01/12-1970/01/24
1970年度	昭和44年度 武蔵野美術大学卒業制作優秀作品展	1970/04/16-1970/05/04
	武蔵野美術大学 油絵・版画・彫刻教員作品展	1970/05/12-1970/05/21
	商業デザイン・芸能デザイン卒業制作優秀作品展	1970/06/11-1970/06/27
	日本の竹細工展	1970/07/02-1970/07/25
	参考作品展'70	1970/07/30-1970/08/29
	建築・工芸工業デザイン・生活デザイン卒業制作優秀作品展	1970/09/10-1970/10/12
	金原文庫・服部文庫所収作品展	1971/01/07-1971/01/30
	海外展覧会ポスター展	1971/02/04-1971/02/13
1971年度	昭和45年度 武蔵野美術大学卒業制作優秀作品展	1971/04/20-1971/05/06
	チェコスロバキア・ポスター展	1971/05/17-1971/05/29
	日本画・油絵・彫刻卒業制作優秀作品展(昭和37-45年度)	1971/06/08-1971/06/30
	欧米の椅子—いまとむかし—展	1971/07/05-1971/07/10
	商業デザイン・芸能デザイン卒業制作優秀作品展(昭和37-45年度)	1971/07/22-1971/09/23
	琴浦部落調査—人と道具と環境—展	1971/09/27-1971/10/09
	工芸工業デザイン・建築・基礎デザイン・生活デザイン卒業制作優秀作品展	1971/10/13-1971/10/23
	日本のやきもの展	1971/10/23-1971/11/13
	遊びのかたち—組木・木のおもちゃ・風絵—展	1971/11/24-1971/12/18
	東洋美術複製展	1972/01/10-1972/02/05
1972年度	昭和46年度 武蔵野美術大学卒業制作優秀作品展	1972/04/10-1972/05/02
	武蔵野美術展	1972/05/08-1972/05/27
	1965年のグラフィック・デザイン	1972/06/01-1972/06/30

年度	タイトル	会期
1972年度	染織 鶯の装束展	1972/07/05-1972/07/26
	通信教育学習資料展	1972/07/31-1972/08/19
	浮世絵版画複製展	1972/09/11-1972/09/30
	現代ヨーロッパの椅子展	1972/09/11-1972/09/30
	近代の版画—日本と西洋—展	1972/10/03-1972/10/21
	日本の民芸品展	1972/10/24-1972/11/16
	武蔵野美術大学 工業工芸デザイン卒業生作品展	1972/11/20-1972/12/16
1973年度	現代欧米の椅子展	1973/04/09-1973/04/19
	日本の展覧会ポスター展	1973/04/09-1973/04/19
	東洋のやきもの展	1973/04/09-1973/04/19
	昭和47年度 武蔵野美術大学卒業制作優秀作品展	1973/04/23-1973/05/17
	法隆寺金堂壁画複製展	1973/05/21-1973/06/09
	デッサン展	1973/05/21-1973/06/09
	現代日本の本の装幀展	1973/06/18-1973/07/07
	ベルソナ展の外人デザイナー作品展	1973/07/19-1973/09/22
	東洋のやきもの展	1973/07/19-1973/09/22
	デッサン展	1973/07/19-1973/09/22
	カッパドキヤの壁画模写展	1973/09/27-1973/10/11
	近代の椅子展	1973/10/17-1973/11/17
	田中忠雄教授作品展	1973/11/26-1973/12/08
1974年度	観光ポスター展	1974/04/03-1974/04/13
	昭和48年度 武蔵野美術大学卒業制作優秀作品展	1974/04/17-1974/05/11
	タイポグラフィ展	1974/05/20-1974/06/08
	武蔵野美術大学美術科教員作品展	1974/06/12-1974/06/27
	海外のグッドデザイン展	1974/07/02-1974/07/13
	ポーランド・ポスター展	1974/07/22-1974/09/21
	近代の椅子展	1974/07/22-1974/09/21
	現代版画展	1974/07/22-1974/09/21
	インダストリアル・デザイン展	1974/09/30-1974/10/12
	外国の絵本展	1974/11/03-1974/11/16
	村井正誠教授作品展	1974/11/25-1974/12/07
	昭和49年度 武蔵野美術大学 大学院美術専攻修了制作作品展	1975/01/27-1975/02/08
1975年度	昭和49年度 武蔵野美術大学卒業制作優秀作品展	1975/04/03-1975/04/26
	昭和49年度 武蔵野美術大学 大学院デザイン専攻修了制作展	1975/04/03-1975/04/26
	近代の椅子展	1975/05/12-1975/06/14
	技法別版画展	1975/05/12-1975/06/14
	現代ヨーロッパのプロダクト・デザイン展	1975/05/12-1975/06/14
	昭和37-40年度 武蔵野美術大学卒業制作優秀作品展	1975/06/23-1975/08/29
	豊口克平教授・佐々木達三教授展	1975/09/16-1975/10/04
	ヨーロッパ・ポスター展	1975/11/02-1975/12/13
	昭和50年度 退任助手作品展	1976/01/16-1976/01/24
	昭和50年度 武蔵野美術大学 大学院美術専攻修了制作作品展	1976/01/27-1976/02/05

年度	タイトル	会期
1976年度	昭和50年度 武蔵野美術大学卒業制作優秀作品展	1976/04/08-1976/05/15
	昭和50年度 武蔵野美術大学 大学院デザイン専攻修了制作展	1976/04/08-1976/05/15
	ヨーロッパ・ポスター展	1976/05/24-1976/06/19
	近代の椅子展	1976/05/24-1976/06/19
	昭和41年度 昭和42年度 武蔵野美術大学卒業制作優秀作品展	1976/06/28-1976/08/28
	近代日本印刷資料展	1976/09/20-1976/10/16
	明朝活字—その歴史と現状—展	1976/10/31-1976/11/13
	オーストラリア・クインズランド州立美術大学生版画作品展	1976/11/24-1976/11/30
	東洋の工芸展	1976/11/24-1976/11/30
	須田寿教授作品展	1976/12/06-1976/12/18
	昭和51年度 武蔵野美術大学 大学院美術専攻修了制作作品展	1977/01/27-1977/02/05
1977年度	昭和51年度 武蔵野美術大学卒業制作優秀作品展	1977/04/18-1977/05/21
	昭和51年度 武蔵野美術大学 大学院デザイン専攻修了制作作品展	1977/05/09-1977/05/21
	近代の版画作品展	1977/05/30-1977/06/25
	昭和43年度 昭和44年度 武蔵野美術大学卒業制作優秀作品展	1977/07/04-1977/08/30
	館蔵絵画作品展	1977/09/19-1977/10/15
	現代欧米の絵本展	1977/10/24-1977/11/19
	館蔵民芸品展	1977/11/28-1977/12/17
昭和52年度 武蔵野美術大学 大学院美術専攻修了制作作品展	1978/01/26-1978/02/08	
1978年度	昭和52年度 武蔵野美術大学 大学院デザイン専攻修了制作作品展	1978/04/06-1978/05/20
	昭和52年度 武蔵野美術大学卒業制作優秀作品展	1978/04/06-1978/05/20
	館蔵版画作品展	1978/05/29-1978/06/24
	仮面と演劇展	1978/07/03-1978/07/10
	昭和45年度 昭和46年度 武蔵野美術大学卒業制作優秀制作展	1978/07/20-1978/09/22
	森芳雄教授作品展	1978/10/02-1978/10/21
	武蔵野美術大学卒業生のポスター展	1978/10/31-1978/11/18
	中国拓本展	1978/11/27-1978/12/16
	昭和53年度 助手展	1979/01/08-1979/01/20
昭和53年度 武蔵野美術大学 大学院美術専攻修了制作作品展	1979/01/25-1979/02/03	
1979年度	昭和53年度 武蔵野美術大学卒業制作優秀作品展	1979/04/05-1979/05/19
	昭和53年度 武蔵野美術大学 大学院デザイン専攻修了制作作品展	1979/04/05-1979/05/19
	スクリーン・プロセスによる現代日本のポスター展	1979/05/28-1979/06/16
	奥村土牛素描展	1979/05/28-1979/06/16
	館蔵版画作品展	1979/06/25-1979/09/22
	日本古代の壁画展	1979/09/17-1979/09/29
	中間冊夫教授作品展	1979/10/08-1979/10/27
	武蔵野美術大学教員美術作品展	1979/11/03-1979/11/17
	三林亮太郎教授作品展	1979/11/26-1979/12/15
	昭和54年度 助手展	1980/01/07-1980/01/19
	昭和54年度 武蔵野美術大学 大学院美術専攻修了制作作品展	1980/01/24-1980/02/02
1980年度	昭和54年度 武蔵野美術大学卒業制作優秀作品展	1980/04/03-1980/05/10
	昭和54年度 武蔵野美術大学 大学院デザイン専攻修了制作作品展	1980/04/03-1980/05/10
	所蔵武蔵野美術大学教員絵画作品展	1980/05/14-1980/05/31

年度	タイトル	会期
1980年度	館蔵20世紀のポスター展	1980/05/14-1980/05/31
	所蔵やきもの展	1980/05/14-1980/05/31
	館蔵版画作品展	1980/06/09-1980/06/28
	車内ポスター展	1980/07/07-1980/08/30
	芳武茂介教授作品展	1980/09/16-1980/10/11
	生活用品のグッドデザイン展	1980/10/20-1980/11/08
	土屋幸夫教授作品展	1980/12/01-1980/12/13
	昭和55年度 助手展	1981/01/07-1981/01/20
	昭和55年度 武蔵野美術大学 大学院美術専攻修了制作作品展	1981/01/26-1981/02/03
1981年度	昭和55年度 武蔵野美術大学卒業制作優秀作品展	1981/04/09-1981/05/23
	昭和55年度 武蔵野美術大学 大学院デザイン専攻修了制作作品展	1981/04/09-1981/05/23
	館蔵素描作品展	1981/06/01-1981/06/20
	所蔵武蔵野美術大学教員美術作品展	1981/07/01-1981/08/01
	館蔵民芸品展	1981/08/10-1981/08/29
	斎藤長三教授作品展	1981/09/21-1981/10/17
	近代ヨーロッパのポスター展	1981/10/30-1981/11/14
	横地康国教授作品展	1981/11/24-1981/12/16
	昭和56年度 助手展	1982/01/13-1982/01/23
	アメリカン・トップアーティスト23人展	1982/01/18-1982/01/30
	昭和56年度 武蔵野美術大学 大学院美術専攻修了制作作品展	1982/01/29-1982/02/26
1982年度	昭和56年度 武蔵野美術大学卒業制作優秀作品展	1982/04/08-1982/05/22
	昭和56年度 武蔵野美術大学 大学院デザイン専攻修了制作作品展	1982/04/08-1982/05/22
	塩出英雄教授作品展	1982/05/31-1982/06/19
	館蔵版画作品展	1982/06/28-1982/08/28
	現代アメリカ展覧会ポスター展	1982/09/13-1982/10/19
	藤井令太郎教授遺作展	1982/10/27-1982/11/13
	20世紀初頭のヨーロッパ・ポスター展	1982/11/06-1982/11/11
	近代の椅子展	1982/11/06-1982/11/11
	外国の絵本展	1982/11/22-1982/12/11
	昭和57年度 助手展	1983/01/12-1983/01/22
	昭和57年度 武蔵野美術大学 大学院美術専攻修了制作作品展	1983/01/28-1983/02/05
1983年度	昭和57年度 武蔵野美術大学卒業制作優秀作品展	1983/04/07-1983/04/26
	昭和57年度 武蔵野美術大学 大学院デザイン専攻修了制作作品展	1983/04/07-1983/04/26
	フィンランドのポスター展	1983/05/09-1983/05/28
	複製浮世絵版画展	1983/06/06-1983/06/25
	木のおもちゃ展	1983/07/11-1983/09/17
	日本のやきもの展	1983/09/26-1983/10/15
	内田武夫教授作品展	1983/10/24-1983/11/12
	峯孝教授作品展	1983/11/21-1983/12/10
	昭和58年度 助手展	1984/01/11-1984/01/21
	昭和58年度 武蔵野美術大学 大学院美術専攻修了制作作品展	1984/01/27-1984/02/04
1984年度	昭和58年度 武蔵野美術大学卒業制作優秀作品展	1984/04/12-1984/04/28
	昭和58年度 武蔵野美術大学 大学院デザイン専攻修了制作作品展	1984/04/12-1984/04/28

年度	タイトル	会期
1984年度	アメリカのイラストレーション展	1984/05/10-1984/06/02
	ドイツ'20年代の傾向展	1984/06/11-1984/06/30
	朝鮮・日本仏教美術拓本展	1984/07/05-1984/08/30
	麻生三郎教授作品展	1984/09/17-1984/10/06
	建築家ブルーノ・タウトのすべて展	1984/10/15-1984/11/06
	ポスターデザインの先駆者・多田北鳥とその周辺展	1984/11/29-1984/12/15
	昭和59年度 助手展	1985/01/08-1985/01/19
	[学外展]建築家ブルーノ・タウトの全て—日本美の再発見者—	1985/01/11-1985/01/23
	昭和59年度 武蔵野美術大学大学院美術専攻修了制作作品展	1985/01/25-1985/02/03
1985年度	昭和59年度 武蔵野美術大学卒業制作優秀作品展	1985/04/08-1985/05/11
	昭和59年度 武蔵野美術大学 大学院デザイン専攻修了制作作品展	1985/04/08-1985/05/11
	アメリカのタイポグラフィ展	1985/05/20-1985/06/08
	所蔵「オリジナル版画集」展	1985/06/17-1985/07/13
	複製絵巻物展	1985/07/25-1985/09/28
	大橋正教授作品展	1985/10/14-1985/11/05
	アメリカのグラフィック・デザイン展	1985/11/18-1985/12/14
	昭和60年度 助手展	1986/01/08-1986/01/18
	昭和60年度 武蔵野美術大学 大学院美術専攻修了制作展	1986/01/24-1986/02/02
1986年度	昭和60年度 武蔵野美術大学卒業制作優秀作品展	1986/04/07-1986/06/21
	昭和60年度 武蔵野美術大学修了制作優秀作品展	1986/04/07-1986/06/21
	武蔵野美術大学卒業制作・修了制作優秀作品 日本画・彫刻 回顧展	1986/06/30-1986/07/19
	武蔵野美術大学卒業制作・修了制作優秀作品 油絵 回顧展	1986/07/24-1986/09/22
	広田長治郎教授作品展	1986/09/29-1986/10/18
	所蔵インダストリアル・デザイン機器展	1986/09/29-1986/10/08
	アメリカのグラフィック・デザイン'86展	1986/10/30-1986/11/15
	ドレスデン造形美術大学・武蔵野美術大学版画作品交換展	1986/11/25-1986/12/13
	昭和61年度 助手展	1987/01/12-1987/01/20
昭和61年度 武蔵野美術大学 大学院美術専攻修了制作作品展	1987/01/26-1987/02/02	
1987年度	昭和61年度 武蔵野美術大学・武蔵野美術短期大学卒業制作・修了制作優秀作品展	1987/04/06-1987/06/20
	昭和61年度 武蔵野美術大学 大学院デザイン専攻修了制作作品展	1987/04/06-1987/06/20
	所蔵武蔵野美術大学教員日本画作品展	1987/06/29-1987/07/18
	素顔の近代ヨーロッパ建築 下村順一写真展	1987/07/27-1987/09/26
	向井良吉教授作品展	1987/10/05-1987/11/03
	ヒッピー・ポスター展	1987/11/16-1987/12/12
	昭和62年度 助手展	1988/01/11-1988/01/20
	昭和62年度 武蔵野美術大学 大学院美術専攻修了制作作品展	1988/01/25-1988/02/01
1988年度	昭和62年度 武蔵野美術大学 武蔵野美術短期大学卒業制作・修了制作優秀作品展	1988/04/11-1988/06/11
	昭和62年度 武蔵野美術大学 大学院デザイン専攻修了制作作品展	1988/04/11-1988/06/11
	芦原義信教授作品展	1988/06/20-1988/07/16
	曼荼羅の世界	1988/08/01-1988/10/01
	大森朔衛教授作品展	1988/10/11-1988/11/03
	イメージの翼 細谷巖作品展	1988/11/21-1988/12/17
	昭和63年度 助手展	1989/01/09-1989/01/21
	昭和63年度 武蔵野美術大学 大学院美術専攻修了制作作品展	1989/01/26-1989/02/05

年度	タイトル	会期
1989年度	昭和63年度 武蔵野美術大学 大学院デザイン専攻修了制作作品展	1989/04/10-1989/07/01
	昭和63年度 武蔵野美術大学 造形学部・短期大学部卒業・修了制作優秀作品展	1989/04/10-1989/07/01
	[学外展]現代デザインの水脈—ウルム造形大学展—	1989/05/26-1989/06/05
	オトル・アイヒャー ヴィジュアルコミュニケーション展	1989/05/26-1989/06/10
	東欧の文化ポスター展	1989/07/10-1989/08/31
	毛利武彦教授作品展	1989/09/18-1989/10/07
	[学外展]特別展—武蔵野美術大学創立60周年記念— 大学院修了優秀作品集1974-1988	1989/09/29-1989/10/08
	岡井陸明教授在職40年展 岡井69	1989/10/16-1989/11/06
	あそびといのりの造形	1989/11/20-1989/12/22
	ACT1989	1990/01/08-1990/01/20
	平成1年度 武蔵野美術大学 大学院美術専攻修了制作作品展	1990/01/29-1990/02/04
1990年度	平成1年度 武蔵野美術大学 大学院デザイン専攻修了制作作品展	1990/04/09-1990/06/09
	平成1年度 武蔵野美術大学 造形学部・短期大学部卒業・修了制作優秀作品展	1990/04/09-1990/06/09
	新収蔵作品展	1990/06/18-1990/07/07
	くらしの造形1 やきもの	1990/07/16-1990/08/28
	木内岬教授作品展	1990/09/17-1990/10/06
	没後四十五年「ねじ釘の画家」柳瀬正夢展	1990/10/15-1990/11/05
	[学外展]フランツ・チゼック展—美術教育のパイオニア—	1990/11/01-1990/11/30
	宮城音蔵教授作品展	1990/11/19-1990/12/19
	ACT1990	1991/01/07-1991/01/19
	平成2年度 武蔵野美術大学 大学院美術専攻修了制作作品展	1991/01/28-1991/02/03
	平成2年度 武蔵野美術大学 大学院デザイン専攻修了制作作品展	1991/04/08-1991/05/22
1991年度	平成2年度 武蔵野美術大学 造形学部・短期大学部卒業・修了制作優秀作品展	1991/04/08-1991/05/22
	日本1945-1970	1991/06/10-1991/07/13
	くらしの造形2 ぬの	1991/08/22-1991/11/04
	新収蔵作品展	1991/10/07-1991/11/04
	赤穴宏教授作品展	1991/11/18-1991/12/04
	[特別展]結びの美—小笠原流水引の造形—	1991/12/02-1991/12/14
	ACT1991	1992/01/08-1992/01/18
	平成3年度 武蔵野美術大学 大学院美術専攻修了制作作品展	1992/01/27-1992/02/02
1992年度	平成3年度 武蔵野美術大学 大学院デザイン専攻修了制作作品展	1992/04/06-1992/05/20
	平成3年度 武蔵野美術大学 造形学部・短期大学部卒業・修了制作優秀作品展	1992/04/06-1992/05/20
	20世紀の造形言語—椅子とポスターの世界—	1992/05/01-1992/05/16
	館蔵武蔵野美術大学教員油彩画展 PART 1	1992/06/08-1992/06/27
	くらしの造形3 たけ	1992/07/30-1992/08/27
	館蔵スイス国鉄ポスター展	1992/09/14-1992/10/09
	訪問教授ジャン・ピゲ氏作品展	1992/09/14-1992/09/26
	館蔵武蔵野美術大学教員油彩画展 PART 2	1992/10/19-1992/11/03
	新収蔵作品展	1992/11/16-1992/12/17
	昭和前期ポスター展	1992/11/24-1992/12/22
	ACT1992	1993/01/06-1993/01/16
	平成4年度 武蔵野美術大学 大学院美術専攻修了制作作品展	1993/01/25-1993/01/31

年度	タイトル	会期
1993年度	平成4年度 武蔵野美術大学 造形学部・短期大学部卒業・修了制作優秀作品展	1993/04/05-1993/05/19
	館蔵新居猛の椅子展	1993/04/19-1993/05/01
	絵本の視線と空間	1993/06/21-1993/07/22
	くらしの造形4 凧	1993/08/09-1993/09/25
	根岸正教授作品展	1993/10/04-1993/11/03
	昭和のオペラ・バレエ美術の一断面	1993/11/15-1993/12/18
	Design-1992	1994/01/10-1994/01/18
	平成5年度 武蔵野美術大学 大学院美術専攻修了制作作品展	1994/01/24-1994/01/30
	ACT1994	1994/03/07-1994/03/26
1994年度	神と精霊の造形	1994/05/14-1994/06/04
	川崎鈴彦客員教授作品展	1994/06/06-1994/06/25
	平成5年度 武蔵野美術大学 造形学部・短期大学部卒業・修了制作優秀作品展	1994/06/13-1994/06/25
	くらしの造形5 わら・つる・くさ	1994/07/04-1994/08/27
	中国美術学院学生優秀作品展記念 傅抱石展	1994/09/12-1994/09/24
	中国美術学院学生優秀作品展	1994/09/12-1994/09/24
	新正卓写真展 "THE CHIEF" Portraits of Native America	1994/09/29-1994/10/15
	Art Poster Today	1994/10/20-1994/11/03
	三輪正弘教授作品展	1994/11/10-1994/11/30
	新収蔵作品展	1994/12/07-1994/12/21
	平成6年度 武蔵野美術大学 大学院美術専攻修了制作作品展	1995/01/23-1995/01/29
1995年度	平成6年度 武蔵野美術大学 大学院デザイン専攻修了制作作品展	1995/04/10-1995/05/31
	平成6年度 武蔵野美術大学 造形学部・短期大学部卒業・修了制作優秀作品展	1995/04/10-1995/05/31
	館蔵版種別版画展	1995/06/12-1995/07/07
	アルフレッド・ハラサ ポスター展	1995/06/12-1995/07/04
	くらしの造形6 木のうつわ	1995/07/25-1995/09/19
	ロッハス・マルチネス・アンヘル展	1995/09/22-1995/09/30
	中野淳教授作品展	1995/09/28-1995/10/30
	館蔵日本画展 本画と下図	1995/11/08-1995/11/21
	柳瀬正夢 疾走するグラフィズム	1995/11/08-1995/11/25
	日本のブック・デザイン 1960-1995	1995/11/28-1995/12/06
	宮田農哉教授作品展	1995/12/04-1995/12/20
	ブルーノ・ムナリー展	1995/12/11-1995/12/22
	ACT1996	1996/01/08-1996/01/18
1996年度	平成7年度 武蔵野美術大学 造形学部・短期大学部卒業・修了制作優秀作品展	1996/04/08-1996/04/26
	平成7年度 武蔵野美術大学 大学院修了制作選抜作品展	1996/04/08-1996/04/26
	アフガニスタンの絨毯	1996/05/13-1996/05/31
	屋根の記憶 日本の民家 大橋富夫建築写真展	1996/07/08-1996/07/31
	くらしの造形7 かなもの	1996/07/08-1996/08/24
	前田常作教授作品展	1996/09/17-1996/10/12
	館蔵日本画展 本画と下図 II	1996/09/26-1996/10/17
	「素材再発見」展	1996/11/02-1996/11/22
	アイヌの造形 測図から学ぶ	1996/11/16-1996/11/30
	武蔵野美術大学教授退任記念展松樹路人展	1996/12/02-1996/12/21
	ACT1997	1997/01/08-1997/01/18

年度	タイトル	会期
1997年度	平成8年度 武蔵野美術大学 大学院修了制作選抜作品展	1997/04/07-1997/04/24
	平成8年度 武蔵野美術大学 造形学部・短期大学部卒業・修了制作優秀作品展	1997/04/07-1997/04/24
	絵本とグラフィックデザイン	1997/05/12-1997/05/24
	朝鮮の生活造形	1997/05/19-1997/06/14
	劇場空間の再発見	1997/07/03-1997/07/30
	武蔵野美術大学教授退任記念加藤昭男彫刻展	1997/09/16-1997/10/11
	館蔵日本画展 本画と下図 III	1997/09/24-1997/10/14
	藤林叡三遺作展	1997/10/20-1997/11/15
	くらしの造形8 かみ	1997/10/23-1997/11/19
	現代ドイツ家具の変遷	1997/11/27-1997/12/18
	武蔵野美術大学教授退任記念いそべたつお展	1997/11/29-1997/12/24
	ACT1998	1998/01/08-1998/01/19
	1998年度	平成9年度 武蔵野美術大学 造形学部・短期大学部卒業制作・修了制作優秀作品展
平成9年度 武蔵野美術大学 大学院修了制作選抜作品展		1998/04/06-1998/04/23
川崎コレクション受贈記念新収蔵絵巻物展 昔の絵師はどんな勉強をしていたか		1998/05/18-1998/06/30
館蔵油彩画展		1998/05/25-1998/07/10
武蔵野美術大学教授退任記念中川美智夫教授作品展		1998/07/21-1998/09/22
武蔵野美術大学退任記念泉修二教授展		1998/09/16-1998/10/15
くらしの造形9 ネパール		1998/10/05-1998/11/14
名作椅子に座る		1998/11/26-1998/12/25
武蔵野美術大学教授退任記念展加藤達美陶磁展		1998/11/30-1998/12/19
ポーランド アート・ポスター展		1998/11/30-1998/12/19
ACT1999		1999/01/08-1999/01/18
1999年度		平成10年度 武蔵野美術大学 大学院修了制作選抜作品展
	平成10年度 武蔵野美術大学 造形学部・短期大学部卒業・修了制作優秀作品展	1999/04/05-1999/04/21
	生の視線—触覚・軌跡・領域	1999/05/17-1999/06/21
	武蔵野美術大学教授退任記念高田一郎舞台美術	1999/07/01-1999/08/14
	戦後デザインの検証1 アングラ—日本のポスターのヴァンギャルド1960~1980—	1999/09/16-1999/10/16
	古典に学ぶ 日本画模写の研究	1999/09/20-1999/10/16
	くらしの造形10 凧	1999/10/28-1999/12/11
	武蔵野美術大学教授退任記念展保田春彦展	1999/11/11-1999/12/11
	第6回大学ホログラフィー展	1999/11/15-1999/11/27
	助手展2000	2000/01/11-2000/01/20
2000年度	平成11年度 武蔵野美術大学 大学院修了制作選抜作品展	2000/04/10-2000/04/25
	平成11年度 武蔵野美術大学 造形学部・短期大学部卒業・修了制作優秀作品展	2000/04/10-2000/04/25
	「焼物」という造形 館蔵陶磁展	2000/05/15-2000/06/15
	早川良雄展	2000/07/03-2000/08/16
	表現の磁場	2000/09/14-2000/11/12
	くらしの造形11 祈りと願いのコスモロジー	2000/11/15-2000/12/16
	武蔵野美術大学教授退任記念展大西慶憲展	2000/11/20-2000/12/09
	助手展2001	2001/01/09-2001/01/18
2001年度	平成12年度 武蔵野美術大学 大学院修了制作選抜作品展	2001/04/09-2001/04/25
	平成12年度 武蔵野美術大学 造形学部・短期大学部卒業・修了制作優秀作品展	2001/04/09-2001/04/25
	現代国際ポスター展	2001/05/17-2001/06/02

年度	タイトル	会期
2001年度	館蔵作品展	2001/06/11-2001/07/10
	武蔵野美術大学教授退任記念桜井寛展	2001/06/11-2001/07/10
	館蔵作品展	2001/09/17-2001/10/13
	武蔵野美術大学教授退任記念川添泰宏展	2001/09/17-2001/10/13
	武蔵野美術大学教授退任記念勝井三雄展 視覚の地平線	2001/10/26-2001/12/05
	くらしの造形12 大正・昭和のくらしの博物誌	2001/11/14-2001/12/15
	絵本と印刷技術1687-1933	2001/12/10-2001/12/21
	助手展2002	2002/01/08-2002/01/18
2002年度	平成13年度 武蔵野美術大学 造形学部・短期大学部卒業・修了制作優秀作品展	2002/04/08-2002/04/24
	平成13年度 武蔵野美術大学 大学院修了制作選抜作品展	2002/04/08-2002/04/24
	ポーランド・チェコ・スロヴァキアのポスター	2002/05/16-2002/06/16
	くらしの造形13 描かれた祈り	2002/07/07-2002/08/25
	武蔵野美術大学教授退任記念山縣壽夫展	2002/09/09-2002/10/12
	本の構成者 エル・リシツキー	2002/09/17-2002/10/19
	武蔵野美術大学教授退任記念島崎信展	2002/11/11-2002/12/05
	沼沢仁遺作展	2002/11/11-2002/12/07
	日本における絵本の成り立ち	2002/12/02-2002/12/21
	助手展2003	2003/01/06-2003/01/17
	アドルフ・ロース+F.O.シュミット展	2003/03/17-2003/04/15
2003年度	平成14年度 武蔵野美術大学 造形学部・短期大学部卒業・修了制作優秀作品展	2003/04/07-2003/04/23
	平成14年度 武蔵野美術大学 大学院修了制作選抜作品展	2003/04/07-2003/04/23
	ヨーロッパの木製玩具 ネフ・コレクション遊びのかたち展	2003/05/12-2003/06/07
	ひろげて、すわって、おりたたむ	2003/05/22-2003/06/21
	ライカ同盟 ラ・徘徊	2003/06/26-2003/07/26
	くらしの造形14 いね こめ めし	2003/07/07-2003/08/30
	ポスターで観る日本映画200	2003/08/09-2003/09/13
	武蔵野美術大学教授退任記念田中栄作彫刻展	2003/09/25-2003/10/25
	19世紀フランス諷刺版画 オノレ・ドーミエ展	2003/09/25-2003/10/25
	武蔵野美術大学教授退任記念竹山実展	2003/11/13-2003/12/20
	RA'25	2004/01/13-2004/01/23
2004年度	平成15年度 武蔵野美術大学 卒業制作優秀作品・修了制作選抜作品展	2004/04/05-2004/04/21
	Les Maitre de l'Affiche	2004/05/08-2004/05/12
	現代国際ポスター展	2004/05/10-2004/06/19
	One Day Chair Show Part 1 曲線	2004/06/17-2004/06/17
	館蔵油彩画展	2004/06/28-2004/08/21
	ポスターで観る日本映画 Part 2	2004/07/01-2004/08/15
	One Day Chair Show Part 2 日本の木の椅子	2004/07/14-2004/07/14
	One Day Chair Show Part 3 建築家の椅子	2004/08/14-2004/08/14
	くらしの造形15 花祭	2004/09/13-2004/10/16
	館蔵日本画の素描	2004/09/16-2004/10/02
	衣服の領域	2004/11/08-2004/12/13
	崇高なる現在	2004/12/03-2004/12/18
	RA'05	2005/01/11-2005/01/21

年度	タイトル	会期
2005年度	平成16年度 武蔵野美術大学 卒業制作優秀作品・修了制作 選抜展	2005/04/04-2005/04/20
	舞台美術家伊藤薫朔の舞台美術装置原画展	2005/05/06-2005/05/28
	デザイン国際化時代のバイオニア	2005/06/09-2005/07/16
	学生による布の邂逅2004 巡回展	2005/07/25-2005/08/14
	ポスターで観る日本映画 Part 3	2005/07/28-2005/08/24
	那須勝哉日本画展	2005/09/12-2005/10/08
	くらしの造形16 回れ・まわれ・水車	2005/10/17-2005/11/03
	コドモ ドコマデモ コドモ 最上壽之展	2005/11/08-2005/12/14
	One Day Chair Show Part 4 小椅子	2005/11/14-2005/11/14
	絵本におけることばとイメージ	2005/11/14-2005/12/17
	齋藤素蔵の仕事展	2005/11/15-2005/12/10
	One Day Chair Show Part 5 安楽椅子	2005/12/14-2005/12/14
	武蔵野美術大学助手研究発表展RA'06	2006/01/10-2006/01/20
2006年度	平成17年度 武蔵野美術大学 卒業制作・修了制作 優秀作品展	2006/04/07-2006/04/26
	竹で捕る	2006/04/10-2006/04/27
	One Day Chair Show Part 6 肘付椅子	2006/05/15-2006/05/15
	LES MAITRES DE L'AFFICHE ポスター芸術の巨匠たち	2006/05/29-2006/06/18
	韓国・ドイツ・日本学生絵本展	2006/06/17-2006/07/08
	高柳恵里展「展示」	2006/06/22-2006/07/22
	見ること／作ることの持続	2006/06/29-2006/07/29
	教務補助作品展 part-1 SAA -the works of School Affairs Assistants-	2006/07/20-2006/07/23
	身体尺とモノ	2006/07/31-2006/08/11
	絵馬の図像学	2006/09/04-2006/09/14
	スペースピクトグラムの試論—劇場空間の基点を探る—	2006/09/11-2006/10/07
	有坂ゆかり「paradise Lost」	2006/09/20-2006/10/06
	御用絵師の仕事と紀伊狩野家	2006/10/16-2006/11/11
	くらしの造形17 ばいぬかじ (南の風)	2006/10/28-2006/12/06
	黙示 新正卓展	2006/11/16-2006/12/16
	Holger Matthies	2006/11/20-2006/12/15
	教務補助作品展 part-2 SAA -the works of School Affairs Assistants-	2006/11/30-2006/12/03
武蔵野美術大学助手研究発表RA'07	2007/01/09-2007/01/20	
2007年度	平成18年度 武蔵野美術大学 卒業制作・修了制作 優秀作品展	2007/04/09-2007/04/25
	日本の笠・アジアの笠	2007/04/09-2007/04/27
	平成18年度 武蔵野美術大学博士後期課程 研究発表展	2007/05/10-2007/05/24
	水野亮展「物置」	2007/05/22-2007/06/08
	ムサビと絵本—絵本の表現—	2007/06/04-2007/07/01
	現代のしかけ絵本	2007/06/04-2007/07/01
	箒ノ世界	2007/06/15-2007/06/28
	One Day Chair Show Part 7 ミッドセンチュリー・北欧の椅子	2007/06/16-2007/06/16
	One Day Chair Show Part 7—American modern chair 1940-1970—	2007/06/17-2007/06/17
	射影のクオリア 行為-記録-素描-転写/版	2007/07/09-2007/08/12
	くらしの造形18 笑うエビス	2007/08/04-2007/09/22
	世界の表象：オットー・ノイラートとその時代	2007/09/25-2007/10/21
	富井大裕展「みるための時間」	2007/10/05-2007/10/20

年度	タイトル	会期
2007年度	第2寮へと続く廊下	2007/10/26-2007/10/28
	Danese：プロダクトの編集者	2007/11/12-2007/12/15
	自然と必然の住まい	2007/11/26-2007/12/15
	武蔵野美術大学助手研究発表RA'08	2008/01/07-2008/01/19
2008年度	平成19年度 武蔵野美術大学 卒業制作・修了制作優秀作品展	2008/04/07-2008/04/23
	“AREWA”（幸せ）のかたち	2008/04/14-2008/05/10
	ヤング、アグレッシヴ	2008/05/08-2008/05/24
	魔女たちの九九	2008/06/02-2008/07/12
	背文字が呼んでいる	2008/08/04-2008/09/20
	Naefのおもちゃ	2008/08/04-2008/10/22
	槿（むくげ）の画家 柳瀬正夢展	2008/10/06-2008/10/25
	Visual Devices 視覚装置：見ることを見る	2008/10/06-2008/10/25
	武蔵野美術大学教授退任記念小泉力雄 金属の仕事	2008/11/10-2008/12/13
	武蔵野美術大学教授退任記念地からのメッセージ・静なる世界	2008/11/10-2008/12/13
	リニューアル展	2009/01/07-2009/01/17
2009年度	平成20年度 武蔵野美術大学 卒業制作・修了制作優秀作品展	2009/04/06-2009/04/22
	武蔵野美術大学教授退任記念森豪男Hideo Mori	2009/05/11-2009/05/30
	石元泰博【多重露光】	2009/05/11-2009/06/14
	新国誠一の《具体詩》	2009/06/08-2009/06/29
	One Day Chair Show Part 9 編む	2009/06/13-2009/06/14
	武蔵野美術大学80周年記念展絵の力—絵具の魔術—	2009/07/08-2009/08/15
	川口直次舞台美術	2009/09/07-2009/10/03
	武蔵野美術大学80周年記念権鎮圭	2009/10/19-2009/12/05
	武蔵野美術大学80周年記念展 ドローイング—思考する手のカー—	2009/10/31-2009/12/12
	HUMOR	2009/11/24-2009/11/28
	縄文の美術	2009/12/04-2009/12/19
	武蔵野美術大学助手研究発表RA'10	2010/01/12-2010/01/21
	強靱な素材、柔軟な思考	2010/01/12-2010/02/01
	2010年度	平成21年度 武蔵野美術大学 卒業制作・修了制作優秀作品展
武蔵野美術大学教授退任記念展堀内貞明		2010/05/10-2010/05/30
博物図譜とデジタルアーカイブ I		2010/06/21-2010/08/07
武蔵野美術大学 美術館・図書館新棟落成記念博物図譜とデジタルアーカイブ II		2010/08/23-2010/10/25
2-305!! ムサビ助手展		2010/09/06-2010/12/18
強靱な素材、柔軟な思考		2010/10/12-2010/11/01
コドモアサヒの時代		2010/11/08-2010/12/18
武蔵野美術大学教授退任記念甲田洋二展		2010/11/11-2010/12/09
武蔵野美術大学教授退任記念柳澤紀子		2010/11/18-2010/12/18
2011年度	平成22年度 武蔵野美術大学 卒業制作・修了制作優秀作品展	2011/04/11-2011/04/27
	博物図譜とデジタルアーカイブ III	2011/04/11-2011/06/19
	土のうつわ	2011/04/11-2011/08/10
	ムサビのデザイン	2011/06/24-2011/07/30
	WA：現代日本のデザインと調和の精神	2011/06/24-2011/07/30
	中村とうようコレクション展	2011/07/04-2011/09/24
	清水多嘉示資料展 第I期	2011/07/04-2011/08/06


年度	タイトル	会期
2011年度	災厄防除	2011/09/05-2011/10/08
	滝沢具幸 地の譜	2011/09/05-2011/10/08
	平成22年度 武蔵野美術大学卒業制作・修了制作 優秀作品展	2011/09/26-2011/12/10
	清水多嘉示資料展 第II期	2011/10/11-2011/11/12
	博物図譜とデジタルアーカイブⅣ	2011/10/17-2011/12/24
	強靱な素材、柔軟な思考	2011/10/17-2011/11/10
	20世紀から21世紀へ 転換期のポーランド・ブックアート	2011/10/21-2011/11/19
	杉浦康平・脈動する本	2011/10/21-2011/12/17
	energy ムサビ助手展	2011/11/28-2011/12/24
2012年度	平成23年度 武蔵野美術大学 造形学部卒業制作 大学院修了制作優秀作品展	2012/04/04-2012/04/26
	ムサビのデザインⅡ	2012/05/14-2012/08/18
	Relation：継がれるもの 語りえぬもの	2012/05/14-2012/06/23
	武蔵野美術大学のデザイン教育アーカイブダイアグラム教育	2012/05/14-2012/06/23
	大辻清司フォトアーカイブ	2012/05/14-2012/06/23
	強靱な素材、柔軟な思考	2012/05/28-2012/06/22
	世界の学生の環境ポスタープロジェクト	2012/07/09-2012/08/18
	回顧展 夢みる人 今 敏	2012/07/16-2012/08/25
	蓋と身の深い関係	2012/07/16-2012/08/10
	博物図譜とデジタルアーカイブⅤ	2012/09/03-2012/10/06
	Print Resonance—世界の美術学校の版画集展	2012/09/03-2012/10/06
	武蔵野美術大学教授退任記念田中秀穂展 VANISHING & EMERGING	2012/09/03-2012/10/06
	武蔵野美術大学のデザイン教育アーカイブタイポグラフィ教育Ⅰ	2012/09/10-2012/10/20
	アートとファッション、雑誌「ヴィジョネア」の挑戦	2012/09/18-2012/12/01
	口と穴を考える	2012/10/01-2012/10/29
	武蔵野美術大学教授退任記念齋藤國靖 <仮説>としての絵画	2012/10/22-2012/11/17
	近現代のブックデザイン考Ⅰ	2012/10/22-2012/11/17
	マルセル・ジモン彫刻展	2012/11/05-2012/12/07
助手展 2012 武蔵野美術大学助手研究発表	2012/11/26-2012/12/22	
武蔵野美術大学教授退任記念椎名純子 大地の棲家	2012/11/26-2012/12/22	
2013年度	平成24年度 武蔵野美術大学 造形学部卒業制作・大学院修了制作優秀作品展	2013/04/03-2013/04/25
	タイポグラフィ 2つの潮流	2013/05/20-2013/08/18
	ET IN ARCADIA EGO 墓は語るか	2013/05/20-2013/08/10
	書とデザイン	2013/06/03-2013/07/27
	ムサビのデザインⅢ	2013/06/03-2013/08/18
	わくわく!?	2013/06/03-2013/07/27
	武蔵野美術大学教授退任記念寺原芳彦 二軸の想 (sou)	2013/09/02-2013/10/05
	13人のドイツ・コミック作家展	2013/09/02-2013/11/16
	版画・陶磁コレクションハイライト展	2013/09/17-2013/11/16
	向井周太郎 世界プロセスとしての身振り	2013/09/17-2013/11/16
	竹を編んだかたち	2013/09/17-2013/11/16
	平野甲賀の仕事 1964-2013 展	2013/10/21-2013/12/21
	武蔵野美術大学教授退任記念 宮下勇 ムサビキャンパスの建築	2013/11/25-2013/12/21
	助手展2013 武蔵野美術大学助手研究発表	2013/11/25-2013/12/21
	しかけ絵本Ⅰ 技法の歴史	2013/09/17-2013/12/07

年度	タイトル	会期
2014年度	平成25年度 武蔵野美術大学 造形学部卒業制作・大学院修了制作優秀作品展	2014/04/07-2014/04/30
	オオハラ・コンテンポラリー・アット・ムサビ	2014/05/26-2014/08/17
	竹が生み出すかたち	2014/06/02-2014/07/26
	コレクションハイライト：館蔵スウェーデンポスター	2014/09/08-2014/10/27
	ポーランドのポスター フェイスあるいはマスク	2014/09/08-2014/10/27
	しかけ絵本Ⅱ江戸から明治に見るあそびのしかけ	2014/09/16-2014/11/29
	ムサビのデザインⅣ	2014/09/08-2014/10/27
	承徳の民藝品	2014/10/06-2014/11/29
	井上耐子 時空を越えて	2014/11/17-2014/12/13
	助手展2014 武蔵野美術大学助手研究発表	2014/11/17-2014/12/13
2015年度	平成26年度 武蔵野美術大学 造形学部卒業制作・大学院修了制作優秀作品展	2015/04/06-2015/04/30
	近代日本彫刻展 -A Study of Modern Japanese Sculpture-	2015/05/25-2015/08/16
	絵の始まり 絵の終わり 一下絵と本画の物語一	2015/05/25-2015/08/16
	ポピュラー音楽の世紀	2015/05/25-2015/08/16
	中華世界の願いの形一河北省承徳の民間版画と剪纸一	2015/06/01-2015/06/27
	小野皓一展 武蔵野美術大学教授退任記念	2015/09/01-2015/09/26
	ムサビのデザインⅤ：1960-80年代、日本のグラフィックデザイン	2015/09/01-2015/11/07
	マリク書店の光芒	2015/10/01-2015/11/30
	菓子木型の造形	2015/10/05-2015/11/28
	堀尾幸男「対(ツイ)」	2015/10/13-2015/11/07
	助手展2015 武蔵野美術大学助手研究発表	2015/11/24-2015/12/19
	池田良二ー静慮と精神の息吹	2015/11/24-2015/12/19
2016年度	平成27年度 武蔵野美術大学 造形学部卒業制作・大学院修了制作優秀作品展	2016/04/04-2016/04/29
	所蔵品展ー絵画と彫刻をめぐる抽象表現	2016/05/23-2016/08/20
	平面を超える絵画：インスタレーションと日本画的感性	2016/05/23-2016/08/20
	絵馬	2016/05/23-2016/07/09
	GROUND2 絵画を語るー見方を語る	2016/05/23-2016/08/20
	小井土満展 鉄水墨	2016/09/05-2016/10/02
	あかり / AKALI	2016/09/05-2016/11/12
	ムサビのデザインⅥ：みんなのへや	2016/09/05-2016/11/12
	鈴木久雄ー彫刻の速度	2016/10/17-2016/11/12
	面(めん/つら)ー民俗資料にみる顔の表現一	2016/10/17-2016/11/12
	はじまりは石ー永井研治	2016/11/25-2016/12/22
	JOSHUTEN 武蔵野美術大学助手研究発表2016	2016/11/25-2016/12/22
2017年度	平成28年度 武蔵野美術大学 造形学部卒業制作・大学院修了制作優秀作品展	2017/04/04-2017/04/29
	芦原義信建築アーカイブ展 モダニズムにかけた夢	2017/05/22-2017/08/13
	モダンリビングへの夢 産業工芸試験所の活動から	2017/05/22-2017/08/13
	だるまで巡るニッポン	2017/05/22-2017/07/01
	未来の幽霊 長沢秀之展	2017/09/04-2017/10/01
	やきものの在処(ありか)	2017/09/04-2017/11/11
	戸谷成雄ー現れる彫刻	2017/10/16-2017/11/11
	タイポグラフィ教育2 タイポグラフィデザインの楽しさを探る/田中晋の教育の軌跡	2017/10/16-2017/11/11
	しめかざり	2017/10/16-2017/11/18
	吉田直哉 映像とは何だろうか	2017/11/27-2017/12/22

年度	タイトル	会期
2017年度	遠藤彰子展“Cosmic Soul”	2017/11/27-2017/12/22
	ムサビ助手展2017 -武蔵野美術大学助手研究発表-	2017/11/27-2017/12/22
2018年度	平成29年度 武蔵野美術大学 造形学部卒業制作・大学院修了制作優秀作品展	2018/04/04-2018/04/28
	ドローイング 内なる水脈の解放	2018/05/21-2018/08/19
	リトグラフ 石のまわりで	2018/05/21-2018/08/19
	新島実と卒業生たち そのデザイン思考と実践 1981-2018	2018/09/03-2018/09/29
	ポートフォリオ・プロジェクト展	2018/09/03-2018/09/28
	田中克明 プロジェクト型デザイン活動の軌跡	2018/10/15-2018/11/10
	関野吉晴ワンダースペース	2018/10/15-2018/11/10
	東北の木地玩具—遊びと祈りの造形—	2018/10/15-2018/11/30
	和語表記による和様刊本の源流	2018/11/01-2018/12/18
	助手展2018 武蔵野美術大学助手研究発表	2018/11/26-2018/12/18
2019年度	平成30年度 武蔵野美術大学 造形学部卒業制作・大学院修了制作優秀作品展	2019/04/03-2019/04/27
	清水多嘉示資料展—石膏原型の全てと戦後資料（第Ⅲ期）	2019/05/20-2019/06/16
	内田あぐり—化身、あるいは残丘	2019/05/20-2019/06/16
	小竹信節 退任記念公演『奴婢訓』	2019/07/02-2019/07/07
	くらしの造形20「手のかたち・手のちから」	2019/08/09-2019/09/21
	スタシス・エイドリゲヴィチウス：イメージ—記憶の表象	2019/09/02-2019/11/09
	島本脩二「本を作る」展 デザイナーと編集者の役割	2019/10/14-2019/11/09
	帝国美術学校の誕生—金原省吾とその同志たち	2019/10/14-2019/11/09
	助手展2019 武蔵野美術大学助手研究発表	2019/11/25-2019/12/21
	くらしの中の布 —まとう・つつむ・たたむ—	2019/11/25-2019/12/21
2020年度	令和元年度 武蔵野美術大学 卒業・修了制作優秀作品展	2020/06/15-2020/08/13
	脇谷徹 素描ということ	2020/09/21-2020/10/24
	イラストレーションがあれば、	2020/09/21-2020/10/24
	紙・木・藁にみる祈りの造形	2020/10/26-2020/12/19
	Door is Ajar ドアは開いているか 山本直彰展	2020/11/16-2020/12/19
	十時啓悦 樹木と漆と暮らし	2020/11/16-2020/12/19
	所蔵品展 ふたしかなデザイン	2020/11/16-2020/12/19
	部屋と庭 隔たりの形式	2020/11/30-2020/12/19
2021年度	オムニスカルプチャーズ—彫刻となる場所	2021/04/05-2021/06/20
	片山利弘—領域を越える造形の世界	2021/04/05-2021/06/20
	膠を旅する—表現をつなぐ文化の源流	2021/05/12-2021/06/20
	令和2年度 武蔵野美術大学 卒業・修了制作優秀作品展	2021/07/12-2021/08/08
	川口起美—I'll be your mirror	2021/09/06-2021/10/02
	ART-BOOK: 絵画性と複製性—MAU M&L貴重書コレクション × Lubokの試み	2021/09/06-2021/11/10
	牧野良三—舞台美術における伝達と表現	2021/10/18-2021/11/13
	運ぶ—文化とかたち	2021/10/25-2021/12/18
	助教・助手展2021 武蔵野美術大学助教・助手研究発表	2021/11/29-2021/12/18
2022年度	令和3年度 武蔵野美術大学 卒業・修了制作 優秀作品展	2022/04/04-2022/06/12
	みんなの椅子 ムサビのデザインⅦ	2022/07/11-2022/10/02
	原弘と造型：1920年代の新興美術運動から	2022/07/11-2022/10/02
	黒川弘毅—彫刻／触覚の理路	2022/10/24-2022/11/20
	AGAIN-ST ルーツ／ツール 彫刻の虚材と教材	2022/10/24-2022/12/24

年度	タイトル	会期
2022年度	民具のデザイン図鑑——くらしの道具から読み解く造形の発想	2022/10/24-2022/12/24
	助教・助手展2022 武蔵野美術大学助教・助手研究発表	2022/12/05-2022/12/24
2023年度	2022年度 武蔵野美術大学 卒業・修了制作 優秀作品展	2023/04/03-2023/05/04
	MAU M&L コレクション：絵画のアベセデール	2023/06/01-2023/07/02
	若林奮 森のはずれ	2023/06/01-2023/08/13
	三浦明範——vanitas vanitatum	2023/07/15-2023/08/13
	大浦一志——雲仙普賢岳／記憶の地層	2023/09/04-2023/10/01
	生誕100年 大辻清司 眼差しのその先 フォトアーカイブの新たな視座	2023/09/04-2023/10/01
	西田俊英——不死鳥	2023/10/23-2023/11/19
	助教・助手展2023 武蔵野美術大学助教・助手研究発表	2023/12/04-2023/12/23

武蔵野美術大学 美術館・図書館
館報 no.32 2022-2023

公開日 2024年11月11日
編集・発行 武蔵野美術大学 美術館・図書館
東京都小平市小川町 1-736
042-342-6003 (直通)
<https://mauml.musabi.ac.jp/> 

©Musashino Art University Museum & Library, 2024

MUSEUM

MUSEUM

MUSEUM

LIBRARY

LIBRARY

LIBRARY